

本文書は、バークレイズ・ピーエルシー(Barclays PLC)が2014年2月11日に発表した2013年度決算報告書を抄訳したものです。その正確な内容については、原文である英文文書をご参照ください。本文書と原文との間で齟齬がある場合には原文が優先されます。なお、原文は、<http://group.barclays.com/about-barclays/investor-relations/results-announcements>よりご覧いただけます。

# Barclays PLC

## Results Announcement

31 December 2013

バークレイズ・ピーエルシー  
2013年度決算報告書

2014年2月11日発表

# 目次

決算報告書	ページ
業績ハイライト	3
グループ最高責任者によるご挨拶	7
グループ財務担当取締役のレビュー	9
要約連結財務書類(未監査)	13
<b>事業部門別業績</b>	18
• インベストメント・バンク	18
• コーポレート・バンキング	21
• ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	24
<b>四半期業績</b>	26
<b>業績管理</b>	30
• 報酬	31
• 事業部門別リターンおよび株主資本	34
• Transform 達成費用	35
• 利ざやおよび残高	37
<b>リスク管理</b>	40
• 資金調達リスクー資本	40
• 資金調達リスクー流動性	45
• 信用リスク	47
• 市場リスク	54
<b>財務書類に関する注記(抜粋)</b>	55
• 引当金(原文注記 13)	55
• 法律、競争および規制関連事項(原文注記 19)	58

BARCLAYS PLC, 1 CHURCHILL PLACE, LONDON, E14 5HP, UNITED KINGDOM. TELEPHONE: +44 (0) 20 7116 1000. COMPANY NO. 48839

## 業績ハイライト

---

「2013 年はバークレイズにとって大きな変化の年となりました。信頼回復への取り組み、共通の文化の明確化とその実行、将来に向けた事業の再配置、そして当グループのバランスシートの改善といった施策が進展したことに私は満足しています。

バークレイズを全てのステークホルダーから「選ばれる銀行 (Go-To' Bank)」へと変革するための計画が始動してから 1 年が経過し、当グループの置かれている状況は大きく改善し、今後の見通しについても私は自信を持っています。

このたび発表した 2013 年度決算報告書が示すように、厳しい環境にもかかわらず、当グループの業績の基調は回復力に富み、勢いを増しています。

バークレイカードの力強い伸びが続くとともに、英国リテール・バンキングおよびコーポレート・バンキング事業の業績が好調に推移しました。インベストメント・バンクでは株式業務およびインベストメント・バンキング業務がひととき好調に推移したことで、債券・為替およびコモディティ事業の収益の減少を一部相殺しました。また、アフリカ、欧州、ウェルス各事業のリターンの改善に向けた再配置も重要な進展が見られ始めました。こうした結果、2013 年度の収益は 282 億ポンド、調整後税引前利益は 52 億ポンドとなりました。

一方、利益面では 2013 年度中に完了した事業再構築やリスク圧縮に向けた施策の影響が現われました。具体的には、一部の事業からの撤退、オペレーションを変革するための投資、過去の行為および訴訟に関わる問題の解決などです。こうした施策の費用から 2013 年度の法定利益は 29 億ポンドに抑えられましたが、長期的には当グループ株主の皆様利益になるものと考えています。

更に資本基盤の強化については、新株予約権無償割当および追加的 Tier1 証券の発行により、前年度比で目覚ましい進捗が見られました。下半期に十分なレバレッジ圧縮策を実施したこともあり、プルーデンス (健全性) 規制機構 (PRA) レバレッジ比率期待値を 2014 年 6 月に達成する計画は前倒しで進んでいます。

「選ばれる銀行 (Go-To' bank)」になるという目標を達成するには更なる取り組みが必要ですが、当グループはここ何年もの状況に比べて良好な状態で 2014 年を迎えると私は確信しています。」

**グループ最高責任者 アントニー・ジェンキンス**

## 業績ハイライト

### 損益計算書

- 2013年度の調整後税引前利益は Transform 達成費用の計上および 4%の減収を受け、32%減少し、51億 6,700万ポンドとなりました。2013年度第4四半期の調整後税引前利益はインベストメント・バンク部門の訴訟および規制関連の制裁金の費用3億 3,100万ポンド、英国銀行税5億 400万ポンド(2013年度第3四半期:0ポンド)、Transform 達成費用4億 6,800万ポンド(2013年度第3四半期:1億 100万ポンド)の影響を含め、2013年度第3四半期と比べて11億 9,400万ポンド減少し、1億 9,100万ポンドとなりました。
- 法定税引前利益は、当グループ自身の信用度に関連する費用が2億 2,000万ポンドに減少したのを受け(2012年:45億 7,900万ポンド)、28億 6,800万ポンドに改善しました(2012年:7億 9,700万ポンド)。

### 収益

- 調整後収益はインベストメント・バンク部門での10億 4,200万ポンドと本社部門での4億 8,000万ポンドの減収を受け、4%減少し、281億 5,500万ポンドとなりました。
- インベストメント・バンク部門の収益は9%減少し、107億 3,300万ポンドとなりました。株式およびプライム・サービス事業、ならびにインベストメント・バンキング事業の増収により一部相殺されたものの、2013年度第4四半期の訴訟問題に関連する1億 1,100万ポンドの収益の当年度の解消を含め、FICC 事業および撤退対象事業資産からの収益が減収となったためです。

### 信用に関する減損

- 信用に関する減損費用は8%改善し、30億 7,100万ポンドとなり、貸倒率は64ベース・ポイントとなりました(2012年:70ベース・ポイント)。2012年に発生した引当金戻入れとパークレイカードにおける事業取得を一因とするパークレイカードおよび英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)部門の減損増加により一部相殺されたものの、コーポレート・バンキング部門とアフリカ・リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)部門の改善を主に反映しています。

### コスト

- 調整後営業費用は Transform 達成費用12億 900万ポンド、主に米国住宅モーゲージ関連業務に関連してインベストメント・バンク部門において2013年度第4四半期に発生した訴訟関連引当金および規制関連の制裁金の2億 2,000万ポンド、ならびに英国銀行税を反映し、13億 3,100万ポンド増加し、198億 9,300万ポンドとなりました。
- 報酬費用合計は1%減少し、96億 1,600万ポンドとなりました。インベストメント・バンク部門の報酬費用合計は46億 3,400万ポンドと概ね横ばいでした(2012年:46億 6,700万ポンド)。インベストメント・バンク部門の収益に対する報酬の比率は主に減収を反映し、43.2%に上昇しました(2012年:39.6%)。

### 貸借対照表、レバレッジ、資本管理

- 推定 PRA レバレッジ・エクスポージャーは2013年6月30日と比べ1,960億ポンド減少し、1兆 3,630億ポンドとなりました。約550億ポンドの PRA レバレッジ・エクスポージャーの減少は外国為替の変動に関連するものです。
- 改正資本要件指令(CRD IV)ベースのリスク調整後資産は撤退対象事業のリスク調整後資産の減少を主因に、2012年度と比べて320億ポンド、2013年度第3四半期と比べて120億ポンド減少し、4,360億ポンドとなりました。
- CRD IV 完全施行ベースの普通株式等 Tier1(CET1)資本は2013年9月30日と比べて30億ポンド増加し、404億ポンドとなりました。外国為替の変動による8億ポンドおよび予測し得る配当に係る新規の控除を含めた規制上の控除の増加により一部相殺されたものの、新株予約権無償割当による新株発行を主に反映しています。
- CRD IV 完全施行ベースの CET1 比率は9.3%でした(2013年9月30日:8.4%、新株予約権無償割当後の見積ベースで9.6%)。
- 推定 PRA レバレッジ比率は PRA レバレッジ・エクスポージャーの1,960億ポンドの減少と適格 PRA 調整後 Tier1 資本の405億ポンドへの増加(2013年6月30日:342億ポンド)を反映し、3.0%弱に上昇しました(2013年6月30日:2.2%)。これは新株予約権無償割当を通じた株式資本58億ポンド、追加的 Tier1(AT1)証券21億ポンド、ならびに健全性評価調整(PVA)のための追加的な PRA アドオンの減少を主因に、CET1 資本に対する PRA 調整が19億ポンド減額し22億ポンドとなったことなどによります。CRD IV 完全施行ベースの推定レバレッジ比率は3.1%に上昇しました(2013年6月30日:2.5%)。
- 1株当たりの純資産価額は331ペンス(2012年:414ペンス)、1株当たりの正味有形資産価額は283ペンス(2012年:349ペンス)でした。この減少は新株予約権無償割当に伴う株式発行とキャッシュフロー・ヘッジ再評価差額および為替換算再評価差額の減少が主因です。

### リターン

- 調整後平均株主資本利益率は主に税引前利益の減少、スペインに係る繰延税資産の4億 4,000万ポンドの償却、2013年度第4四半期に実施した新株予約権無償割当による58億ポンドの増資を反映し、4.5%に低下しました(2012年:9.0%)。調整後平均有形株主資本利益率は5.3%に低下しました(2012年:10.6%)。法定平均株主資本利益率は1.0%に上昇しました(2012年:マイナス1.2%)。

## 業績ハイライト

当グループの業績(未監査) <sup>1</sup>	調整後			法定		
	2013年 12月31日 (百万ポンド)	2012年 12月31日 (百万ポンド)	増減率(%)	2013年 12月31日 (百万ポンド)	2012年 12月31日 (百万ポンド)	増減率(%)
保険金控除後の収益合計	28,155	29,361	(4)	27,935	25,009	12
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(3,071)	(3,340)	(8)	(3,071)	(3,340)	(8)
<b>営業収益純額</b>	<b>25,084</b>	<b>26,021</b>	<b>(4)</b>	<b>24,864</b>	<b>21,669</b>	<b>15</b>
営業費用(英国銀行税および Transform 達成費用を除く)	(18,180)	(18,217)	-	(20,259)	(20,667)	(2)
英国銀行税	(504)	(345)	46	(504)	(345)	46
Transform 達成費用	(1,209)	-	-	(1,209)	-	-
<b>営業費用</b>	<b>(19,893)</b>	<b>(18,562)</b>	<b>7</b>	<b>(21,972)</b>	<b>(21,012)</b>	<b>5</b>
その他純(費用)／利益純額	(24)	140	-	(24)	140	-
<b>税引前利益</b>	<b>5,167</b>	<b>7,599</b>	<b>(32)</b>	<b>2,868</b>	<b>797</b>	
税金	(2,015)	(2,159)	(7)	(1,571)	(616)	-
<b>税引後利益</b>	<b>3,152</b>	<b>5,440</b>	<b>(42)</b>	<b>1,297</b>	<b>181</b>	
非支配持分	(757)	(805)	(6)	(757)	(805)	(6)
<b>株主帰属利益<sup>2</sup></b>	<b>2,395</b>	<b>4,635</b>	<b>(48)</b>	<b>540</b>	<b>(624)</b>	
<b>パフォーマンス指標</b>						
平均有形株主資本利益率	5.3%	10.6%	-	1.2%	(1.4%)	-
平均株主資本利益率	4.5%	9.0%	-	1.0%	(1.2%)	-
平均リスク調整後資産利益率	0.8%	1.4%	-	0.3%	-	-
収益に対する費用の比率	71%	63%	-	79%	84%	-
貸倒率(ベース・ポイント)	64bps	70bps	-	64bps	70bps	-
基本的 1 株当たり利益	16.7p	35.5p	-	3.8p	(4.8p)	-
1 株当たり配当金	6.5p	6.5p	-	6.5p	6.5p	-
<b>バランスシートおよびレバレッジ</b>						
1 株当たりの資産純額 <sup>3</sup>				331p	414p	(20)
1 株当たりの有形資産純額 <sup>3</sup>				283p	349p	(19)
推計 PRA レバレッジ・エクスポージャー				1 兆 3,630 億ポンド		
<b>資本および貸借対照表</b>						
				2013年 12月31日	2012年 12月31日	
CRD III						
コア Tier1 比率				13.2%	10.8%	
コア Tier1 資本				468 億ポンド	417 億ポンド	12
リスク調整後資産				3,550 億ポンド	3,870 億ポンド	(8)
CRD IV 完全施行ベース						
普通株式等 Tier 1 比率				9.3%		
普通株式等 Tier 1 資本				404 億ポンド		
リスク調整後資産				4,360 億ポンド	4,680 億ポンド	(7)
推計レバレッジ比率				3.1%		
推計 PRA レバレッジ比率				3.0%		
<b>調達および余剰流動性</b>						
				2013年 12月31日	2012年 12月31日	
グループ余剰流動性				1,270 億ポンド	1,500 億ポンド	
預貸率				101%	110%	
推計流動性カバレッジ比率 <sup>4</sup>				102%	126%	
推計安定調達比率 <sup>4</sup>				110%	112%	
<b>調整後利益の分析</b>						
<b>調整後税引前利益</b>				<b>5,167</b>	<b>7,599</b>	
当グループ自身の信用度に関連する利益／(損失)				(220)	(4,579)	
ブラックロック社に対する投資に係る利益				-	227	
支払保障保険(PPI)に係る補償引当金				(1,350)	(1,600)	
金利ヘッジ商品に係る補償引当金				(650)	(850)	
のれんの減損				(79)	-	
<b>法定税引前利益</b>				<b>2,868</b>	<b>797</b>	

1 英語原文 3-49 ページの比較数値は、国際財務報告基準(IFRS)第 10 号「連結財務諸表」および国際会計基準(IAS)第 19 号「従業員給付」(2011 年改訂)の適用、本社の業績の構成要素の事業部門への再配分ならびに事業部門間のポートフォリオの修正を反映し、修正再表示した数値です。この修正再表示の詳細については、ウェブサイト上の 2013 年 4 月 16 日付発表をご参照ください。http://group.barclays.com/about-barclays/investor-relations/investor-news

2 株主帰属利益には税金および非支配持分帰属利益を控除後の利益が含まれます。

3 1 株当たりの資産純額は、非支配持分およびその他資本持分を控除した株主資本を発行済普通株式数で除して計算されています。1 株当たりの有形資産純額は、非支配持分およびその他資本持分を控除した株主資本からのれんと無形資産を差し引いた金額を発行済普通株式数で除して計算されています。

4 計算基準については英語原文 61 ページを参照して下さい。

## 業績ハイライト

事業部門別利益	調整後			法定		
	2013年 12月31日	2012年 12月31日	増減率(%)	2013年 12月31日	2012年 12月31日	増減率(%)
	(百万ポンド)	(百万ポンド)		(百万ポンド)	(百万ポンド)	
英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)	4,523	4,384	3	4,523	4,384	3
欧州 RBB	666	708	(6)	666	708	(6)
アフリカ RBB	2,617	2,928	(11)	2,617	2,928	(11)
パークレイカード	4,786	4,344	10	4,786	4,344	10
インベストメント・バンク	10,733	11,775	(9)	10,733	11,775	(9)
コーポレート・バンキング	3,115	3,046	2	3,115	3,046	2
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	1,839	1,820	1	1,839	1,820	1
本社およびその他事業	(124)	356		(344)	(3,996)	(91)
<b>利益合計</b>	<b>28,155</b>	<b>29,361</b>	<b>(4)</b>	<b>27,935</b>	<b>25,009</b>	<b>12</b>

事業部門別税引前利益／(損失)	調整後			法定		
	2013年 12月31日	2012年 12月31日	増減率(%)	2013年 12月31日	2012年 12月31日	増減率(%)
	(百万ポンド)	(百万ポンド)		(百万ポンド)	(百万ポンド)	
英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)	1,195	1,225	(2)	535	45	
欧州 RBB	(996)	(343)		(996)	(343)	
アフリカ RBB	404	322	25	404	322	25
パークレイカード	1,507	1,482	2	817	1,062	(23)
インベストメント・バンク	2,523	3,990	(37)	2,523	3,990	(37)
コーポレート・バンキング	801	460	74	151	(390)	
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	(19)	274		(98)	274	
本社およびその他事業	(248)	189		(468)	(4,163)	(89)
<b>税引前利益合計</b>	<b>5,167</b>	<b>7,599</b>	<b>(32)</b>	<b>2,868</b>	<b>797</b>	

## グループ最高責任者によるご挨拶

Transform プログラムにわれわれが着手し、パークレイズを全てのステークホルダーの皆様から「選ばれる銀行（'Go-To' Bank）」にするための過程を開始してから 12 カ月が経過しました。この間、パークレイズが今後の競争上の優位を確立し、株主のためにより高く、より持続可能性のあるリターンを生み続けることのできる態勢を整えるため、資本基盤の強化とリスクの管理の方策に取り組みました。

2013 年度、英国 RBB 部門はモーゲージ事業の収益拡大を支えに好調に推移しました。パークレイカードも英国、海外事業ともに引き続き順調な 1 年となり、良好なリターンを生みましたが、なお更なる成長の余地はあると考えられます。コーポレート・バンキング部門では、部門横断的に業務が回復し、英国事業ではほぼ 10 億ポンドの税引前利益を確保しました。インベストメント・バンク部門は株式業務の収益が目覚ましい伸びを見せました。インベストメント・バンキングの持続的な業績改善もあり、債券、為替およびコモディティ事業の収益の減少を一部相殺しました。

これらの事業部門以外でも、2013 年にアフリカ、欧州、ウェルス各部門を再配置するための数々の施策を完了しました。これらの部門は過渡期にあり、リターンの改善に向けて 3 部門の全てで実行する明確な計画を策定しているところです。順調な進展を目の当たりにして、私は心強く思っています。

このような中、当グループの 2013 年度の収益合計は約 282 億ポンド、調整後税引前利益は 52 億ポンドとなりました。堅調な業績と言えますが、当年度に実施した投資とリスク削減作業に要した費用が利益を圧迫する要因となりました。

当グループは評判や特定行為に係る事業リスクを低下させていきます。6 月に支払保障保険(PPI)に係る補償引当金および金利ヘッジ商品に係る補償引当金に関連して 20 億ポンドの費用を追加で負担しました。また、パークレイズの目的と価値観と相容れない、あるいは投資家のために魅力的なリターンを生み出すことのできない事業から撤退しました。2013 年 12 月下旬には、収益およびコストに影響する訴訟および規制関連の制裁金に備えるため、3 億 3,100 万ポンドの費用を負担しました。制裁金のための費用負担は、営業費用を増加させ、前もって提供済みの Transform 達成費用を除いて指針としていた 185 億ポンドを上回る結果になりました。

58 億ポンドの新株予約権無償割当を実施したことにより、2013 年末時点で CRD IV 完全施行ベースの CET1 比率は 9.3%に達しました。2015 年に 10.5%を目指す計画は引き続き順調に進展しています。レバレッジ・エクスポージャーの圧縮に向けた厳格な管理、21 億ポンドの AT1 証券の発行など、2013 年 7 月に発表したレバレッジ計画に盛り込んだ他の措置の効果もあり、CRD IV 完全施行ベースのレバレッジ比率は推定 3.1%、また、PRA レバレッジ比率はほぼ 3%となりました。これは 2014 年 6 月までに達成することとなっていた期待値です。

レバレッジは規制当局と投資家の大きな関心の的であり続けるでしょう。このたび、当グループはエクスポージャーをさらに圧縮し、将来の規制要件により適切に備えるために、重要な計画に着手します。

実績に応じ、競争力のある報酬を提供することは、パークレイズにとって重要だと考えています。当グループが株主のために利益を生み続けるには、世界的に競争が激しい中でお客様にサービスを効率よく提供するために適切な人材を適切に配置することが不可欠です。詳細に検討を重ねた結果、長期的な株主利益の観点からフランチャイズを構築するためには、2013 年度においてインセンティブ・プールを前年よりも 2 億 1,000 万ポンド増加することが必要である判断しました。今回増額しましたが、純利益に対する報酬の比率を中期的に 30%台半ばに引き下げるといった目標は引き続き目指していくつもりです。

プログラムの始動から 1 年が経過し、自ら掲げた財務面、非財務面の目標の達成に向けて順調に歩みを進めています。しかし、計画の達成に向けてなすべきことはまだあります。

CRD IV リスク調整後資産面では、2015 年の目標としている 4,400 億ポンドの水準内で業務を展開しており、CRD IV 完全施行ベースの CET1 比率は強固な水準にあります。費用面では、2015 年までに Transform 達成費用を除き、営業費用を 168 億ポンドまで削減できると確信しています。2013 年度の収益に対する費用の比率の上昇は収入の減少によるものですが、2015 年までに収益に対する費用の比率を 50%台半ばにするという当グループの目標に変更はありません。配当面では資本の積み重ねに注力しつつ、2014 年以降、40%の配当性向を目指す方針です。

これら財務面の目標に関する進捗に加え、追加的なレバレッジ圧縮策もあり、当グループは 2016 年に株主資本コストを上回る株主資本利益率を達成するとの見通しを維持しています。

財務面以外の目標についても、以下の進捗があったことをご報告します。

われわれが 2013 年に Transform プログラムを実行するにあたり、企業文化の変革、特にパークレイズの目的と価値観をグループの組織全体に根付かせることは優先的な課題でした。従業員全員に研修プログラムへの参加を義務付けたほか、採用、人材管理、査定、報酬に関わる日々の経営管理プロセスも当グループの目的と価値観を取り入れたものになりました。マネージング・ディレクターの 2013 年度の査定では、われわれが望む事業面における成果だけでなく、正しい価値観と言動を示したかという点

## グループ最高責任者によるご挨拶

---

も正式に評価しました。この評価の基準は 2014 年には全従業員に適用されます。重要な点として、当グループは全ての従業員が遵守しなければならない、そして、遵守していることを毎年確認しなければならない行動規範を新たに策定し、公表しました。

第 2 の財務面以外の目標を実現するため、このたび、当グループはバランスト・スコアカードを公表します。これは当グループのリーダーシップ体制を形作る最後の要素で、企業文化の変革を推進し、パークレイズにおける総体的な人事評価を行う上で有用な役割を果たすこととなります。バランスト・スコアカードは 8 項目の目標を定めています。今後、当グループは毎年、これらの目標についてご報告することとなります。目標のハードルは意図的に高く設定してありますが、達成可能であるとわれわれは考えています。全ての従業員の個人的な目標はバランスト・スコアカードに沿っています。

最後に、対外的な面については、パークレイズは英国経済において重要な役割を果たし続けていると私は誇りを持って申し上げます。当グループが多数の人材を雇用する企業として 2013 年に行った特に重要なことの 1 つは、約 1,000 人の実習生を受け入れ、若年層の就業促進に貢献し、急務である社会的ニーズに対応したことです。強い銀行であることにより、パークレイズはお客様への貸付を通じて英国経済を支えることができます。当グループは 2013 年に資金調達支援スキームを利用し、英国の家計および企業に推計 880 億ポンドの新規貸付を行いました。

最後になりましたが、当グループが取り組む計画や目標は確かに野心的なものであり、また、当グループは予期せぬ困難な問題や全般的な経済情勢に対処するため、常に順調に成果を上げられるとは限りません。しかしながら、私以下経営陣一同が規律をもって集中することで、パークレイズを「選ばれる銀行 ('Go-To' Bank)」にするという目標を達成できると私は確信しています。

**グループ最高責任者、アントニー・ジェンキンス**

## グループ財務担当取締役のレビュー

---

当グループの 2013 年度の業績を振り返りますと、順調な進展が見られ、拡大基調が強まりつつあると私は考えています。本年度は Transform プログラム実施の初年度であったために、今後のコスト削減に向けた大規模な投資やグループの貸借対照表および資本基盤の再構築に取り組む必要がありました。

業績について特筆に値すると強く感じた点は 2 つあります。第一に、従来からの個人向けおよび商業銀行業務の営業基盤を支えとする当グループの収益の厚みと多様性です。それはインベストメント・バンク部門においても見られ、株式とインベストメント・バンキング両事業が市場の影響による一部の FICC 事業の低迷を相殺する貴重な収益源になりました。第二に、資金調達および流動性、資本基盤、信用リスク管理、利ざやの各面で財務のファンダメンタルズの強さが示されことは、今後、当グループが持続可能なリターンを創出するうえで大きな力になるものと考えられます。

私は 10 月に貸借対照表の精査に着手した際、レバレッジ比率要件の達成を優先事項に位置付けました。この面の取り組みは順調に進展しており、PRA レバレッジ・エクスポージャーは 2013 年 6 月と比べて 2,000 億ポンド近く減少しました。加えて、58 億ポンドの新株予約権無償割当および 21 億ポンドの AT1 証券の発行を実施したことで、PRA レバレッジ比率は 3% 弱に改善しました。年間を通してリスク調整後資産の管理を重視し続けた効果により、CRD IV ベースのリスク調整後資産は 7%、額にして 300 億ポンド以上減少しました。今後も貸借対照表の精査は継続しますが、リスクの比重とレバレッジの両方に目配りしつつ、貸借対照表を最適化することにより大きな重点を置き、リターンの向上を図っていく考えです。進捗状況につきましては、定期的にご報告する予定です。

規制は引き続き重要な不確定要素の一つとなっています。明確になった領域も一部ありますが、不透明な部分がまだ多く残されています。われわれは当グループの将来への備えを万全なものとするため、規制を巡る動きを注視し続け、できる限り早めの対応に努める考えです。

当グループにとって 2014 年は引き続き過渡期の年になると考えられますが、将来のより高水準で持続可能なリターンの創出に向け、コスト管理の徹底とともに、特にインベストメント・バンク部門の貸借対照表を最適化する取り組みを重点的に進めていく所存です。

グループ財務担当取締役、トゥーシャー・モーザリア

### 損益計算書

- 2013年度の調整後税引前利益は Transform 達成費用の計上と収益の減少を受け、32%減少し、51億6,700万ポンドとなりました。2013年度第4四半期の調整後税引前利益はインベストメント・バンク部門の訴訟および規制当局に支払う規制関連の制裁金の費用3億3,100万ポンド、英国銀行税5億400万ポンド(2013年度第3四半期:0ポンド)、Transform 達成費用4億6,800万ポンド(2013年度第3四半期:1億100万ポンド)を含め、2013年度第3四半期と比べて11億9,400万ポンド減少し、1億9,100万ポンドとなりました。
- 法定税引前利益は、当グループ自身の信用度に関連する費用が2億2,000万ポンドに減少したのを受け(2012年:45億7,900万ポンド)、28億6,800万ポンドに改善しました(2012年:7億9,700万ポンド)。

### 収益

- 調整後収益は、パークレイカードと英国 RBB 部門の増収により一部相殺されたものの、インベストメント・バンク部門、本社部門、アフリカ RBB 部門における減収を受けて4%減少し、281億5,500万ポンドとなりました。
- インベストメント・バンク部門の収益は9%減少し、107億3,300万ポンドとなりました。株式およびプライム・サービス事業の4億8,900万ポンド、インベストメント・バンキング事業の6,300万ポンドの増収により一部相殺されたものの、FICC 事業が11億4,100万ポンドの減収となったためです。また、事業売却の加速と2013年度第4四半期の訴訟問題に関連する1億1,100万ポンドの収益の解消を受け、撤退対象事業資産からの収益は3億900万ポンド減少しました。2013年度第4四半期の収益は2013年度第3四半期と比べて2%増加し、21億4,900万ポンドとなりました。クレジット商品の業績の低下によって相殺されたものの、特に為替事業におけるマクロ商品とインベストメント・バンキングの取引高が拡大したほか、株式およびプライム・サービス事業の収益が増加したためです。
- 利息収入純額合計は116億ポンドと概ね横ばいでした。本社部門、アフリカ RBB 部門、インベストメント・バンク部門で利息収入純額が減少しましたが、パークレイカード、英国 RBB 部門、コーポレート・バンキング部門での増加により相殺されました。RBB、パークレイカード、コーポレート・バンキング、ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントの顧客利息収入純額は103億6,500万ポンド(2012年:98億3,900万ポンド)に増加しました。これは当グループの構造的ヘッジ活動の寄与により一部相殺されたものの、顧客資産が拡大したためです。

### 信用に関する減損

- 信用に関する減損費用は8%減少し、30億7,100万ポンドとなり、貸倒率は64ベース・ポイントとなりました(2012年:70ベース・ポイント)。
  - これは欧州および英国のコーポレート・バンキング部門を中心にホールセール事業の減損費用が減少したことを反映しています。
  - RBB 部門とパークレイカードでは、アフリカ RBB で特に南アフリカの住宅ローン延滞率が改善した一方、2012年に発生した引当金戻入れが当年度はなかったこととパークレイカードにおける Edcon 買収を一因として英国 RBB 部門とパークレイカードの減損費用が増加しました。
  - 欧州の減損費用の増加はスペイン政府による再生可能エネルギー・セクター向け補助金の減額と欧州モーゲージ債権の悪化を反映しています。

### コスト

- 調整後営業費用は Transform 達成費用12億900万ポンド、インベストメント・バンク部門において主に米国住宅モーゲージ関連事業に関連して2013年度第4四半期に発生した訴訟に係る引当金および規制関連の制裁金の費用2億2,000万ポンド、ならびに英国銀行税5億400万ポンド(2012年:3億4,500万ポンド)を反映し、13億3,100万ポンド増加し198億9,300万ポンドとなりました。グループの2015年の営業費用の目標は Transform 達成費用を除き168億ポンドと従来どおりです。
- 報酬費用合計は1%減少し、96億1,600万ポンドとなりました。インベストメント・バンク部門の報酬費用は46億3,400万ポンドと概ね横ばいでした(2012年:46億6,700万ポンド)。インベストメント・バンク部門の収益に対する報酬の比率は主に減収を反映し、43.2%に増加しました(2012年:39.6%)。

### 税金

- 調整後税引前利益の実効税率はスペインの繰延税金資産の償却を反映した4億4,000万ポンドの費用計上を主因に39.0%に上昇しました(2012年:28.4%)。同償却の影響を除いた調整後実効税率は30.5%(2012年:28.4%)でした。これは現地の法定税率が英国の法定税率23.25%(2012年:24.5%)より高い国における利益への課税と控除不可能な英国銀行税が5億400万ポンドに増加した影響(2012年:3億4,500万ポンド)を主に反映しています。法定税引前利益の実効税率は54.8%に低下しました(2012年:77.3%)。

## グループ財務担当取締役のレビュー

### リターン

- 調整後平均株主資本利益率は主に税引前利益の減少、スペインに関連する繰延税金資産の4億4,000万ポンドの償却、新株予約権無償割当による58億ポンドの増資を反映し、4.5%に低下しました(2012年:9.0%)。平均有形株主資本利益率は5.3%に低下しました(2012年:10.6%)。法定平均株主資本利益率は1.0%に上昇しました(2012年:マイナス1.2%)。

### 貸借対照表およびレバレッジ

#### 貸借対照表

- 資産合計は、先渡し金利の上昇および中央決済機関とのエクスポージャーを圧縮する取り組みに伴うデリバティブ資産の減少、余剰流動性の減少を受けた現金および中央銀行預け金の減少を主に反映し、2012年12月31日と比べて12%減少し、1兆3,120億ポンドとなりました。
- 貸付金合計は4,680億ポンドとなりました(2012年:4,640億ポンド)。英国RBB部門ではパークレイズ・ダイレクト(2013年度第1四半期に取得した旧INGダイレクトUK)を通じて取得したものを含め、84億ポンドの増加、パークレイカードは英国、海外合わせて18億ポンドの増加、ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントは18億ポンドの増加となりましたが、アフリカRBB部門が為替変動の影響を除いたベースでは2%増加したものの、英ポンドに対する南アフリカランドの下落が響き、57億ポンド減少したことで相殺されました。
- 顧客預り金は11%増加し、4,280億ポンドとなりました。英国RBB部門の預金残高の195億ポンドの増加、富裕層事業を中心とするウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント部門の96億ポンドの増加、英国の預金残高の伸びに伴うコーポレート・バンキング部門における91億ポンドの増加を受けたものです。
- 株主資本合計(非支配持分を含む)は640億ポンド(2012年:600億ポンド)でした。非支配持分を除いた株主資本合計は48億ポンド増加し、550億ポンドとなりました。これは、新株予約権無償割当を通じた32億株の新株発行で調達した58億ポンドと持分法で処理された21億ポンドの資本みなしAT1証券の発行を含め、株式資本および株式払込剰余金が74億ポンド増加したことを反映していますが、先渡し金利の上昇によるキャッシュフロー・ヘッジ再評価差額の18億ポンドの減少、米ドルおよび南アフリカランドに対する英ポンドの上昇に伴う為替換算再評価差額の12億ポンドの減少、9億ポンドの配当金支払い、ならびに退職給付債務の増加に伴う5億ポンドの減少によって一部相殺されました。
- 1株当たりの純資産価額は331ペンス(2012年:414ペンス)、1株当たりの正味有形資産価額は283ペンス(2012年:349ペンス)でした。この減少は主に、新株予約権無償割当に伴う株式発行とキャッシュフロー・ヘッジ再評価差額および為替換算再評価差額の減少によるものです。
- 2013年12月31日現在、支払保障保険(PPI)に係る補償引当金残高は9億7,100万ポンド(2012年:9億8,600万ポンド)、金利ヘッジ商品に係る補償引当金残高は11億6,900万ポンド(2012年:8億1,400万ポンド)となりました。将来予想される費用の見積額は、2013年6月以降大きな増減はありません。

#### レバレッジ

- PRAレバレッジ・エクスポージャーはデリバティブ乗換費用、デリバティブの将来の潜在エクスポージャー、現金および中央銀行預け金の減少により2013年6月30日と比べて1,960億ポンド減少し、推定1兆3,630億ポンドとなりました。PRAレバレッジ・エクスポージャーの減少のうち推定550億ポンドは為替変動の影響によるものです。

### 資本管理

- CRD IV完全施行ベースのCET1資本は2013年9月30日と比べて30億ポンド増加し、404億ポンドとなりました。外国為替の変動による8億ポンドおよび予測し得る配当に係る規制上の控除の増加により一部相殺されたものの、新株予約権無償割当による新株発行を主に反映しています。CRD IIIベースのコアTier1資本は468億ポンドでした(2013年9月30日:420億ポンド)。
- CRD IVベースのリスク調整後資産は2012年度と比べて320億ポンド、2013年度第3四半期と比べて120億ポンド減少し、4,360億ポンドとなりました。算定手法変更の影響により一部相殺されましたが、撤退対象事業のリスク調整後資産の390億ポンドの減少とトレーディング勘定エクスポージャーの圧縮を主に反映しています。この減少は主にインベストメント・バンク部門におけるもので、同部門の撤退対象事業のリスク調整後資産は370億ポンド減少して、420億ポンドとなりました。CRD IIIベースのリスク調整後資産は当年度に320億ポンド減少して、3,550億ポンドとなりました。
- CRD IV完全施行ベースのCET1比率は9.3%でした(2013年9月30日:8.4%、新株予約権無償割当調整後ベースで9.6%)。これは主に予測し得る配当に係る新たな規制上の控除により一部相殺されたものの、新株予約権無償割当とリスク調整後資産の減少を主に反映した結果です。CRD IIIベースのコアTier1比率は13.2%に上昇しました(2013年9月30日:11.3%)。
- 推定PRAレバレッジ比率はPRAレバレッジ・エクスポージャーの1,960億ポンドの減少と適格PRA調整後Tier1資本の405億ポンドへの増加(2013年6月30日:342億ポンド)を反映し、3.0%弱に上昇しました(2013年6月30日:2.2%)。この増加は、21億ポンドのAT1証券、ならびに健全性評価調整(PVA)のための追加的なPRAアドオンの除去を主因にCET1比率に対するPRA調整が19億ポンド減少し22億ポンドになった影響を含みます。詳細は英語原文55ページをご参照ください。CRD IV完全施行ベースの推定レバレッジ比率は3.1%に上昇しました(2013年6月30日:2.5%)。

### 資金調達と流動性

- 2013 年度に余剰流動性は 230 億ポンド減少し、1,270 億ポンドとなりました。これはグループの流動性リスク選好度に関する内部および規制上の要件を満たしつつ、高水準の流動性リスク選好度 (LRA) および流動性カバレッジ比率 (LCR) の要件に対する超過分を圧縮することで、レバレッジ計画を支援すると同時に流動性コストを最適化する取り組みに沿ったものです。
- 余剰流動性は主に現金および中央銀行預け金と優良国債で構成されています。余剰流動性に占めるこれらの割合は 83% となりました (2012 年: 87%)。
- バーゼル委員会が発表した最新基準に基づく流動性カバレッジ比率 (LCR) は推定 102% でした (2012 年: 126%)。これは要件の 100% を満たすために必要な額を 20 億ポンド (2012 年: 320 億ポンド) 上回ります。
- 安定調達比率 (NSFR) は推定 110% で (2012 年: 112%)、要件の 100% を満たすために必要な額を 400 億ポンド上回りました (2012 年: 490 億ポンド)。
- グループ全体の預貸率は英国 RBB、コーポレート・バンキング、ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント各部門の顧客預り金の大幅な増加を受け、101% に低下しました (2012 年: 110%)。
- ホールセール資金調達残高合計 (レポ取引を除く) は 1,860 億ポンド (2012 年: 2,400 億ポンド) でした。うち、1 年未満のうちに満期を迎えるものは 820 億ポンド (2012 年: 1,020 億ポンド)、1 カ月内に満期を迎えるものは 200 億ポンド (2012 年: 290 億ポンド) です。
- 当グループは 2013 年に CRD IV 適格の Tier2 資本 10 億ドルを含め、正味で 10 億ポンドのターム・ファンディングを行いました。2014 年に満期を迎えるターム・ファンディングは 240 億ポンド、2015 年に満期を迎えるターム・ファンディングは 220 億ポンドです。2014 年は、満期を迎える額よりは少ないものの、公募ホールセール債務の発行を、2013 年より増やす方針です。

### 配当

- 2013 年度の年の最終配当として 1 株当たり 3.5 ペンスを 2014 年 3 月 28 日付でお支払いします。年間の配当金支払額は合計で 1 株当たり 6.5 ペンスになります。配当金支払総額は新株予約権の無償割当の一環としての株式の追加発行を反映し、8 億 5,900 万ポンド (2012 年: 7 億 3,300 万ポンド) となりました。

### 見通し

- 2014 年度は当グループにとって引き続き過渡期の年と位置付けられ、投資を継続し、貸借対照表の最適化とコスト削減に注力し続けてまいります。

### 資本、レバレッジおよび配当金に関する最新ガイダンス

- パークレイズの現在の規制上の目標は 2019 年度までに完全施行ベースの CET1 比率 9% およびピラー 2A アドオンを達成することです。現在のプルードンス (健全性) 規制機構 (PRA) のガイダンスの下では、ピラー 2A は 2015 年度から CET1 の 56% の水準を達成する必要があります。この要件が現在適用されると仮定すると、これはリスク調整後資産 (RWA) の約 1.4% に相当します。ピラー 2A アドオンは PRA の個別資本ガイダンス次第で時間の経過とともに変動が見込まれます。
- 当グループは、2015 年に完全施行ベースの CRD IV CET1 比率 10.5% を達成することを見込んでいます。当グループが最終状態の資本構造に向けた移行期間に資本の積み上げを実施するにつれ、内部管理バッファー、ピラー 2A およびその他の規制上の留意事項を考慮に入れた場合の CRD IV CET1 比率の推定値は 11.5-12% の範囲に達すると見込んでいます。この予想は特定の想定 (詳細は英語原文 55 ページをご参照ください) に基づいており、カウンター・シクリカル資本バッファー、追加的なセクショナル資本要件、あるいはシステムック・リスク・バッファーを含んでいないことにご留意ください。
- 当グループは推定 PRA レバレッジ比率について 2015 年末までに最低 3.5%、2016 年以降は 3.5-4% の範囲に達することを目指します。レバレッジ・エクスポージャーの正味減少幅は約 600 億ポンド (外国為替の影響を除く) を見込んでいます。当グループは、レバレッジ・エクスポージャーが 2015 年までに 1 兆 3,000 億ポンドを下回ることを見込んでおり、この減少は当期収益にほとんど影響しませんが、2015 年には推定 3 億ポンドの増益に繋がると見込んでいます。
- 2014 年 1 月のバーゼル銀行監督委員会 (BCBS) 提案の高度な影響に関する暫定的な分析を基に、経営面の施策および更なるルール変更を考慮しない場合、PRA レバレッジ比率が 20 ベーシス・ポイント低下すると推定しています。
- 当グループは、取締役会によって決定される 1 株当たり調整後利益の比率として計算される配当性向について、引き続き 40-50% を徐々に目指しますが、資本増加を重視していくため 2014 年からは 40% を見込んでいます。

### グループ財務担当取締役、トゥーシャー・モーザリア

## 事業部門別業績

### 要約連結損益計算書(未監査)

継続事業	注記 <sup>1</sup>	2013年12月31日 に終了した年度 (百万ポンド)	2012年12月31日 に終了した年度 (百万ポンド)
利息収入純額	2	11,600	11,654
手数料収入純額		8,731	8,536
トレーディング収益純額		6,553	3,347
投資収益純額		680	844
保険契約に基づく保険料収入純額		732	896
その他の収益		148	332
<b>収益合計</b>		<b>28,444</b>	<b>25,609</b>
保険契約に基づく保険金および給付金純額		(509)	(600)
<b>保険金控除後の収益合計</b>		<b>27,935</b>	<b>25,009</b>
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額		(3,071)	(3,340)
<b>営業収益純額</b>		<b>24,864</b>	<b>21,669</b>
人件費		(12,155)	(11,467)
一般管理費	3	(7,817)	(7,095)
<b>営業費用 (PPI および金利ヘッジ商品に係る補償引当金を除く)</b>		<b>(19,972)</b>	<b>(18,562)</b>
支払保障保険 (PPI) に係る補償引当金	13	(1,350)	(1,600)
金利ヘッジ商品に係る補償引当金	13	(650)	(850)
<b>営業費用</b>		<b>(21,972)</b>	<b>(21,012)</b>
事業の売却(損)益並びに関連会社および合弁会社の損益に対する持分		(24)	140
<b>税引前利益</b>		<b>2,868</b>	<b>797</b>
税金	4	(1,571)	(616)
<b>税引後利益</b>		<b>1,297</b>	<b>181</b>
<b>以下に帰属するもの:</b>			
親会社の株主		540	(624)
非支配持分	5	757	805
<b>税引後利益</b>		<b>1,297</b>	<b>181</b>
<b>継続事業からの1株当たり利益</b>			
基本的普通株式1株当たり利益/(損失)	6	3.8p	(4.8p)
希薄化後普通株式1株当たり利益/(損失)	6	3.7p	(4.8p)

<sup>1</sup> 財務書類に対する注記は、英語原文99ページから122ページをご参照ください。

## 事業部門別業績

### 要約連結損益およびその他包括利益計算書(未監査)

継続事業	注記 <sup>1</sup>	2013年12月31日	2012年12月31日
		に終了した年度 (百万ポンド)	に終了した年度 (百万ポンド)
税引後利益		1,297	181
<b>損益に振替えられる可能性があるその他包括(損失)/利益:</b>			
為替換算再評価差額	17	(1,767)	(1,548)
売却可能投資再評価差額	17	(382)	546
キャッシュフロー・ヘッジ再評価差額	17	(1,890)	662
その他		(37)	96
<b>損益に振替えられる可能性がある包括損失合計</b>		<b>(4,076)</b>	<b>(244)</b>
<b>損益に振替えられない可能性があるその他包括利益:</b>			
退職給付金の再評価	17	(515)	(1,235)
当期その他の包括損失		(4,591)	(1,479)
当期包括損失合計		(3,294)	(1,298)
<b>以下に帰属するもの:</b>			
親会社の株主		(3,406)	(1,894)
非支配持分		112	596
<b>当期包括損失合計</b>		<b>(3,294)</b>	<b>(1,298)</b>

<sup>1</sup> 財務書類に対する注記は、英語原文99ページから122ページをご参照ください。

## 事業部門別業績

### 要約連結貸借対照表(未監査)

資産	注記 <sup>1</sup>	2013年 12月31日現在 (百万ポンド)	2012年 12月31日現在 (百万ポンド)
現金および中央銀行預け金		45,687	86,191
他行からの取立中の項目		1,282	1,473
トレーディング・ポートフォリオ資産		133,069	146,352
公正価値で測定すると指定された金融資産		38,968	46,629
デリバティブ	8	324,335	469,156
銀行に対する貸付金		37,853	40,462
顧客に対する貸付金		430,411	423,906
リバース・レポ取引およびその他類似の担保付貸付		186,779	176,522
売却可能投資		91,756	75,109
未収還付税および繰延税金資産	4	5,026	3,815
前払金、未収収益およびその他の資産		4,414	4,365
関連会社および合弁会社に対する投資		653	633
のれんおよび無形資産	11	7,685	7,915
有形固定資産		4,216	5,754
退職給付資産	14	133	53
<b>資産合計</b>		<b>1,312,267</b>	<b>1,488,335</b>
<b>負債</b>			
銀行預り金		54,834	77,012
他銀行への未決済項目		1,359	1,587
顧客預り金		427,902	385,411
レポ取引およびその他類似の担保付借入		196,748	217,178
トレーディング・ポートフォリオ負債		53,464	44,794
公正価値で測定すると指定された金融負債		64,796	78,561
デリバティブ	8	320,634	462,721
発行債券		86,693	119,525
未払金、繰延収益およびその他負債		12,934	12,532
未払税金および繰延税金負債	4	1,415	962
劣後負債	12	21,695	24,018
引当金	13	3,886	2,766
退職給付債務	14	1,958	1,282
<b>負債合計</b>		<b>1,248,318</b>	<b>1,428,349</b>
<b>株主資本</b>			
払込済株式資本および株式払込剰余金	15	19,887	12,477
その他の資本性金融商品	16	2,063	-
その他の剰余金	17	249	3,674
利益剰余金		33,186	34,464
非支配持分を除く株主資本		55,385	50,615
非支配持分	5	8,564	9,371
<b>株主資本合計</b>		<b>63,949</b>	<b>59,986</b>
<b>負債および株主資本合計</b>		<b>1,312,267</b>	<b>1,488,335</b>

<sup>1</sup> 財務書類に対する注記は、英語原文99ページから122ページをご参照ください。

## 事業部門別業績

### 要約連結株主資本変動表(未監査)

2013年12月31日に終了した年度	払込済株式資本 および 株式払込剰余金 <sup>1</sup> (百万ポンド)	その他の資本 性金融商品 <sup>1</sup> (百万ポンド)	その他の 剰余金 <sup>1</sup> (百万ポンド)	利益 剰余金 (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)	非支配 持分 <sup>2</sup> (百万ポンド)	株主資本 合計 (百万ポンド)
2013年1月1日現在の残高	12,477	-	3,674	34,464	50,615	9,371	59,986
税引後利益	-	-	-	540	540	757	1,297
為替換算の変動	-	-	(1,201)	-	(1,201)	(566)	(1,767)
売却可能投資	-	-	(379)	-	(379)	(3)	(382)
キャッシュフロー・ヘッジ	-	-	(1,826)	-	(1,826)	(64)	(1,890)
退職給付金の再評価	-	-	-	(503)	(503)	(12)	(515)
その他	-	-	-	(37)	(37)	-	(37)
<b>当期包括(損失)/利益合計</b>	-	-	<b>(3,406)</b>	-	<b>(3,406)</b>	<b>112</b>	<b>(3,294)</b>
普通株式の新規発行	6,620	-	-	-	6,620	-	6,620
従業員株式制度に基づく株式発行	790	-	-	689	1,479	-	1,479
その他の資本性金融商品の発行	-	2,063	-	-	2,063	-	2,063
自己株式の増加	-	-	(1,066)	-	(1,066)	-	(1,066)
従業員株式制度に基づく株式の権利確定	-	-	1,047	(1,047)	-	-	-
配当金支払額	-	-	-	(859)	(859)	(813)	(1,672)
その他の剰余金の変動	-	-	-	(61)	(61)	(106)	(167)
<b>2013年12月31日現在の残高</b>	<b>19,887</b>	<b>2,063</b>	<b>249</b>	<b>33,186</b>	<b>55,385</b>	<b>8,564</b>	<b>63,949</b>
2012年12月31日に終了した年度							
2012年1月1日現在の残高	12,380	-	3,837	37,189	53,406	9,607	63,013
税引後(損失)/利益	-	-	-	(624)	(624)	805	181
為替換算の変動	-	-	(1,289)	-	(1,289)	(259)	(1,548)
売却可能投資	-	-	502	-	502	44	546
キャッシュフロー・ヘッジ	-	-	657	-	657	5	662
退職給付金の再評価	-	-	-	(1,235)	(1,235)	-	(1,235)
その他	-	-	-	95	95	1	96
<b>当期包括利益合計</b>	-	-	<b>(130)</b>	<b>(1,764)</b>	<b>(1,894)</b>	<b>596</b>	<b>(1,298)</b>
従業員株式制度に基づく株式発行	97	-	-	717	814	-	814
自己株式の増加	-	-	(979)	-	(979)	-	(979)
従業員株式制度に基づく株式の権利確定	-	-	946	(946)	-	-	-
配当金支払額	-	-	-	(733)	(733)	(694)	(1,427)
その他の剰余金の変動	-	-	-	1	1	(138)	(137)
<b>2012年12月31日現在の残高</b>	<b>12,477</b>	<b>-</b>	<b>3,674</b>	<b>34,464</b>	<b>50,615</b>	<b>9,371</b>	<b>59,986</b>

<sup>1</sup> 株主資本、その他の資本性金融商品、その他の剰余金の詳細については英語原文112ページをご参照ください。

<sup>2</sup> 非支配持分の詳細については、英語原文102ページをご参照ください。

## 事業部門別業績

### 要約連結キャッシュフロー計算書(未監査)

	2013年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2012年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)
<b>継続事業</b>		
税引前利益	2,868	797
非現金項目の調整	6,581	12,425
営業資産および負債の変動	(33,065)	(25,529)
法人税等支払額	(1,558)	(1,516)
<b>営業活動からのキャッシュ純額</b>	<b>(25,174)</b>	<b>(13,823)</b>
投資活動からのキャッシュ純額	(22,645)	(7,097)
財務活動からのキャッシュ純額	5,910	(2,842)
現金および現金同等物に係る為替レートの影響	198	(4,111)
<b>現金および現金同等物の純増加</b>	<b>(41,711)</b>	<b>(27,873)</b>
現金および現金同等物の期首残高	121,896	149,769
<b>現金および現金同等物の期末残高</b>	<b>80,185</b>	<b>121,896</b>

## 事業部門別業績

### インベストメント・バンク

損益計算書関連の情報	2013年	2012年	増減率(%)
	12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	
利息収入純額	349	530	(34)
手数料収入純額	3,236	3,029	7
トレーディング収益純額	6,610	7,688	(14)
投資収益純額	530	521	2
その他の収益	8	7	14
<b>収益合計</b>	<b>10,733</b>	<b>11,775</b>	<b>(9)</b>
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(220)	(204)	8
<b>営業収益純額</b>	<b>10,513</b>	<b>11,571</b>	<b>(9)</b>
営業費用(英国銀行税および Transform 達成費用を除く)	(7,417)	(7,425)	-
英国銀行税	(333)	(206)	62
Transform 達成費用	(262)	-	
<b>営業費用</b>	<b>(8,012)</b>	<b>(7,631)</b>	<b>5</b>
その他収益純額	22	50	(56)
<b>税引前利益</b>	<b>2,523</b>	<b>3,990</b>	<b>(37)</b>
株主帰属利益 <sup>1</sup>	1,548	2,680	(42)

### 貸借対照表関連の情報と重要な数値

銀行および顧客に対する貸付金 (償却原価ベース) <sup>2</sup>	1,438 億ポンド	1,435 億ポンド	-
顧客預り金 <sup>2</sup>	819 億ポンド	759 億ポンド	8
資産合計 <sup>3</sup>	8,638 億ポンド	1 兆 737 億ポンド	(20)
リスク調整後資産 - CRD III <sup>3</sup>	1,426 億ポンド	1,779 億ポンド	(20)
リスク調整後資産 - CRD IV 完全施行ベース <sup>3</sup>	2,216 億ポンド		
平均 DVaR(95%)	2,900 万ポンド	3,800 万ポンド	
従業員数(常勤換算)	26,200	25,600	

パフォーマンス指標	調整後		法定	
	2013年 12月31日	2012年 12月31日	2013年 12月31日	2012年 12月31日
平均有形株主資本利益率	8.5%	13.1%	8.5%	13.1%
平均株主資本利益率	8.2%	12.7%	8.2%	12.7%
平均リスク調整後資産利益率	1.0%	1.6%	1.0%	1.6%
収益に対する費用の比率	75%	65%	75%	65%
収益に対する報酬の比率	43.2%	39.6%	43.2%	39.6%
貸倒率(ベース・ポイント)	14	13	14	13

<sup>1</sup> 株主帰属利益には税引後利益と非支配持分が含まれます。

<sup>2</sup> 2013年12月31日の貸付金には顧客に対する貸付金1,120億ポンド(含む決済残高354億ポンドと現金担保360億ポンド)、銀行に対する貸付金318億ポンド(含む決済残高52億ポンドと現金担保147億ポンド)が含まれています。顧客預り金には決済残高345億ポンドおよび現金担保270億ポンドが含まれています。

<sup>3</sup> 2013年度の総資産およびリスク調整後資産には、他の事業部門への余剰流動性資産の再配分が反映されています。

## 事業部門別業績

### インベストメント・バンク

インベストメント・バンク部門は 2013 年度にコストおよび資本効率の向上、管理体制の強化、株式およびインベストメント・バンキング事業を足場とした事業拡大に重点的に取り組み、Transform プログラムの戦略的目標の達成に向けて順調に推移し続けました。同部門では、主に欧州、アジア、米国における事業再編に関連する Transform 達成費用 2 億 6,200 万ポンドを計上しました。

CRD IV ベースのリスク調整後資産は撤退対象事業資産の売却の加速と継続事業における効率改善の継続的な取り組みにより 2,216 億ポンドに減少しました(2013 年 6 月 30 日:2,541 億ポンド)。

2013 年度の FICC 事業は減収となりましたが、株式業務の伸びは市場を上回り続け、好調な業績となりました。

#### 損益計算書 - 2013 年度と 2012 年度の比較

収益合計内訳	2013 年 12 月 31 日に 終了した年度 (百万ポンド)	2012 年 12 月 31 日に 終了した年度 <sup>3</sup> (百万ポンド)	増減率(%)
マクロ商品 <sup>1</sup>	3,110	4,024	(23)
クレジット商品 <sup>1</sup>	2,427	2,654	(9)
債券、為替およびコモディティ(FICC)	5,537	6,678	(17)
株式およびプライム・サービス	2,672	2,183	22
インベストメント・バンキング	2,200	2,137	3
プリンシパル・インベストメント	62	206	(70)
撤退対象事業 <sup>2</sup>	262	571	(54)
<b>収益合計</b>	<b>10,733</b>	<b>11,775</b>	<b>(9)</b>

- 収益合計は撤退対象事業に関連する 3 億 900 万ポンドの減少を含め 9%減少し、107 億 3,300 万ポンドとなりました。
  - － FICC 事業の収益は 17%減の 55 億 3,700 万ポンドとなりました。
    - ・ マクロ商品およびクレジット商品の収益は中央銀行の量的緩和政策の縮小を巡る市場の不透明感が金利および証券化商品の取引に影響し、それぞれ 23%減の 31 億 1,000 万ポンド、9%減の 24 億 2,700 万ポンドとなりました。欧州と米国が特に大きな影響を受けた一方、アジアは為替業務の収益改善の恩恵を受けました。前年度は、2012 年上半期に実施された欧州の流動性供給オペ(LTRO)、欧州中央銀行(ECB)の国債購入プログラム、2012 年下半期のベンチマーク金利の低下の恩恵を受けました。
  - － 株式およびプライム・サービス事業の収益は手数料収入の増加と顧客の取引高の拡大を反映し、22%増の 26 億 7,200 万ポンドとなりました。
  - － インベストメント・バンキング事業の収益は財務アドバイザー業務の取引高の減少により一部相殺されたものの、株式引受業務の手数料収入が伸びたことから、3%増の 22 億ポンドとなりました。
  - － プリンシパル・インベストメントの収益は資産の売却と未公開株業務の減収により 6,200 万ポンドに減少しました(2012 年:2 億 600 万ポンド)。
  - － 撤退対象事業からの収益は 3 億 900 万ポンド減少し、2 億 6,200 万ポンドになりました。2013 年度を通して撤退対象事業の資産の処分を加速させたことに加え、前年度は米国住宅モーゲージ資産の上昇による利益および米国商業用不動産資産の売却ならびに上昇による利益を計上したことも影響しています。2013 年度の収益には 2008 年の米国リーマンの買収により譲渡された一部未回収資産の回収可能性の改善に伴う 2 億 5,900 万ポンドの収益と訴訟問題に関連する当年度の 1 億 1,100 万ポンドの収益の解消を含みます。
- 信用に関する純減損費用は 2 億 2,000 万ポンドでした(2012 年:2 億 400 万ポンド)。これは 2013 年度第 2 四半期の単一銘柄エクスポージャーに対する引当てによるものです。
- 営業費用は 5%増加し、80 億 1,200 万ポンドとなりました。
  - － Transform 達成費用 2 億 6,200 万ポンドは主に欧州、アジア、米国における事業再編策に関連するものです。
  - － 英国銀行税は税率の上昇を主に 62%増加し、3 億 3,300 万ポンドとなりました。
  - － その他費用にはドッド=フランク法、CRD IV、その他報告に関連する規制変更に対応するための費用の増加を含め、インフラ改善に関連する費用 3 億 2,500 万ポンド(2012 年:2 億 2,100 万ポンド)が含まれます。2013 年度第 4 四半期には主に米国住宅モーゲージ関連事業に係る訴訟および規制当局に支払う制裁金に係る引当金 2 億 2,000 万ポンドを計上しました。2012 年度の営業費用には銀行間取引金利の設定に係る 1 億 9,300 万ポンドの費用が含まれていました。
- Transform 達成費用を含め、収益に対する費用の比率は 10%上昇し、75%となりました。収益に対する報酬の比率は 43.2%(2012 年:39.6%)に上昇しました。報酬費用は 46 億 3,400 万ポンドと前年度と比べ概ね横ばいでした(2012 年:46 億 6,700 万ポンド)。詳細は英語原文 40 ページの報酬に関する開示をご参照ください。
- 税引前利益は 37%減少し、25 億 2,300 万ポンドとなりました。

<sup>1</sup> マクロ商品は、金利、為替、コモディティ商品からの収益、クレジット商品は信用、証券化商品からの収益を意味します。

<sup>2</sup> 撤退対象事業はインベストメント・バンク部門の撤退対象事業(詳細は英語原文 46 ページをご参照ください)、2008 年の米国リーマンの買収により譲渡された一部未回収資産の回収可能性の改善に伴う収益、関連する訴訟項目からなります。

<sup>3</sup> 2012 年度の FICC および撤退対象事業の額は撤退対象ポートフォリオを適宜割り当てて再表示したものです。

## 事業部門別業績

### 損益計算書 - 2013 年度第 4 四半期と 2012 年度第 4 四半期の比較

- 収益は撤退対象事業に関連する 2 億 5,600 万ポンドの減少を含め、17%減少し、21 億 4,900 万ポンドとなりました。
  - － FICC 事業の収益は 16%減の 10 億 8,500 万ポンドとなりました。トレーディング環境の悪化により FICC 事業の多くの業務で取引高が減少したことを反映しています。
  - － 株式およびプライム・サービス事業の収益は 9%増の 4 億 9,600 万ポンドとなりました。市場の信頼感の改善と顧客の取引高の増加を受けて、現物株および株式デリバティブ業務のパフォーマンスが好調だったためです。
  - － インベストメント・バンキング事業の収益は 5%減の 5 億 9,000 万ポンドとなりました。株式引受業務の手数料収入の増加により一部相殺されたものの、財務アドバイザー業務および債券引受業務が減収となったためです。
  - － 撤退対象事業からの収益は訴訟問題に関連する当年度の 1 億 1,100 万ポンドの収益の解消を受け、2 億 5,600 万ポンド減少し、マイナス 5,400 万ポンドになりました。前年度同期は米国住宅モーゲージ資産の上昇による利益を計上しました。
- 営業費用は 33%増の 24 億 6,400 万ポンドとなりました。
  - － 2013 年度第 4 四半期は主に事業再編コストに関連する Transform 達成費用 8,700 万ポンドを計上しました(2012 年度第 4 四半期:ゼロ)。
  - － 英国銀行税は 62%増の 3 億 3,300 万ポンドとなりました。
  - － 2013 年度第 4 四半期に主に米国住宅モーゲージ関連事業に係る訴訟および規制当局に支払う制裁金に係る引当金 2 億 2,000 万ポンドを計上しました。
  - － 報酬は当年度のインセンティブ報酬を支給するため増加しました。詳細は英語原文 40 ページの報酬に関する開示をご参照ください。
- 税引前損益は 7 億 6,000 万ポンドの利益から 3 億 2,900 万ポンドの損失に転じました。

### 損益計算書 - 2013 年度第 4 四半期と 2013 年度第 3 四半期の比較

- 収益は 2%増の 21 億 4,900 万ポンドとなりました。
  - － FICC 事業の収益は 12%増の 10 億 8,500 万ポンドとなりました。クレジット・ポジションのトレーディングの減少によるクレジット商品の減収に一部相殺されたものの、金利、コモディティ、為替業務を牽引役にマクロ商品の収益が増加したことを反映しています。
  - － 株式およびプライム・サービス事業の収益は 23%減の 4 億 9,600 万ポンドとなりました。顧客の預り金残高と取引高の増加によるプライム・サービスの増収により一部相殺されたものの、2013 年度第 4 四半期は市場全体の取引高が減少し、ボラティリティが低水準にとどまり、現物株および株式デリバティブ業務のパフォーマンスに影響したためです。
  - － インベストメント・バンキング事業の収益は 12%増の 5 億 9,000 万ポンドとなりました。債券引受業務が第 3 四半期比で横ばいを維持する一方で、取引高の拡大を受け、財務アドバイザー業務と株式引受業務のパフォーマンスが改善したためです。
- 営業費用は 51%増の 24 億 6,400 万ポンドとなりました。
  - － Transform 達成費用は 8,700 万ポンドでした(2013 年度第 3 四半期:600 万ポンド)。
  - － 英国銀行税は 3 億 3,300 万ポンドでした(2013 年度第 3 四半期:ゼロ)。
  - － 2013 年度第 4 四半期に主に米国住宅モーゲージ関連事業に係る訴訟および規制当局に支払う制裁金に係る引当金 2 億 2,000 万ポンドを計上しました。
  - － 報酬は当年度のインセンティブ報酬を支給するため増加しました。詳細は英語原文 40 ページの報酬に関する開示をご参照ください。

### 貸借対照表 - 2013 年 12 月 31 日と 2012 年 12 月 31 日の比較

- 資産合計はデリバティブ金融商品、現金および中央銀行預け金、ならびにトレーディング・ポートフォリオ資産の減少を主に反映し、2,099 億ポンド減少し、8,638 億ポンドとなりました。
- CRD III ベースのリスク調整後資産はトレーディング勘定のソブリン・エクスポージャーの減少、トレーディング勘定のリスク圧縮、ならびに撤退対象事業のリスク調整後資産の減少を主に 20%減の 1,426 億ポンドとなりました。

## 事業部門別業績

### コーポレート・バンキング

損益計算書関連の情報	2013年	2012年	増減率(%)
	12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	
利息収入純額	1,987	1,911	4
手数料収入純額	992	998	(1)
トレーディング収益純額	97	87	11
投資収益純額	12	23	(48)
その他の収益	27	27	-
<b>収益合計</b>	<b>3,115</b>	<b>3,046</b>	<b>2</b>
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(510)	(885)	(42)
<b>営業収益純額</b>	<b>2,605</b>	<b>2,161</b>	<b>21</b>
<b>営業費用</b>			
(英国銀行税、金利ヘッジ商品に係る補償引当金および Transform 達成費用を除く)	(1,641)	(1,672)	(2)
英国銀行税	(51)	(39)	31
金利ヘッジ商品に係る補償引当金	(650)	(850)	(24)
Transform 達成費用	(114)	-	
<b>営業費用</b>	<b>(2,456)</b>	<b>(2,561)</b>	<b>(4)</b>
その他収益純額	2	10	(80)
<b>税引前利益/(損失)</b>	<b>151</b>	<b>(390)</b>	
<b>調整後税引前利益<sup>1</sup></b>	<b>801</b>	<b>460</b>	<b>74</b>
調整後株主帰属利益 <sup>1,2</sup>	247	228	8
<b>貸借対照表関連の情報</b>			
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	611 億ポンド	643 億ポンド	(5)
顧客に対する貸付金(公正価値ベース)	157 億ポンド	176 億ポンド	(11)
顧客預り金	1,087 億ポンド	996 億ポンド	9
資産合計 <sup>3</sup>	1,139 億ポンド	878 億ポンド	30
リスク調整後資産 - CRD III <sup>3</sup>	689 億ポンド	709 億ポンド	(3)
リスク調整後資産 - CRD IV 完全施行ベース <sup>3</sup>	705 億ポンド		
従業員数(常勤換算)	12,800	13,000	

パフォーマンス指標	調整後 <sup>1</sup>		決定	
	2013年	2012年	2013年	2012年
	12月31日	12月31日	12月31日	12月31日
平均有形株主資本利益率	3.3%	3.1%	(3.6%)	(5.7%)
平均株主資本利益率	3.1%	2.9%	(3.5%)	(5.4%)
平均リスク調整後資産利益率	0.5%	0.5%	(0.2%)	(0.4%)
貸倒率(ベース・ポイント)	77	127	77	127
収益に対する費用の比率	58%	56%	79%	84%

- 調整後税引前利益、調整後株主帰属利益、調整後パフォーマンス指標には、金利ヘッジ商品に係る補償引当金 6 億 5,000 万ポンド(2012 年:8 億 5,000 万ポンド)が含まれていません。
- 調整後株主帰属利益は税引後利益と非支配持分を含んでいます。
- 2013 年度の資産合計およびリスク調整後資産には、従来グループで管理されていた余剰流動性資産の再配分が反映されています。

## 事業部門別業績

### コーポレート・バンキング

#### 2013年12月31日に終了した年度

	英国 (百万ポンド)	欧州 (百万ポンド)	その他地域 (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)
<b>損益計算書関連の情報</b>				
収益	2,330	250	535	3,115
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(174)	(318)	(18)	(510)
営業費用(英国銀行税、金利ヘッジ商品に係る補償引当金および Transform 達成費用を除く)	(1,114)	(146)	(381)	(1,641)
英国銀行税	(39)	(6)	(6)	(51)
金利ヘッジ商品に係る補償引当金	(650)	-	-	(650)
Transform 達成費用	(56)	(23)	(35)	(114)
その他の収益純額	1	-	1	2
<b>調整後税引前利益/(損失)</b>	<b>298</b>	<b>(243)</b>	<b>96</b>	<b>151</b>
<b>調整後税引前利益/(損失)<sup>1</sup></b>	<b>948</b>	<b>(243)</b>	<b>96</b>	<b>801</b>
<b>調整後株主帰属利益/(損失)<sup>1,2</sup></b>	<b>731</b>	<b>(510)</b>	<b>26</b>	<b>247</b>
<b>貸借対照表関連の情報</b>				
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	500 億ポンド	48 億ポンド	63 億ポンド	611 億ポンド
顧客に対する貸付金(公正価値ベース)	157 億ポンド	-	-	157 億ポンド
顧客預り金	880 億ポンド	91 億ポンド	116 億ポンド	1,087 億ポンド
資産合計 <sup>3</sup>	991 億ポンド	550 億ポンド	930 億ポンド	1,139 億ポンド
リスク調整後資産- CRD III <sup>3</sup>	522 億ポンド	77 億ポンド	90 億ポンド	689 億ポンド
<b>パフォーマンス指標</b>				
調整後平均株主資本利益	12.3%	(51.1%)	2.9%	3.1%
法定平均株主資本利益	3.7%	(51.1%)	2.9%	(3.5%)

#### 2012年12月31日に終了した年度

	英国 (百万ポンド)	欧州 (百万ポンド)	その他地域 (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)
<b>損益計算書関連の情報</b>				
収益	2,220	300	526	3,046
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(284)	(542)	(59)	(885)
営業費用(英国銀行税および金利ヘッジ商品に係る補償引当金を除く)	(1,082)	(156)	(434)	(1,672)
英国銀行税	(26)	(7)	(6)	(39)
金利ヘッジ商品に係る補償引当金	(850)	-	-	(850)
その他の収益純額	2	-	8	10
<b>税引前(損失)/利益</b>	<b>(20)</b>	<b>(405)</b>	<b>35</b>	<b>(390)</b>
<b>調整後税引前収益/(損失)<sup>1</sup></b>	<b>830</b>	<b>(405)</b>	<b>35</b>	<b>460</b>
<b>調整後株主帰属利益/(損失)<sup>1,2</sup></b>	<b>545</b>	<b>(281)</b>	<b>(36)</b>	<b>228</b>
<b>貸借対照表関連の情報</b>				
顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	515 億ポンド	65 億ポンド	63 億ポンド	643 億ポンド
顧客に対する貸付金(公正価値ベース)	176 億ポンド	-	-	176 億ポンド
顧客預り金	790 億ポンド	82 億ポンド	124 億ポンド	996 億ポンド
資産合計 <sup>3</sup>	709 億ポンド	79 億ポンド	90 億ポンド	878 億ポンド
リスク調整後資産- CRD III <sup>3</sup>	499 億ポンド	105 億ポンド	105 億ポンド	709 億ポンド
<b>パフォーマンス指標</b>				
調整後平均株主資本利益	10.3%	(20.8%)	(4.4%)	2.9%
法定平均株主資本利益	(1.8%)	(20.8%)	(4.4%)	(5.4%)

1 調整後税引前利益には金利ヘッジ商品に係る補償引当金 6 億 5,000 万ポンド(2012 年:8 億 5,000 万ポンド)が含まれていません。

2 調整後株主帰属利益には税引後利益と非支配持分が含まれます。

3 2013 年度の資産合計およびリスク調整後資産には、従来グループで管理されていた余剰流動性資産の再配分が反映されています。

4 2012 年の英国銀行税 3,900 万ポンドは、従来は英国に配分されていましたが、現在は各地域に配分されています。

### コーポレート・バンキング

コーポレート・バンキング事業は業績回復戦略の遂行で引き続き大きく前進し、2013年に勢いを増しました。2013年はその他地域の事業範囲を合理化し、継続事業からの持続可能なリターンを拡大するとともに、欧州の撤退対象事業資産の削減を引き続き実施しました。こうした行動はリスク特性を改善させ、より質の高い資産からの収益創出をもたらしました。

2013年はすべての地域で業績が改善しました。英国では引き続き高い利益率を実現し、2013年の調整後平均株主資本利益率は12.3%(2012年:10.3%)となりました。さらに、その他地域に含まれるアフリカからの寄与が拡大しました。欧州の利益率はスペインに関連する繰延税金資産の評価損計上によりマイナス影響を受けました。Transform 達成費用は現行の顧客向け業務への追加的投資や、欧州およびその他地域の事業再編に関連して発生しました。

#### 損益計算書—2013年度と2012年度の比較

- 収益合計は2%増の31億1,500万ポンドとなりました。これは英国の収益増加を反映したもので、欧州の撤退対象事業資産および撤退済み事業から発生していた収益が当期に発生しなかったことにより一部相殺されました。
- 純利ざやはほぼ横ばいの121ベース・ポイント(2012年:124ベース・ポイント)となりました。資金調達金利の低下が顧客預り金利の上昇を相殺しました。
  - 資金調達レートの低下を背景に、顧客資産利ざやは16ベース・ポイント上昇して133ベース・ポイントに、顧客負債利ざやは14ベース・ポイント低下して97ベース・ポイントとなりました。
- 信用に関する減損費用は42%減の5億1,000万ポンドとなりました。スペインにおける不動産および建設セクターに対するエクスポージャーを圧縮する取り組みにより、欧州の減損費用が2億2,400万ポンド減少して3億1,800万ポンドとなったことが主因です。英国における大企業向け減損費用も減少しました。
- 調整後営業費用は6%増の18億600万ポンドとなりました。これには主に全地域のリストラに関連したTransform 達成費用1億1,400万ポンド、および英国銀行税5,100万ポンド(2012年:3,900万ポンド)が含まれています。法定営業費用は金利ヘッジ商品に係る補償引当金が6億5,000万ポンドに減少した(2012年:8億5,000万ポンド)ことを反映し、4%減少して24億5,600万ポンドとなりました。
- 調整後税引前利益は74%増加し、8億100万ポンドとなりました。
  - 英国の調整後税引前利益は信用に関する減損費用の減少と収益増加を受けて14%増の9億4,800万ポンドとなりました。
  - 欧州の調整後税引前損失は40%減少し、2億4,300万ポンドとなりました。事業撤退に伴う収益の減少とTransform 達成費用により一部相殺されたものの、信用に関する減損費用が減少したことを主に反映しています。
  - その他地域の調整後税引前利益は6,100万ポンド増加し、9,600万ポンドとなりました。減損費用の減少に加え、一部事業からの撤退により昨年よりコストが減少したことを反映しています。
- 法定税引前利益は金利ヘッジ商品に係る補償引当金の減少を反映し、1億5,100万ポンド(2012年:3億9,000万ポンドの損失)となりました。
- 調整後帰属利益はスペインに関連する繰延税金資産の評価損計上による影響を受け、2億4,700万ポンド(2012年:2億2,800万ポンド)となりました。

#### 損益計算書—2013年度第4四半期と2013年度第3四半期の比較

- 調整後税引前利益は55%減少し、1億2,300万ポンドとなりました。Transform 達成費用が1,300万ポンドから6,000万ポンドへ増加したことや、2013年度第4四半期の英国銀行税が5,100万ポンドとなったことを反映しています。

#### 貸借対照表—2013年12月31日現在と2012年12月31日現在の比較

- 顧客に対する貸付金は5%減少し、611億ポンドとなりました。欧州における撤退対象事業ポートフォリオの圧縮、および英国における運転資金預り金の増加に伴う顧客の資金調達需要の低下を反映しています。
- 教育・社会的住宅供給・地方自治体ポートフォリオに係る公正価値ベースの顧客に対する貸付金は、長期金利の上昇と償還を反映した公正価値の調整により11%減少し、157億ポンドとなりました。
- 顧客預り金は英国の預り金増加を主因に、9%増加して1,087億ポンドとなりました。
- 資産合計はこれまで中央銀行に預けられていた余剰流動性資産の再配分を反映し、261億ポンド増加して1,139億ポンドとなりました。
- CRD III ベースのリスク調整後資産は3%減少し、689億ポンドとなりました。これは主として資産内容の質の改善と撤退対象事業のリスク調整後資産の減少を反映したもので、これまで中央銀行に預けられていた余剰流動性資産の再配分により一部相殺されました。

## 事業部門別業績

### ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント

損益計算書関連の情報	2013年	2012年	増減率(%)
	12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	
利息収入純額	859	856	-
手数料収入純額	968	948	2
トレーディング、投資収益純額・ その他の費用	18 (6)	16 -	13
<b>収益合計</b>	<b>1,839</b>	<b>1,820</b>	<b>1</b>
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(121)	(38)	
<b>営業収益純額</b>	<b>1,718</b>	<b>1,782</b>	<b>(4)</b>
営業費用(英国銀行税、のれんの減損および Transform 達成費用を除く)	(1,586)	(1,505)	5
英国銀行税	(6)	(4)	50
のれんの減損	(79)	-	
Transform 達成費用	(158)	-	
<b>営業費用</b>	<b>(1,829)</b>	<b>(1,509)</b>	<b>21</b>
その他の収益純額	13	1	
<b>税引前(損失)/利益</b>	<b>(98)</b>	<b>274</b>	
<b>調整後税引前(損失)/利益<sup>1</sup></b>	<b>(19)</b>	<b>274</b>	
調整後株主帰属(損失)/利益 <sup>2</sup>	(24)	222	

### 貸借対照表情報および主要指標

顧客に対する貸付金(償却原価ベース)	231 億ポンド	213 億ポンド	8
顧客預り金	634 億ポンド	538 億ポンド	18
顧客資産合計 <sup>3</sup>	376 億ポンド	245 億ポンド	53
リスク調整後資産 - CRD III <sup>3</sup>	167 億ポンド	161 億ポンド	4
リスク調整後資産 - CRD IV <sup>3</sup>	173 億ポンド		
顧客資産	2,048 億ポンド	1,860 億ポンド	10
従業員数(常勤換算)	8,300 人	8,300 人	

パフォーマンス指標	調整後 <sup>1</sup>		法定	
	2013年 12月31日	2012年 12月31日	2013年 12月31日	2012年 12月31日
平均有形資本利益率	(1.4%)	15.5%	(5.9%)	15.5%
平均株主資本利益率	(1.0%)	11.2%	(4.5%)	11.2%
平均リスク調整後資産利益率	(0.1%)	1.7%	(0.5%)	1.7%
収益に対する費用の比率	95%	83%	99%	83%
貸倒率(ベース・ポイント)	51	17	51	17

1 調整後税引前利益、調整後株主帰属利益、調整後パフォーマンス指標にはのれんの減損にかかる引当金の影響7,900万ポンド(2012年:0ポンド)を反映していません。

2 株主帰属利益には税引後利益と非支配持分が含まれます。

3 2013年度の資産合計およびリスク調整後資産には、従来グループで管理されていた余剰流動性資産の再配分が反映されています。

## 事業部門別業績

### ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント

ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント事業は、能力をさらに高め、ターゲット市場に重点的に取り組み、業務を簡素化するための戦略的プログラムを引き続き遂行しました。ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント事業を持続可能なリターンを長期的に実現するための確固たる軌道に乗せることがこうした変革の目的です。

2013 年は多額の Transform 達成費用を計上しました。これらの費用の大部分は、効率性の向上、複雑さを増す規制環境下でのリスクの低減、ターゲット市場のスリム化、および顧客への提案力の強化を目的とした取り組みに起因するものです。

顧客資産、顧客預り金および顧客に対する貸付金が大幅に増加し、ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント事業は力強い成長を維持しました。

#### 損益計算書—2013 年度と2012 年度の比較

- 収益合計は 2012 年度とほぼ横ばいの 18 億 3,900 万ポンドとなりました。
- 利息収入純額は 2012 年度とほぼ横ばいの 8 億 5,900 万ポンドとなりました。富裕層向け事業の預り金と貸付金残高が増加しましたが、商品構成の変化と構造的ヘッジによる寄与の低下を反映して純利ざやが 19 ベーシスポイント低下し、104 ベーシスポイントとなったことにより相殺されました。
  - 顧客資産利ざやは資金調達レートの低下により 21 ベーシスポイント上昇して 86 ベーシスポイントとなりました。平均顧客資産は 14%増の 224 億ポンドとなりました。
  - 顧客負債利ざやは商品構成の変化と資金調達レートの低下を反映し、15 ベーシスポイント低下して 97 ベーシスポイントとなりました。平均顧客負債は 21%増の 606 億ポンドとなりました。
- 手数料収入純額は 2%増の 9 億 6,800 万ポンドとなりました。
- 信用に関する減損費用は 8,300 万ポンド増加し 1 億 2,100 万ポンドとなりました。これは主に欧州において担保として保有していた不動産の価値が低下したことが主因です。2013 年度第 2 四半期の減損費用にはスペインの不動産に係る担保付貸出に関連する 1,500 万ポンドの費用が含まれていました。
- 調整後営業費用は Transform 達成費用 1 億 5,800 万ポンド、および顧客補償引当金繰入れ 2,300 万ポンドを主因に 2 億 4,100 万ポンド増加して 17 億 5,000 万ポンドとなりました。のれんの減損 7,900 万ポンド(2012 年:0 ポンド)を含めた法定営業費用は 3 億 2,000 万ポンド増加し、18 億 2,900 万ポンドとなりました。詳細については英語原文 108 ページの注記 11、のれんおよび無形資産の欄をご参照ください。
- 調整後税引前損失は Transform 達成費用、信用に関する減損費用の増加、顧客補償引当金繰入れを主因に 1,900 万ポンドとなりました。2012 年度は 2 億 7,400 万ポンドの利益でした。法定税引前損失 9,800 万ポンド(2012 年:2 億 7,400 万ポンドの利益)には、のれんの減損に関連する調整項目 7,900 万ポンドも含まれています。

#### 損益計算書—2013 年度第 4 四半期と2013 年度第 3 四半期の比較

- 調整後税引前損失は Transform 達成費用が 3,700 万ポンドから 8,100 万ポンドに増加したことを主因に 7,300 万ポンドとなりました。2013 年度第 3 四半期は 700 万ポンドの利益でした。法定税引前損失 1 億 5,200 万ポンド(2013 年度第 3 四半期:700 万ポンドの利益)にはのれんの減損に関連する調整項目 7,900 万ポンドも含まれています。

#### 貸借対照表—2013 年 12 月 31 日現在と2012 年 12 月 31 日現在の比較

- 富裕層向け事業の伸びに牽引されて、顧客に対する貸付金は 8%増の 231 億ポンド、顧客預り金は 18%増の 634 億ポンドとなりました。
- CRD III ベースのリスク調整後資産は 4%増の 167 億ポンドとなりました。これまで中央銀行に預けられていた余剰流動性資産の再配分が主因で、信用エクスポージャーに対する担保の適用が改善したことにより一部相殺されました。
- 顧客資産は富裕層向け事業の伸びと好調な株式市場の動向を背景に 10%増の 2,048 億ポンドとなりました。

## 四半期業績

四半期業績	2013年度	2013年度	2013年度	2013年度	2012年度	2012年度	2012年度	2012年度
	第4四半期 (百万ポンド)	第3四半期 (百万ポンド)	第2四半期 (百万ポンド)	第1四半期 (百万ポンド)	第4四半期 (百万ポンド)	第3四半期 (百万ポンド)	第2四半期 (百万ポンド)	第1四半期 (百万ポンド)
<b>調整後ベース</b>								
保険金控除後の収益合計	6,639	6,445	7,337	7,734	6,867	7,002	7,384	8,108
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(718)	(722)	(925)	(706)	(825)	(805)	(926)	(784)
<b>営業収益純額</b>	<b>5,921</b>	<b>5,723</b>	<b>6,412</b>	<b>7,028</b>	<b>6,042</b>	<b>6,197</b>	<b>6,458</b>	<b>7,324</b>
営業費用 (英国銀行税および Transform 達成費用を除く)	(4,777)	(4,262)	(4,359)	(4,782)	(4,345)	(4,353)	(4,555)	(4,965)
英国銀行税	(504)	-	-	-	(345)	-	-	-
Transform 達成費用	(468)	(101)	(126)	(514)	-	-	-	-
<b>営業費用</b>	<b>(5,749)</b>	<b>(4,363)</b>	<b>(4,485)</b>	<b>(5,296)</b>	<b>(4,690)</b>	<b>(4,353)</b>	<b>(4,555)</b>	<b>(4,965)</b>
その他の収益純額	19	25	(122)	54	43	21	41	36
<b>調整後税引前利益</b>	<b>191</b>	<b>1,385</b>	<b>1,805</b>	<b>1,786</b>	<b>1,395</b>	<b>1,865</b>	<b>1,944</b>	<b>2,395</b>
<b>調整項目</b>								
当グループの信用度に関連する(損失)/利益	(95)	(211)	337	(251)	(560)	(1,074)	(325)	(2,620)
ブラックロック社に対する投資の減損および売却益	-	-	-	-	-	-	227	-
支払保障保険 (PPI)に係る補償引当金	-	-	(1,350)	-	(600)	(700)	-	(300)
金利ヘッジ商品に係る補償引当金	-	-	(650)	-	(400)	-	(450)	-
のれんの減損	(79)	-	-	-	-	-	-	-
<b>法定税引前利益/(損失)</b>	<b>17</b>	<b>1,174</b>	<b>142</b>	<b>1,535</b>	<b>(165)</b>	<b>91</b>	<b>1,396</b>	<b>(525)</b>
法定税引後利益/(損失)	(514)	728	39	1,044	(364)	(13)	943	(385)
<b>以下に帰属するもの:</b>								
親会社の株主	(642)	511	(168)	839	(589)	(183)	746	(598)
非支配持分	128	217	207	205	225	170	197	213
調整後基本的 1 株当たり利益 <sup>1</sup>	(3.9p)	5.4p	7.7p	7.5p	6.7p	7.8p	8.7p	12.3p
収益に対する費用の調整後比率	87%	68%	61%	68%	68%	62%	62%	61%
基本的 1 株当たり利益/(損失)	(5.0p)	3.7p	(1.2p)	6.3p	(4.5p)	(1.4p)	5.7p	(4.6p)
収益に対する費用の比率	89%	70%	85%	71%	90%	85%	69%	96%
<b>事業部門別調整後税引前利益/(損失)</b>								
英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング (RBB)	212	351	333	299	275	358	360	232
欧州 RBB	(181)	(106)	(247)	(462)	(114)	(81)	(76)	(72)
アフリカ RBB	60	132	131	81	105	34	51	132
パークレイカード	335	397	412	363	335	396	404	347
インベストメント・バンク	(329)	463	1,074	1,315	760	988	1,060	1,182
コーポレート・バンキング	123	276	219	183	61	88	108	203
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	(73)	7	(13)	60	105	70	49	50
本社およびその他事業	44	(135)	(104)	(53)	(132)	12	(12)	321
<b>税引前利益合計</b>	<b>191</b>	<b>1,385</b>	<b>1,805</b>	<b>1,786</b>	<b>1,395</b>	<b>1,865</b>	<b>1,944</b>	<b>2,395</b>

<sup>1</sup> 調整後基本的 1 株当たり利益および基本的 1 株当たり利益は新株予約権の無償割当の影響を反映し、再表示されています。

## 四半期業績

	2013年度 第4四半期	2013年度 第3四半期	2013年度 第2四半期	2013年度 第1四半期	2012年度 第4四半期	2012年度 第3四半期	2012年度 第2四半期	2012年度 第1四半期
	(百万ポンド)							
<b>英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング</b>								
<b>調整後ベース</b>								
保険金控除後の収益合計	1,149	1,172	1,135	1,067	1,077	1,123	1,118	1,066
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(88)	(81)	(89)	(89)	(71)	(76)	(46)	(76)
<b>営業収益純額</b>	<b>1,061</b>	<b>1,091</b>	<b>1,046</b>	<b>978</b>	<b>1,006</b>	<b>1,047</b>	<b>1,072</b>	<b>990</b>
<b>営業費用</b>								
(英国銀行税および Transform 達成費用を除く)	(709)	(710)	(689)	(704)	(718)	(689)	(713)	(757)
英国銀行税	(21)	-	-	-	(17)	-	-	-
Transform 達成費用	(119)	(29)	(27)	-	-	-	-	-
<b>営業費用</b>	<b>(849)</b>	<b>(739)</b>	<b>(716)</b>	<b>(704)</b>	<b>(735)</b>	<b>(689)</b>	<b>(713)</b>	<b>(757)</b>
その他の収益／(費用)純額	-	(1)	3	25	4	-	1	(1)
<b>調整後税引前利益</b>	<b>212</b>	<b>351</b>	<b>333</b>	<b>299</b>	<b>275</b>	<b>358</b>	<b>360</b>	<b>232</b>
<b>調整項目</b>								
PPIに係る補償引当金	-	-	(660)	-	(330)	(550)	-	(300)
<b>法定税引前(損失)／利益</b>	<b>212</b>	<b>351</b>	<b>(327)</b>	<b>299</b>	<b>(55)</b>	<b>(192)</b>	<b>360</b>	<b>(68)</b>
<b>欧州リテール・アンド・ビジネス・バンキング</b>								
<b>調整後および法定ベース</b>								
保険金控除後の収益合計	154	160	176	176	161	168	191	188
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(78)	(67)	(72)	(70)	(74)	(58)	(71)	(54)
<b>営業収益純額</b>	<b>76</b>	<b>93</b>	<b>104</b>	<b>106</b>	<b>87</b>	<b>110</b>	<b>120</b>	<b>134</b>
<b>営業費用</b>								
(英国銀行税および Transform 達成費用を除く)	(188)	(203)	(207)	(215)	(185)	(193)	(200)	(209)
英国銀行税	(26)	-	-	-	(20)	-	-	-
Transform 達成費用	(46)	(1)	-	(356)	-	-	-	-
<b>営業費用</b>	<b>(260)</b>	<b>(204)</b>	<b>(207)</b>	<b>(571)</b>	<b>(205)</b>	<b>(193)</b>	<b>(200)</b>	<b>(209)</b>
その他の収益／(費用)純額	3	5	(144)	3	4	2	4	3
<b>調整後税引前(損失)／利益</b>	<b>(181)</b>	<b>(106)</b>	<b>(247)</b>	<b>(462)</b>	<b>(114)</b>	<b>(81)</b>	<b>(76)</b>	<b>(72)</b>
<b>アフリカ・リテール・アンド・ビジネス・バンキング</b>								
<b>調整後および法定ベース</b>								
保険金控除後の収益合計	622	643	684	668	721	714	729	764
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(59)	(57)	(94)	(114)	(142)	(176)	(208)	(106)
<b>営業収益純額</b>	<b>563</b>	<b>586</b>	<b>590</b>	<b>554</b>	<b>579</b>	<b>538</b>	<b>521</b>	<b>658</b>
<b>営業費用</b>								
(英国銀行税および Transform 達成費用を除く)	(462)	(454)	(452)	(474)	(455)	(506)	(471)	(528)
英国銀行税	(28)	-	-	-	(24)	-	-	-
Transform 達成費用	(15)	(2)	(9)	-	-	-	-	-
<b>営業費用</b>	<b>(505)</b>	<b>(456)</b>	<b>(461)</b>	<b>(474)</b>	<b>(479)</b>	<b>(506)</b>	<b>(471)</b>	<b>(528)</b>
その他の収益／(費用)純額	2	2	2	1	5	2	1	2
<b>調整後税引前(損失)／利益</b>	<b>60</b>	<b>132</b>	<b>131</b>	<b>81</b>	<b>105</b>	<b>34</b>	<b>51</b>	<b>132</b>

## 四半期業績

	2013年度 第4四半期	2013年度 第3四半期	2013年度 第2四半期	2013年度 第1四半期	2012年度 第4四半期	2012年度 第3四半期	2012年度 第2四半期	2012年度 第1四半期
	(百万ポンド)							
<b>パークレイカード</b>								
<b>調整後ベース</b>								
保険金控除後の収益合計	1,220	1,223	1,190	1,153	1,140	1,092	1,079	1,033
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(314)	(334)	(313)	(303)	(286)	(271)	(242)	(250)
<b>営業収益純額</b>	<b>906</b>	<b>889</b>	<b>877</b>	<b>850</b>	<b>854</b>	<b>821</b>	<b>837</b>	<b>783</b>
営業費用 (英国銀行税および Transform 達成費用を除く)	(514)	(498)	(467)	(496)	(508)	(432)	(441)	(445)
英国銀行税	(24)	-	-	-	(16)	-	-	-
Transform 達成費用	(38)	(6)	(5)	-	-	-	-	-
<b>営業費用</b>	<b>(576)</b>	<b>(504)</b>	<b>(472)</b>	<b>(496)</b>	<b>(524)</b>	<b>(432)</b>	<b>(441)</b>	<b>(445)</b>
その他の収益／(費用)純額	5	12	7	9	5	7	8	9
<b>調整後税引前利益</b>	<b>335</b>	<b>397</b>	<b>412</b>	<b>363</b>	<b>335</b>	<b>396</b>	<b>404</b>	<b>347</b>
<b>調整項目</b>								
PPIに係る補償引当金	-	-	(690)	-	(270)	(150)	-	-
<b>法定税引前(損失)／利益</b>	<b>335</b>	<b>397</b>	<b>(278)</b>	<b>363</b>	<b>65</b>	<b>246</b>	<b>404</b>	<b>347</b>
<b>インベストメント・バンク<sup>1</sup></b>								
<b>調整後および法定ベース</b>								
マクロ商品	625	472	900	1,113	800	748	1,040	1,436
クレジット商品	460	494	513	960	492	701	665	796
債券、為替およびコモディティ(FICC)	1,085	966	1,413	2,073	1,292	1,449	1,705	2,232
株式およびプライム・サービス	496	645	825	706	454	523	615	591
インベストメント・バンキング	590	525	528	557	620	493	509	515
プリンシパル・インベストメント	32	1	20	9	26	30	139	11
撤退対象事業	(54)	(26)	224	118	202	226	56	87
<b>収益合計</b>	<b>2,149</b>	<b>2,111</b>	<b>3,010</b>	<b>3,463</b>	<b>2,594</b>	<b>2,721</b>	<b>3,024</b>	<b>3,436</b>
信用に関する減損費用およびその他の引当金 (繰入額)／戻入額	(14)	(25)	(195)	14	1	(3)	(121)	(81)
<b>営業収益純額</b>	<b>2,135</b>	<b>2,086</b>	<b>2,815</b>	<b>3,477</b>	<b>2,595</b>	<b>2,718</b>	<b>2,903</b>	<b>3,355</b>
営業費用 (英国銀行税および Transform 達成費用を除く)	(2,044)	(1,622)	(1,697)	(2,054)	(1,644)	(1,737)	(1,849)	(2,195)
英国銀行税	(333)	-	-	-	(206)	-	-	-
Transform 達成費用	(87)	(6)	(53)	(116)	-	-	-	-
<b>営業費用</b>	<b>(2,464)</b>	<b>(1,628)</b>	<b>(1,750)</b>	<b>(2,170)</b>	<b>(1,850)</b>	<b>(1,737)</b>	<b>(1,849)</b>	<b>(2,195)</b>
その他の収益／(費用)純額	-	5	9	8	15	7	6	22
<b>調整後および法定税引前利益／(損失)</b>	<b>(329)</b>	<b>463</b>	<b>1,074</b>	<b>1,315</b>	<b>760</b>	<b>988</b>	<b>1,060</b>	<b>1,182</b>
<b>コーポレート・バンキング</b>								
<b>調整後ベース</b>								
保険金控除後の収益合計	764	799	780	772	746	717	734	849
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(134)	(118)	(128)	(130)	(240)	(214)	(223)	(208)
<b>営業収益純額</b>	<b>630</b>	<b>681</b>	<b>652</b>	<b>642</b>	<b>506</b>	<b>503</b>	<b>511</b>	<b>641</b>
営業費用 (英国銀行税および Transform 達成費用を除く)	(396)	(393)	(430)	(422)	(412)	(421)	(402)	(437)
英国銀行税	(51)	-	-	-	(39)	-	-	-
Transform 達成費用	(60)	(13)	(4)	(37)	-	-	-	-
<b>営業費用</b>	<b>(507)</b>	<b>(406)</b>	<b>(434)</b>	<b>(459)</b>	<b>(451)</b>	<b>(421)</b>	<b>(402)</b>	<b>(437)</b>
その他の収益／(費用)純額	-	1	1	-	6	6	(1)	(1)
<b>調整後税引前利益／(損失)</b>	<b>123</b>	<b>276</b>	<b>219</b>	<b>183</b>	<b>61</b>	<b>88</b>	<b>108</b>	<b>203</b>
<b>調整項目</b>								
金利ヘッジ商品に係る補償引当金	-	-	(650)	-	(400)	-	(450)	-
<b>法定税引前(損失)／利益</b>	<b>123</b>	<b>276</b>	<b>(431)</b>	<b>183</b>	<b>(339)</b>	<b>88</b>	<b>(342)</b>	<b>203</b>

<sup>1</sup> 2012年のFICCと撤退対象事業の金額は、撤退対象事業ポートフォリオを適切に反映するために修正再表示されています。

## 四半期業績

	2013年度 第4四半期 (百万ポンド)	2013年度 第3四半期 (百万ポンド)	2013年度 第2四半期 (百万ポンド)	2013年度 第1四半期 (百万ポンド)	2012年度 第4四半期 (百万ポンド)	2012年度 第3四半期 (百万ポンド)	2012年度 第2四半期 (百万ポンド)	2012年度 第1四半期 (百万ポンド)
<b>ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント</b>								
<b>調整後ベース</b>								
保険金控除後の収益合計	459	449	462	469	483	443	442	452
信用に関する減損費用およびその他の引当金繰入額	(33)	(39)	(35)	(14)	(13)	(6)	(12)	(7)
<b>営業収益純額</b>	<b>426</b>	<b>410</b>	<b>427</b>	<b>455</b>	<b>470</b>	<b>437</b>	<b>430</b>	<b>445</b>
営業費用 (英国銀行税および Transform 達成費用を除く)	(415)	(361)	(410)	(400)	(361)	(369)	(380)	(395)
英国銀行税	(6)	-	-	-	(4)	-	-	-
Transform 達成費用	(81)	(44)	(33)	-	-	-	-	-
<b>営業費用</b>	<b>(502)</b>	<b>(405)</b>	<b>(443)</b>	<b>(400)</b>	<b>(365)</b>	<b>(369)</b>	<b>(380)</b>	<b>(395)</b>
その他の収益／(費用)純額	3	2	3	5	-	2	(1)	-
<b>調整後税引前利益</b>	<b>(73)</b>	<b>7</b>	<b>(13)</b>	<b>60</b>	<b>105</b>	<b>70</b>	<b>49</b>	<b>50</b>
<b>調整項目</b>								
のれんの減損	(79)	-	-	-	-	-	-	-
<b>法定税引前(損失)／利益</b>	<b>(152)</b>	<b>7</b>	<b>(13)</b>	<b>60</b>	<b>105</b>	<b>70</b>	<b>49</b>	<b>50</b>
<b>本社およびその他事業</b>								
<b>調整後ベース</b>								
保険金控除後の収益合計	122	(112)	(100)	(34)	(55)	24	68	319
信用に関する減損戻入／(費用)およびその他の引当金繰入額	2	(1)	1	-	-	(1)	(3)	(2)
<b>営業収益純額</b>	<b>124</b>	<b>(113)</b>	<b>(99)</b>	<b>(34)</b>	<b>(55)</b>	<b>23</b>	<b>65</b>	<b>317</b>
営業費用 (英国銀行税および Transform 達成費用を除く)	(49)	(21)	(7)	(17)	(61)	(6)	(99)	1
英国銀行税	(15)	-	-	-	(19)	-	-	-
Transform 達成費用	(22)	-	5	(5)	-	-	-	-
<b>営業費用</b>	<b>(86)</b>	<b>(21)</b>	<b>(2)</b>	<b>(22)</b>	<b>(80)</b>	<b>(6)</b>	<b>(99)</b>	<b>1</b>
その他の収益／(費用)純額	6	(1)	(3)	3	3	(5)	23	2
<b>調整後税引前(損失)／利益</b>	<b>44</b>	<b>(135)</b>	<b>(104)</b>	<b>(53)</b>	<b>(132)</b>	<b>12</b>	<b>(11)</b>	<b>320</b>
<b>調整項目</b>								
当グループ自身の信用度に関連する利益／(費用)	(95)	(211)	337	(251)	(560)	(1,074)	(325)	(2,620)
ブラックロック社に対する投資の減損および売却益	-	-	-	-	-	-	227	-
<b>法定税引前(損失)／利益</b>	<b>(51)</b>	<b>(346)</b>	<b>233</b>	<b>(304)</b>	<b>(692)</b>	<b>(1,062)</b>	<b>(109)</b>	<b>(2,300)</b>

## 業績管理

### 報酬

極めて競争の激しいグローバルな金融市場において持続可能な株主利益を創出するためには、適材適所の配置によってお客様に効果的にサービスを提供することが不可欠です。このため、従業員に対する報酬には競争力が求められます。

報酬委員会は 2013 年の適切な報奨水準を検討するにあたり、2011 年に開始した報酬の見直しを完了するとともに、パークレイズが金融市場において高い競争力を維持し、かつ報酬が引き続き業績を反映しているという点を両立させるための適正なバランスの確立を図っています。

2013 年の英国リテール・アンド・コーポレート・バンキング部門の業績は好調であり、パークレイカードは引き続き堅調な成長を遂げました。欧州、アフリカ、ウェルス各事業の業績はそれを下回るものであり、利益率改善に向けた移行段階にあります。インベストメント・バンクでは株式事業が大幅に伸び、引き続き市場を上回りました。インベストメント・バンクの業績改善の原動力となったのは発行案件の増加でした。債券、為替およびコモディティ (FICC) 事業の収益は市場のトレンドを反映し、一段と低調でした。2013 年の報奨はこれら主要セクターの相対的なパフォーマンス、ならびに Transform 戦略の一環として取り組んでいる管理体制の強化を反映しています。

2012 年の報酬報告書に示したように、報酬委員会と経営陣は測定されたリスクを踏まえ、2012 年は報奨合計額を大幅に引き下げて報奨を付与しました。また報酬委員会は 2013 年の報奨決定にあたり、業績に応じて競争力のある報酬を支払うというポリシーに忠実であり続けるために、営業基盤の健全性を保護する方針です。

こうした観点、ならびに上述した事業構成の影響から、2013 年の報奨合計額は 2012 年の 21 億 6,800 万ポンドから 23 億 7,800 万ポンドに増加しました。しかしながら、これは 2010 年を 11 億ポンド下回る水準であり、過去 3 年間にわたる見直し作業の影響を示すものです。

2012 年と同様、2013 年の報奨合計額は、重大なリスク事象を反映した適切なリスク調整を加えて決定されました。2013 年のリスク調整の合計は 2 億 9,000 万ポンド (2012 年: 11 億 6,000 万ポンド) となりました。このうち、従来付与されていた報奨の削減による調整額が 1 億 7,600 万ポンド (2012 年: 3 億ポンド)、2013 年の報奨合計の削減による調整額が 1 億 1,400 万ポンド (2012 年: 8 億 6,000 万ポンド) でした。2013 年の報奨合計は 2012 年に比べて増加しましたが、リスク調整前ベースの 2013 年の報奨合計は 24 億 9,200 万ポンドで 2012 年に比べて 18% 減少しました。

パークレイズは報酬の問題について、株主の皆様ならびにその他の主要なステークホルダーの皆様と建設的な対話を続け、長期的な価値とグループの健全性を最大化するための適切な報酬の支払いを行ってまいります。

### 報奨

- 当グループの報奨合計は 23 億 7,800 万ポンド (2012 年: 21 億 6,800 万ポンド)、インベストメント・バンクの報奨は 15 億 7,400 万ポンド (2012 年: 13 億 9,400 万ポンド) にそれぞれ増加しました。
- 当グループの報奨合計は 2010 年の水準を 32% (11 億 600 万ポンド) 下回りました。インベストメント・バンクの報奨は 2010 年の水準を 41% (10 億 8,600 万ポンド) 下回りました。
- コスト管理と競争力の維持を図るべく、報酬総額の範囲内で個々の業績に基づいた厳格な報酬の差別化がなされています。
- グループ従業員 1 人当たりの平均報奨額は 17,000 ポンド (2012 年: 15,600 ポンド)、インベストメント・バンクの従業員 1 人当たりの平均報奨額は 60,100 ポンド (2012 年: 54,500 ポンド) でした。インベストメント・バンクを除いたグループ従業員 1 人当たりの平均報奨額は 7,100 ポンド (2012 年: 6,800 ポンド) でした。
- 繰り延べられる賞与プールの比率はプルーデンス (健全性) 規制機構 (PRA) による報酬基準 (Remuneration Code) の最低要件を引き続き大幅に上回っており、世界的に最も高水準にあるとみられます。2013 年のインベストメント・バンクのマネージング・ディレクターに対する賞与は 100% 繰り延べられました。

## 業績管理

### 報奨合計額- 当期および繰延

	パークレイズ・グループ			インベストメント・バンク		
	2013年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2012年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率(%)	2013年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2012年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率(%)
当期現金賞与	942	852	11	477	399	20
当期株式賞与	15	15	-	5	6	(17)
<b>当期賞与合計</b>	<b>957</b>	<b>867</b>	<b>10</b>	<b>482</b>	<b>405</b>	<b>19</b>
繰延現金賞与	564	489	15	521	447	17
繰延株式賞与	576	498	16	521	446	17
<b>繰延賞与合計</b>	<b>1,140</b>	<b>987</b>	<b>16</b>	<b>1,042</b>	<b>893</b>	<b>17</b>
販売コミッション、コミットメント、その他の報奨	281	314	(11)	50	96	(48)
<b>報奨付与合計</b>	<b>2,378</b>	<b>2,168</b>	<b>10</b>	<b>1,574</b>	<b>1,394</b>	<b>13</b>
賞与の繰延比率 <sup>1</sup>	54%	53%		68%	69%	
合計従業員数(常勤換算)	139,600人	139,200人	-	26,200人	25,600人	2
従業員1人当たり平均報奨額	17,000ポンド	15,600ポンド	9	60,100ポンド	54,500ポンド	10

繰延賞与は、従業員が特定期間の勤務を含む一定の状況を満たした場合に限り支払われます。このため、賞与プールの通知と損益計算書上の計上額との間に期間差異が生じ、下表に示した調整が行われます。

### 報奨付与合計額から損益計算書計上額への調整

	パークレイズ・グループ			インベストメント・バンク		
	2013年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2012年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率(%)	2013年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2012年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率(%)
2013年の報奨合計額	2,378	2,168	10	1,574	1,394	13
控除:2013年の繰延賞与額	(1,140)	(987)	16	(1,042)	(893)	17
加算:過年度からの繰延賞与の当期費用 計上額	1,147	1,223	(6)	1,042	1,117	(7)
その他 <sup>2</sup>	169	21		144	75	92
<b>パフォーマンス・コストの損益計算書計上額</b>	<b>2,554</b>	<b>2,425</b>	<b>5</b>	<b>1,718</b>	<b>1,693</b>	<b>1</b>

- 従業員は、当グループへの労務提供を含むすべての関連条件を満たした場合に限り、繰延賞与の支払いを受ける資格を得ます。
- パフォーマンス・コストの損益計算書への計上は、該当する暦年において従業員が当グループに提供した実際の労務の費用を反映しています(これらの労務が以前の繰延賞与に関連する業績条件を満たす場合の金額も含まれます)。業績条件が満たされていない繰延賞与の費用は含まれていません。
- したがって、2013年における報奨の付与額は2012年に比べ10%の増加となっていますが、損益計算書上でのパフォーマンス・コストは同5%増となっています。

<sup>1</sup> 繰延賞与合計額を、当期賞与合計および繰延賞与合計を合わせた金額で除して算出しています。

<sup>2</sup> 報奨付与額と、販売コミッション、コミットメントおよびその他長期報奨に係る損益計算書計上額との差異。

## 業績管理

### 損益計算書計上額

	パークレイズ・グループ			インベストメント・バンク		
	2013年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2012年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率(%)	2013年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2012年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率(%)
繰延賞与費用	1,147	1,223	(6)	1,042	1,117	(7)
当期賞与費用	957	867	10	482	405	19
販売コミッション、コミットメントおよびその他の報奨	450	335	34	194	171	13
<b>パフォーマンス・コスト</b>	<b>2,554</b>	<b>2,425</b>	<b>5</b>	<b>1,718</b>	<b>1,693</b>	<b>1</b>
給与	4,981	5,254	(5)	2,092	2,203	(5)
社会保障費	715	685	4	305	297	3
退職後給付	688	612	12	161	147	10
手当およびトレーディング報奨	211	262	(19)	88	123	(28)
その他の報酬コスト <sup>1</sup>	467	521	(10)	270	204	32
<b>報酬コスト合計<sup>2</sup></b>	<b>9,616</b>	<b>9,759</b>	<b>(1)</b>	<b>4,634</b>	<b>4,667</b>	<b>(1)</b>
<b>その他人件費</b>						
外注	1,084	999	9	26	31	(16)
余剰人員および事業再編	687	68		186	41	
臨時雇用者費用	551	481	15	255	227	12
その他	217	160	36	77	68	13
<b>その他人件費合計</b>	<b>2,539</b>	<b>1,708</b>	<b>49</b>	<b>544</b>	<b>367</b>	<b>48</b>
<b>人件費合計</b>	<b>12,155</b>	<b>11,467</b>	<b>6</b>	<b>5,178</b>	<b>5,034</b>	<b>3</b>
<b>調整後収益純額に対する報酬比率</b>	<b>38.3%</b>	<b>37.5%</b>		<b>44.1%</b>	<b>40.3%</b>	
<b>調整後収益に対する報酬比率</b>	<b>34.2%</b>	<b>33.2%</b>		<b>43.2%</b>	<b>39.6%</b>	

- 人件費合計は6%増加して121億5,500万ポンドとなりました。これは余剰人員および事業再編費用の6億1,900万ポンドの増加、パフォーマンス・コストの5%の増加、および外注費用の9%の増加を主に反映しています。
- パフォーマンス・コストは5%増加して25億5,400万ポンドとなりました。これは当期の現金・株式賞与費用が10%増の9億5,700万ポンドとなったことと、販売コミッション、コミットメントおよびその他の報奨が34%増の4億5,000万ポンドとなったことを反映していますが、繰延賞与費用が6%減少して11億4,700万ポンドとなったことにより一部相殺されました。
- Transformのさまざまな取り組みにより、余剰人員および事業再編費用は6億1,900万ポンド増加して6億8,700万ポンドとなりました。

### 事業部門別従業員数(常勤換算)

	2013年 12月31日現在	2012年 12月31日現在
英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)	32,900	33,000
欧州 RBB	5,900	7,500
アフリカ RBB	41,300	40,500
パークレイカード	12,100	11,100
インベストメント・バンク	26,200	25,600
コーポレート・バンキング	12,800	13,000
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	8,300	8,300
本社及びその他事業	100	200
合計	139,600	139,200

<sup>1</sup> インベストメント・バンクのその他の報酬コストには、本社からの割当のほか、インベストメント・バンクで発生しその他の事業で費用計上された報酬コストと、その他の事業で発生しインベストメント・バンクで費用計上された報酬コストに関する再費用計上純額が含まれています。

<sup>2</sup> 加えて、社内作成ソフトウェアとして3億4,600万ポンド(2012年:4,400万ポンド)のグループ報酬が資産計上されました。

## 業績管理

繰延賞与は下表に示される年度において損益計算書に計上されることが予想されています。

### 損益計算書にこれまで付与されてきた繰延賞与の費用計上が予想される年度<sup>1</sup>

	実績		予想 <sup>2</sup>	
	2012年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2013年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2014年 12月31日に 終了する年度 (百万ポンド)	2015年 12月31日に 終了する年度以降 (百万ポンド)
<b>パークレイズ・グループ</b>				
2010年からの繰延賞与およびそれ以前の賞与プール	557	192	21	-
2011年からの繰延賞与プール	666	429	157	25
2012年からの繰延賞与プール	-	526	299	155
2013年からの繰延賞与プール	-	-	616	492
<b>損益計算書に反映された繰延賞与</b>	<b>1,223</b>	<b>1,147</b>	<b>1,093</b>	<b>672</b>
<b>インベストメント・バンク</b>				
2010年からの繰延賞与およびそれ以前の賞与プール	517	178	19	-
2011年からの繰延賞与プール	600	384	143	22
2012年からの繰延賞与プール	-	480	272	143
2013年からの繰延賞与プール	-	-	570	452
<b>損益計算書に反映された繰延賞与</b>	<b>1,117</b>	<b>1,042</b>	<b>1,004</b>	<b>617</b>

賞与プールの内訳	付与予定日	支給予定日 <sup>3</sup>	損益計算書に反映される年度 <sup>4</sup>
本年の現金賞与	• 2014年2月	• 2014年2月	• 2013年
本年の株式賞与	• 2014年2/3月	• 2014年2月-9月	• 2013年
繰延現金賞与	• 2014年3月	• 2015年3月(33.3%) • 2016年3月(33.3%) • 2017年3月(33.3%)	• 2014年(48%) • 2015年(35%) • 2016年(15%) • 2017年(2%)
繰延株式賞与	• 2014年3月	• 2015年3月(33.3%) • 2016年3月(33.3%) • 2017年3月(33.3%)	• 2014年(48%) • 2015年(35%) • 2016年(15%) • 2017年(2%)

<sup>1</sup> 実際の計上額は条件が満たされているか否かに影響され、上記の予想とは異なります。繰延賞与の変動には、コミットメントなど繰延基準によるその他の報奨の額が含まれます。

<sup>2</sup> 2014年と2015年に実施される可能性がある将来的な付与の影響を含みません。

<sup>3</sup> 支払いが予想支払日に先立ってすべての条件が満たされることが前提となります。加えて、繰延現金賞与を受ける従業員は、継続勤務を条件として、最終の支払いが行われる時点で当初報奨額の10%に相当する勤務年数加算を付与される場合があります。

<sup>4</sup> 損益計算書への計上は条件が満たされる期間に基づきます。

## 業績管理

### 事業部門別のリターンおよび株主資本

平均株主資本利益率および平均有形株主資本利益率は、親会社の普通株主に帰属する当該期間の利益を、平均割当株主資本または平均割当有形株主資本(非支配持分およびその他資本持分を除く)を適宜除して算出されます。平均割当株主資本は、当グループが資本計画の目的で使用する仮定を反映し、のれんおよび無形資産を含む資本控除を調整した後、各事業部門の平均リスク調整後資産の10.5%として算出されます。2013年12月31日現在のコア Tier1 資本比率13.2%を反映し、現在保たれている、より高い資本水準は本社およびその他事業に割り当てられます。平均割当有形株主資本も同様の手法に基づいて算出されますが、のれんおよび無形資産は除外されます。

	調整後		法定	
	2013年 12月31日に 終了した年度 %	2012年 12月31日に 終了した年度 %	2013年 12月31日に 終了した年度 %	2012年 12月31日に 終了した年度 %
<b>平均株主資本利益率</b>				
英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)	11.5	12.3	4.9	(0.3)
欧州 RBB	(45.2)	(12.9)	(45.2)	(12.9)
アフリカ RBB	0.4	(0.1)	0.4	(0.1)
パークレイカード	18.4	19.8	8.3	13.3
インベストメント・バンク	8.2	12.7	8.2	12.7
コーポレート・バンキング	3.1	2.9	(3.5)	(5.4)
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	(1.0)	11.2	(4.5)	11.2
<b>本社およびその他事業を除くグループ</b>	<b>5.8</b>	<b>9.8</b>	<b>2.3</b>	<b>5.9</b>
本社およびその他事業	(1.3)	(0.8)	(1.3)	(7.1)
<b>合計</b>	<b>4.5</b>	<b>9.0</b>	<b>1.0</b>	<b>(1.2)</b>
<b>平均有形株主資本利益率</b>				
英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)	20.0	22.9	8.5	(0.6)
欧州 RBB	(49.6)	(14.2)	(49.6)	(14.2)
アフリカ RBB <sup>1</sup>	0.8	(0.2)	0.8	(0.2)
パークレイカード	24.5	26.9	11.1	18.0
インベストメント・バンク	8.5	13.1	8.5	13.1
コーポレート・バンキング	3.3	3.1	(3.6)	(5.7)
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	(1.4)	15.5	(5.9)	15.5
<b>本社およびその他事業を除くグループ</b>	<b>7.0</b>	<b>11.8</b>	<b>2.7</b>	<b>7.1</b>
本社およびその他事業	(1.7)	(1.2)	(1.5)	(8.5)
<b>合計</b>	<b>5.3</b>	<b>10.6</b>	<b>1.2</b>	<b>(1.4)</b>
<b>株主帰属利益／(損失)</b>	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)	(百万ポンド)
英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)	917	875	389	(21)
欧州 RBB	(964)	(277)	(964)	(277)
アフリカ RBB	9	(4)	9	(4)
パークレイカード	1,006	975	454	653
インベストメント・バンク	1,548	2,680	1,548	2,680
コーポレート・バンキング	247	228	(273)	(419)
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	(24)	222	(103)	222
本社およびその他事業 <sup>2</sup>	(344)	(64)	(520)	(3,458)
<b>合計</b>	<b>2,395</b>	<b>4,635</b>	<b>540</b>	<b>(624)</b>
	<b>平均株主資本<sup>3</sup></b>	<b>平均有形株主資本<sup>3</sup></b>		
英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)	7,984	7,121	4,581	3,815
欧州 RBB	2,133	2,143	1,943	1,957
アフリカ RBB	2,327	2,658	1,087	1,234
パークレイカード	5,468	4,924	4,106	3,623
インベストメント・バンク	18,966	21,173	18,264	20,468
コーポレート・バンキング	7,854	7,739	7,481	7,369
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	2,306	1,981	1,746	1,436
本社およびその他事業 <sup>2</sup>	5,130	4,313	5,110	4,311
<b>合計<sup>2</sup></b>	<b>52,168</b>	<b>52,052</b>	<b>44,318</b>	<b>44,213</b>

1 2012年のアフリカRBBの平均有形株主資本利益率はアブサ・グループの非支配持分に関連した額を含めず算出するよう修正されました。

2 本社およびその他事業のリスク調整後資産および資本控除、ならびに平均普通株主資本および有形普通株主資本の残高を加えたものです。

3 当グループの平均普通株主資本および平均普通有形株主資本は、利益剰余金に対する当グループ自身の信用度の累積影響を除き、調整後パフォーマンス指標を算出しています。

## 業績管理

### Transform 達成費用

- 当グループは 2013 年 2 月 12 日、営業費用純額を 2015 年までに 17 億ポンド削減し 168 億ポンドとすることを目標とした戦略的見直しを発表しました。
- 2013 年の Transform 達成費用合計は 12 億 900 万ポンドとなりました。8 億 5200 万ポンドの主要な事業再編策は主に、欧州 RBB、欧州、アジア、米国におけるインベストメント・バンクならびに英国 RBB の事業活動および余剰の縮小に関連したものでした。3 億 5600 万ポンドのその他 Transform 費用は主に、今後の営業費用の削減とお客様への提案力の向上を図るため、技術開発とプロセス改善への投資です。

### 事業部門別 Transform 達成費用

	2013 年 12 月 31 日に終了した年度		
	主要な 事業再編策 (百万ポンド)	その他 Transform 費用 (百万ポンド)	Transform 達成 費用合計 (百万ポンド)
英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)	129	46	175
欧州 RBB	356	47	403
アフリカ RBB	-	26	26
パークレイカード	1	48	49
インベストメント・バンク	191	71	262
コーポレート・バンキング	94	20	114
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	82	76	158
本社およびその他事業	-	22	22
<b>Transform 達成費用合計</b>	<b>853</b>	<b>356</b>	<b>1,209</b>

### Transform 達成費用を除く

#### 事業部門別調整後パフォーマンス指標

	調整後利益			平均株主資本 利益率 <sup>1</sup>	収益に対する 費用の比率
	2013 年 12 月 31 日に 終了した年度 (百万ポンド)	2012 年 12 月 31 日に 終了した年度 (百万ポンド)	増減率(%)		
英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)	1,370	1,225	12	13.2%	63%
欧州 RBB	(593)	(343)	73	(32.0%)	126%
アフリカ RBB	430	322	34	1.2%	71%
パークレイカード	1,556	1,482	5	19.0%	42%
インベストメント・バンク	2,785	3,990	(30)	9.1%	72%
コーポレート・バンキング	915	460	99	4.2%	54%
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	139	274	(49)	3.8%	87%
本社およびその他事業	(226)	189		(1.5%)	
<b>税引後利益合計</b>	<b>6,376</b>	<b>7,599</b>	<b>(16)</b>	<b>6.1%</b>	<b>66%</b>

<sup>1</sup> 本社およびその他事業の平均株主資本利益率はグループの希薄化を意味しています。

## 業績管理

### 撤退対象事業

- 当グループは事業戦略の見直しの一環として、個々の事業が活動するセクターの魅力度と、株主資本コストを上回る持続可能な株主資本利益率の実現力に基づいて各事業の徹底的なボトムアップ分析を実施し、2013年2月12日に一部の既存事業から撤退することを発表しました。
- 下記の表は撤退対象事業資産の財務データを抽出したものです。

	CRD IV ベースのリスク 調整後資産 <sup>1</sup>		貸借対照表に 計上された資産		2013年12月31日に終了した年度		
	2013年 12月31日 現在 (億ポンド)	2012年 12月31日 現在 (億ポンド)	2013年 12月31日 現在 (億ポンド)	2012年 12月31日 現在 (億ポンド)	収益 /(費用) (百万ポンド)	減損戻入 (百万ポンド)	営業収益/ (費用)純額 (百万ポンド)
<b>インベストメント・バンク</b>							
米国住宅モーゲージ	11	53	5	22	478	-	478
商業モーゲージおよび不動産	16	31	20	40	182	-	182
レバレッジド・ローンおよびその他の貸付金	97	101	60	115	(88)	11	(77)
CLO およびその他保証資産	32	59	117	163	(281)	-	(281)
ストラクチャード・クレジット等	38	94	52	86	(128)	-	(128)
モノライン・デリバティブ	22	31	3	6	(21)	-	(21)
コーポレート・デリバティブ	19	83	22	36	-	-	-
<b>ポートフォリオ資産</b>	<b>235</b>	<b>452</b>	<b>279</b>	<b>468</b>	<b>142</b>	<b>11</b>	<b>153</b>
CRD IV 移行前の金利ポートフォリオ	187	339					
<b>インベストメント・バンク合計</b>	<b>422</b>	<b>791</b>					
<b>コーポレート・バンキング欧州資産</b>	<b>32</b>	<b>50</b>	<b>26</b>	<b>39</b>	<b>80</b>	<b>(321)</b>	<b>(241)</b>
<b>欧州 RBB 資産</b>	<b>90</b>	<b>97</b>	<b>213</b>	<b>229</b>	<b>118</b>	<b>(187)</b>	<b>(69)</b>
<b>合計</b>	<b>544</b>	<b>938</b>					

- 英語原文 46 ページの撤退対象事業収益は、関連する訴訟問題に関する収益および 2008 年の米国リーマンの買収により譲渡された一部未回収資産の回収可能性により、上記の収益とは異なります。
- 撤退対象事業の CRD IV ベースのリスク調整後資産は、インベストメント・バンクの 369 億ポンドの削減を含め、394 億ポンド減少して 544 億ポンドとなりました。これは米国住宅モーゲージ、ストラクチャード・クレジットのポートフォリオ、デリバティブ・ポートフォリオにおける合理化策に関連してインベストメント・バンクのポートフォリオ資産が 217 億ポンド減少して 235 億ポンドとなったことを反映しています。CRD IV 移行前の金利デリバティブのリスク調整後資産は 152 億ポンド減少して 187 億ポンドとなりました。コーポレート・バンキングおよび欧州 RBB の撤退対象事業ポートフォリオのリスク調整後資産は、継続的な資産削減により減少しました。
- ポートフォリオ資産の貸借対照表に計上された資産は、資産クラス全般にわたる純売却および一部償還により 189 億ポンド減少して 279 億ポンドとなりました。1 億 4,200 万ポンドの収益は主に米国住宅モーゲージ・エクスポージャーの売却によるもので、CLO およびその他保証付資産に係る調達費用と早期売却によって一部相殺されました。ポートフォリオ資産からの収益は米国住宅モーゲージの公正価値評価益の減少と商業用不動産貸付の売却を主因に、1 億 4,200 万ポンド(2012 年: 3 億 8,900 万ポンド)に減少しました。
- コーポレート・バンキングの欧州における撤退対象事業の貸借対照表に計上された資産は、スペインとポルトガルでの削減を主因に、13 億ポンド減少して 26 億ポンドとなりました。
- 欧州 RBB の撤退対象事業の貸借対照表に計上された資産は、16 億ポンド減少して 213 億ポンドとなりました。これはスペインとイタリアのモーゲージの削減が主因で、為替変動により一部相殺されました。

<sup>1</sup> 上記表は現在撤退対象事業に割り当てられている CRDIV ベースのリスク調整後資産を示したものです。

## 利ざやおよび残高

	2013年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2012年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)
<b>利息収入純額の分析</b>		
RBB、コーポレート・バンキング、およびウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントの顧客に 起因する利息収入:		
-顧客資産	7,144	6,654
-顧客負債	3,221	3,185
<b>合計</b>	<b>10,365</b>	<b>9,839</b>
RBB、コーポレート・バンキングおよびウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントの顧客以外 に起因する利息収入:		
-商品に係る構造的ヘッジ <sup>1</sup>	843	962
-株主資本に係る構造的ヘッジ <sup>2</sup>	337	317
-その他	(129)	(69)
RBB、コーポレート・バンキングおよびウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントの利息収入 純額合計	11,416	11,049
インベストメント・バンク	349	530
本社およびその他事業	(165)	75
<b>グループの利息収入純額</b>	<b>11,600</b>	<b>11,654</b>

## RBB、コーポレート・バンキングおよびウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントの利息収入純額

パークレイズは顧客資産からの利息収入純額と、顧客負債からの利息収入純額とを分け、これらを当グループのヘッジ活動によって主に生じる顧客以外に起因する利息収入純額と区別しています。

## 顧客に起因する利息収入

- 顧客に起因する利息収入純額は、平均顧客資産が2%増加して3,260億ポンド、顧客資産利ざやが10ベース・ポイント上昇して2.19%となったことを受けて103億6,500万ポンド(2012年:98億3,900万ポンド)に増加しました。顧客負債からの利息収入は引き続き概ね安定的に推移しました。平均顧客負債は14%増の3,220億ポンドとなりましたが、顧客負債利ざやが12ベース・ポイント低下して100ベース・ポイントとなったことで相殺されました。
- 顧客資産利ざやは、主に資金調達コストの減少により、2.19%(2012年:2.09%)に上昇しました。
- 顧客負債利ざやは1.00%(2012年:1.12%)に低下しました。これはコーポレート・バンキングで預金勘定への支払利息が増加したこと、ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントで商品構成が相対的に利ざやの低い商品にシフトしたことおよび資金調達レートが低下したことが理由です。

## 顧客以外に起因する利息収入

- 顧客以外に起因する利息収入純額は、顧客以外に起因する利ざやが5ベース・ポイント低下して0.16%となったことを反映し、10億5,100万ポンド(2012年:12億1,000万ポンド)に減少しました。低金利環境が顧客負債および当グループの株主資本に与える影響を軽減するため、当グループのヘッジ活動は引き続き構造的金利ヘッジを利用しています。
- 低金利環境が続くなかでヘッジが維持されましたが、商品に係る構造的ヘッジによる寄与は8億4,300万ポンド(2012年:9億6,200万ポンド)に減少しました。現在の金利カーブと実施中のヘッジ戦略に基づくと、商品に係る構造的ヘッジの固定金利リターンへの寄与は2014年も大きいことが見込まれます。
- RBB、パークレイカード、コーポレート・バンキングおよびウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントの株主資本に係る構造的ヘッジによる寄与は3億3,700万ポンド(2012年:3億1,700万ポンド)と概ね安定的に推移しました。

## 当グループのその他の利息収入

- 本社の利息収入純額は2億4,000万ポンド減少し、1億6,500万ポンドの利息費用純額となりました。これは当グループ全体に顧客預り金が増加したことに伴う余剰流動性の資金調達コストを反映したもので、劣後債務の簿価の調整により一部相殺されました。
- インベストメント・バンクの利息収入純額は、撤退対象事業資産からの利息収入の減少を主因に、3億4,900万ポンド(2012年:5億3,000万ポンド)に減少しました。

構造的ヘッジによる当グループの利息収入純額への寄与合計は1億4,000万ポンド減少して16億ポンド(2012年:17億ポンド)となりました。

1 商品に係る構造的ヘッジは商品残高(無利子当座口座や管理金利預金など)に対する短期利ざやの変動をより安定的な中期金利に変換し、目標とする満期の構成を実現するために月次ベースで構築されています。

2 株主資本に係る構造的ヘッジは当グループの株主資本に対して各事業部門が創出する純利益の変動を管理するために導入され、その影響は経済的資本の使用度に応じて各事業部門に配分されています。

## 業績管理

### 純利ざや

- RBB、コーポレート・バンキングおよびウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントの純利ざやは 8 ベーシス・ポイント低下して 1.76%(2012 年:1.84%)となりました。これは顧客負債および当グループのヘッジ活動による寄与が低下したことや、英ポンドに対して南アフリカランドが下落したことに伴いアフリカ RBB の利ざや上昇による寄与が低下したことを反映しています。純利ざやはリテールおよび商業用バンキングの負債に起因する利ざやの影響を反映させるため、平均顧客資産・負債の合計に対する比率として表されています。
- 平均顧客資産に対する比率として表される 2013 年の純利ざやは 3.47%から 3.50%に上昇しました。
- 純利ざやおよび顧客資産・負債利ざやには、当グループのホールセール市場で代替的に資金調達をする場合のコストに基づいた内部資金調達レートの変動が含まれています。当グループの内部資金調達レートは、実勢市場変動金利プラス期間プレミアム内部資金調達レートで、正味余剰流動性を持つ事業にはクレジットを与え、ホールセール資金調達が必要とする事業にチャージすることでグループ内の資金調達と流動性の価格調整をする働きがあります。代替資金調達コストに基づいて資産と負債に対する内部資金調達レートの決定を行うことにより、リテールとホールセールの資金尻に整合性を持たせることを目的としています。

### 純利ざやの分析

	英国 RBB %	欧州 RBB %	アフリカ RBB %	パークレイ カード %	コーポレート・ バンキング %	ウェルス・ アンド・イン ベストメント・ マネジメント %	RBB、 コーポレート、 ウェルス 合計 %
<b>2013 年 12 月 31 日に終了した年度</b>							
顧客資産利ざや	1.22	0.43	3.10	9.39	1.33	0.86	2.19
顧客負債利ざや	0.89	0.40	2.73	(0.29)	0.97	0.97	1.00
顧客に起因する利ざや	1.06	0.43	2.95	8.48	1.12	0.94	1.60
顧客以外に起因する利ざや	0.23	0.36	0.21	(0.19)	0.09	0.10	0.16
純利ざや	1.29	0.79	3.16	8.29	1.21	1.04	1.76
平均顧客資産(百万ポンド)	134,297	39,387	27,330	36,276	66,724	22,418	326,432
平均顧客負債(百万ポンド)	128,310	13,887	18,093	3,741	97,558	60,596	322,185
<b>2012 年 12 月 31 日に終了した年度</b>							
顧客資産利ざや	1.07	0.46	3.10	9.56	1.17	0.65	2.09
顧客負債利ざや	0.97	0.38	2.75	(0.60)	1.11	1.12	1.12
顧客に起因する利ざや	1.02	0.44	2.97	9.18	1.14	0.99	1.63
顧客以外に起因する利ざや	0.33	0.34	0.22	(0.52)	0.10	0.24	0.21
純利ざや	1.35	0.78	3.19	8.66	1.24	1.23	1.84
平均顧客資産(百万ポンド)	124,275	39,996	32,155	33,470	69,041	19,670	318,607
平均顧客負債(百万ポンド)	111,753	14,824	19,610	1,286	85,620	50,083	283,176

## 業績管理

### 純利ざやの分析

	英国 RBB %	欧州 RBB %	アフリカ RBB %	パークレイ カード %	コーポレート・ バンキング %	ウェルス・ アンド・イン ベストメント・ マネジメント %	RBB、 コーポレート、 ウェルス合計 %
<b>2013年12月31日に終了した四半期</b>							
顧客資産利ざや	1.27	0.43	3.16	9.19	1.34	0.98	2.20
顧客負債利ざや	0.92	0.38	2.64	(0.27)	0.88	0.97	0.97
顧客に起因する利ざや	1.10	0.42	2.95	8.17	1.06	0.97	1.58
顧客以外に起因する利ざや	0.22	0.35	0.30	(0.10)	0.07	0.05	0.16
純利ざや	1.32	0.77	3.25	8.07	1.13	1.02	1.74
平均顧客資産(百万ポンド)	136,100	37,884	24,854	36,640	66,098	22,765	324,341
平均顧客負債(百万ポンド)	133,019	13,466	17,014	4,404	98,973	63,114	329,990
<b>2013年9月30日に終了した四半期</b>							
顧客資産利ざや	1.26	0.37	3.07	9.56	1.41	0.87	2.25
顧客負債利ざや	0.89	0.42	2.85	(0.24)	0.94	0.99	0.99
顧客に起因する利ざや	1.08	0.39	2.98	8.57	1.13	0.96	1.62
顧客以外に起因する利ざや	0.23	0.36	0.25	(0.18)	0.12	0.04	0.16
純利ざや	1.31	0.75	3.23	8.39	1.25	1.00	1.78
平均顧客資産(百万ポンド)	135,483	39,432	26,658	36,380	66,251	22,259	326,463
平均顧客負債(百万ポンド)	131,465	13,842	17,892	4,084	96,918	59,740	323,941
<b>2013年6月30日に終了した四半期</b>							
顧客資産利ざや	1.25	0.47	3.19	9.34	1.34	0.75	2.19
顧客負債利ざや	0.80	0.40	2.71	(0.30)	1.10	0.97	1.00
顧客に起因する利ざや	1.03	0.45	3.00	8.46	1.20	0.91	1.60
顧客以外に起因する利ざや	0.23	0.36	0.15	(0.22)	0.07	0.15	0.15
純利ざや	1.26	0.81	3.15	8.24	1.27	1.06	1.75
平均顧客資産(百万ポンド)	134,986	39,767	27,925	36,069	66,869	22,351	327,967
平均顧客負債(百万ポンド)	129,843	13,943	18,405	3,629	95,178	60,670	321,668
<b>2013年3月31日に終了した四半期</b>							
顧客資産利ざや	1.10	0.45	2.92	9.49	1.24	0.85	2.12
顧客負債利ざや	0.96	0.42	2.73	(0.35)	1.02	1.02	1.06
顧客に起因する利ざや	1.03	0.44	2.85	8.77	1.11	0.97	1.62
顧客以外に起因する利ざや	0.25	0.37	0.18	(0.28)	0.12	0.14	0.17
純利ざや	1.28	0.81	3.03	8.49	1.23	1.11	1.79
平均顧客資産(百万ポンド)	130,546	40,494	30,451	35,887	66,741	22,221	326,340
平均顧客負債(百万ポンド)	118,721	14,307	18,925	2,822	93,423	55,642	303,840

## 資金調達リスク – 資本

### CRD III 自己資本比率

	2013年 12月31日現在	2012年 12月31日現在
コア Tier1 比率	13.2%	10.8%
Tier1 比率	15.7%	13.2%
総自己資本比率	19.9%	17.0%
<b>資本要素</b>	(百万ポンド)	(百万ポンド)
<b>貸借対照表上の株主資本(非支配持分を除く)</b>	<b>55,385</b>	<b>50,615</b>
- (控除) CRD IV 追加 Tier 1 株式 <sup>1</sup>	(2,063)	-
当グループ自体の信用度に関連する累積損失 <sup>2</sup>	806	804
売却可能債券に係る未実現損失/(利益) <sup>2</sup>	3	(417)
売却可能株式に係る未実現利益(Tier2 資本として認識) <sup>2</sup>	(151)	(110)
キャッシュフロー・ヘッジ再評価差額 <sup>2</sup>	(273)	(2,099)
<b>貸借対照表上の非支配持分</b>	<b>8,564</b>	<b>9,371</b>
-(控除) その他の Tier1 資本-優先株式	(6,131)	(6,203)
-(控除) 非支配持分 Tier2 資本	(478)	(547)
非支配持分に対するその他規制上の調整	(23)	(171)
<b>その他規制上の調整および控除:</b>		
確定給付型年金の調整 <sup>2</sup>	195	49
のれんおよび無形資産 <sup>2</sup>	(7,618)	(7,622)
予想減損損失の超過分の 50% <sup>2</sup>	(787)	(648)
証券化におけるポジションの 50%	(503)	(997)
その他規制上の調整	(142)	(303)
<b>コア Tier1 資本</b>	<b>46,784</b>	<b>41,722</b>
<b>その他 Tier1 資本:</b>		
優先株式	6,131	6,203
Tier1 債券 <sup>3</sup>	500	509
資本準備商品 <sup>3</sup>	2,858	2,866
<b>規制上の調整および控除:</b>		
重要な持分の 50%	(459)	(241)
予想減損損失の超過分に係る税金の 50%	6	176
<b>Tier1 資本総額</b>	<b>55,820</b>	<b>51,235</b>
<b>Tier2 資本:</b>		
無期限劣後債	1,522	1,625
期限付劣後債	13,626	14,066
非支配 Tier2 資本	478	547
固定資産再評価差額 <sup>2</sup>	7	39
売却可能株式に係る未実現利益 <sup>2</sup>	153	110
一括評価減損引当金	1,875	2,002
<b>Tier2 に対する減額:</b>		
重要な持分の 50%	(459)	(241)
予想減損損失の超過分に係る 50%(税引前)	(793)	(824)
証券化におけるポジションの 50%	(503)	(997)
<b>自己資本総額に対する規制上の調整および控除:</b>		
重要な持分又は適格持分ではない投資	(768)	(1,139)
資本総額合計に対するその他の控除	(288)	(550)
<b>規制上の自己資本総額</b>	<b>70,670</b>	<b>65,873</b>

<sup>1</sup> CRD III 資本としては非適格だが、CRD IV 基準では適格な追加 Tier 1 商品。

<sup>2</sup> これらの項目の資本への影響は税引後のものです。

<sup>3</sup> Tier 1 債券および資本準備商品は、連結貸借対照表においては、劣後負債に含まれています。

## 資金調達リスク – 資本

### コア Tier1 資本の変動

	2013 年 (百万ポンド)	2012 年 (百万ポンド)
<b>コア Tier 1 資本の期首残高</b>	<b>41,722</b>	<b>42,093</b>
当期純利益	1,297	181
当グループ自身の信用度に係る調整 <sup>1</sup>	2	3,484
配当金支払額	(1,672)	(1,427)
<b>利益から生じた留保資本</b>	<b>(373)</b>	<b>2,238</b>
新株予約権無償割当に伴う発行	5,830	-
剰余金の変動 – 普通株式および制度の影響	1,203	(165)
為替換算再評価差額の変動	(1,767)	(1,548)
年金準備金の変動	(515)	(1,235)
その他の剰余金の変動	17	33
<b>その他適格剰余金の変動</b>	<b>4,768</b>	<b>(2,915)</b>
<b>規制上の調整およびその他控除項目の増減:</b>		
確定給付型年金の調整 <sup>1</sup>	146	53
のれんおよび無形資産の残高 <sup>1</sup>	4	(62)
予想減損損失の超過分の 50% <sup>1</sup>	(139)	(142)
証券化におけるポジションの 50%	494	320
その他規制上の調整	162	137
<b>コア Tier 1 資本の期末残高</b>	<b>46,784</b>	<b>41,722</b>

- コア Tier1 比率は、コア Tier1 資本が 51 億ポンド増加して 468 億ポンドとなったことを反映して、13.2%に上昇しました(2012 年:10.8%)。

パークレイズは支払保障保険および金利ヘッジ商品に係る補償引当金の影響を吸収した上で、利益から 13 億ポンドのコア Tier1 資本を生み出しました。2013 年における 17 億ポンドの配当金支払後、利益から生じた規制上の留保資本はコア Tier1 資本を 4 億ポンド減少させました。その他、コア Tier1 資本の重要な動きには以下のものがあります。

- 新株予約権無償割当に伴う発行による株式資本および株式払込剰余金の増加、58 億ポンド。
- ワラント行使に伴う株式資本および株式払込剰余金の増加、8 億ポンド。
- 主に米ドルおよび南アフリカランドに対する英ポンドの上昇に伴う外国為替の変動による減少、18 億ポンド。
- 旧来からの不良資産の縮小に伴う証券化ポジションの減少、5 億ポンド。

- 資本総額は 48 億ポンド増加して 707 億ポンドとなりました。

コア Tier1 資本の増加は 7 億ポンドの新規発行により一部相殺されたものの、期限付劣後債務が 14 億ポンド満期を迎えたことによる Tier2 資本の減少と、全体資本レベルでの証券化控除項目の 5 億ポンドの減少によって、一部相殺されました。

<sup>1</sup> これらの項目の資本への影響は税引後の金額です。

## 資金調達リスク－資本

### リスク別および事業部門別リスク調整後資産

	信用リスク			カウンターパーティー信用リスク		市場リスク			オペレーショナルリスク	リスク調整後総資産合計
	標準的手法 (百万ポンド)	基礎的 内部格付 付手法 (百万ポンド)	先進的 内部格付 付手法 (百万ポンド)	内部 モデル 方式 (百万ポンド)	内部 モデル 方式 非適用 (百万ポンド)	標準的 方式 (百万ポンド)	VaR 内部 モデル 方式 (百万ポンド)	追加調整/ VaR 内部 モデル 非適用分 (百万ポンド)		
2013年12月31日現在										
英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)	2,639	-	34,765	-	-	-	-	-	6,680	44,084
欧州 RBB	4,206	-	9,568	-	4	-	-	-	2,128	15,906
アフリカ RBB	5,196	4,820	8,400	-	3	-	-	-	3,965	22,384
パークレイカード	18,070	-	16,479	-	-	-	-	-	6,594	41,143
インベストメント・バンク	7,306	3,142	41,031	20,847	6,120	16,957	14,932	7,490	24,807	142,632
コーポレート・バンキング	22,582	2,846	36,132	649	2	-	-	-	6,717	68,928
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	11,209	225	1,796	-	230	-	-	-	3,261	16,721
本社およびその他事業	168	-	2,684	-	-	-	-	-	159	3,011
<b>リスク調整後資産合計</b>	<b>71,376</b>	<b>11,033</b>	<b>150,855</b>	<b>21,496</b>	<b>6,359</b>	<b>16,957</b>	<b>14,932</b>	<b>7,490</b>	<b>54,311</b>	<b>354,809</b>

### 2012年12月31日現在

英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)	1,163	-	31,401	-	-	-	-	-	6,524	39,088
欧州 RBB	5,051	-	8,786	-	3	-	-	-	1,955	15,795
アフリカ RBB	3,801	5,778	10,602	-	7	-	-	-	4,344	24,532
パークレイカード	17,326	-	13,957	-	-	-	-	-	6,553	37,836
インベストメント・バンク	9,386	3,055	48,000	25,127	4,264	25,396	22,497	15,429	24,730	177,884
コーポレート・バンキング	28,295	3,430	31,897	500	-	-	-	-	6,736	70,858
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	11,647	317	707	-	199	-	-	-	3,184	16,054
本社およびその他事業	205	-	4,961	-	-	-	-	-	160	5,326
<b>リスク調整後資産合計</b>	<b>76,874</b>	<b>12,580</b>	<b>150,311</b>	<b>25,627</b>	<b>4,473</b>	<b>25,396</b>	<b>22,497</b>	<b>15,429</b>	<b>54,186</b>	<b>387,373</b>

### リスク調整後資産の変動

リスク調整後資産	信用リスク (億ポンド)	カウンター パーティー 信用リスク (億ポンド)	市場リスク (億ポンド)	オペレー ショナル リスク (億ポンド)	合計 (億ポンド)
2013年1月1日現在	2,398	301	633	542	3,874
簿価残高	60	(21)	(179)	1	(139)
増加と(撤退対象事業を含んだ)減少	(77)	(2)	(36)	1	(114)
簿価の質	(45)	2	(1)	-	(44)
モデルの更新	26	8	(1)	-	33
手法と方針の変更	16	(2)	-	-	14
外国為替 <sup>1</sup>	(46)	(3)	(2)	(1)	(52)
その他	1	(4)	(21)	-	(24)
2013年12月31日現在	2,333	279	393	543	3,548

<sup>1</sup> 外国為替は内部モデル方式、モデル化されている市場リスク、撤退対象事業の変動を含めていません。

## 資金調達リスク－資本

下記の要因により、リスク調整後資産は326億ポンド減少しました。

- 英国 RBB 部門およびパークレイカードの資産の増加により一部相殺されたものの、主にソブリン・エクスポージャーの削減とトレーディング勘定のリスク圧縮を受けた資産残高の減少により、リスク調整後資産は 139 億ポンド減少しました。
- パークレイズ・ダイレクトの買収により一部相殺されたものの、主に撤退対象事業資産の削減を通じた買収および売却により、リスク調整後資産は 114 億ポンド減少しました。
- 英国 RBB、コーポレート・バンキング、インベストメント・バンク各部門におけるリスク特性の変化を主因とする帳簿資産の質の改善により、リスク調整後資産は 44 億ポンド減少しました。
- 規制当局のガイダンスの改定に対応するためのパークレイカードにおけるモデルの変更を中心とするモデルの更新により、リスク調整後資産は 33 億ポンド増加しました。
- 手法および方針の変更により、リスク調整後資産は 14 億ポンド増加しました。クレジット・エクスポージャーへの担保適用の改善に一部相殺されたものの、支払猶予の取り扱いの変更が影響しました。
- 南アフリカランドに対する英ポンドの上昇を中心とする外国為替の変動により、リスク調整後資産は 52 億ポンド減少しました。
- トレーディング勘定の計測方法の変更を中心とするその他の要因により、リスク調整後資産は 24 億ポンド減少しました。

### ブルーデンス(健全性)規制機構による CRD IV の実施

欧州連合(EU)は 2014 年 1 月 1 日、新自己資本規制および改正資本要件指令(CRD IV と総称されます)の下でパーゼル 3 の実施を開始しました。しかしながら、CRD IV の一部の要素は欧州銀行監督機構(EBA)が策定し、欧州委員会が導入する予定の最終的な実務上の基準と英国におけるルールを導入によって左右されます。当グループのリスク調整後資産、自己資本およびレバレッジ各比率は当グループによる現行ルールおよびガイダンスの解釈に基づき算出したものです。要件が最終的に決定し、当グループがそれらを適用する中で、CRD IV の影響はさらに変化する可能性があります。

### 自己資本比率

- 当グループの CRD IV に基づく自己資本比率は移行ベース、完全施行ベースともに最低基準を引き続き上回っています。
- 2013 年 12 月 31 日現在、当グループの完全施行ベースの CET1 比率は PRA が定める目標の 7%を上回りました。PRA は CET1 比率 4%、Tier1 比率 5.5%(2014 年)、総自己資本比率 8%を移行ベースの最低基準と規定しました。
- 当グループは 2019 年までに規制上の要件である CRD IV 完全施行ベースの CET1 比率 9%を達成した上で、ピラー2A 資本 1 の上積みを目指します。目標比率は最低基準である CET1 比率 4.5%を、また 2016 年からは資本保全バッファ(CCB)2.5%とグローバルなシステム上重要な金融機関(G-SII)に適用される見通しのバッファ2%を組み合わせたバッファ(2016 年から段階的に導入)から構成されます。
- 現在の PRA のガイダンスによれば、ピラー2A アドオンは 2015 年度から CET1 の 56%の水準を達成する必要があります。この要件が現在適用されると仮定すると、これはリスク調整後資産(RWA)の約 1.4%<sup>1</sup>に相当します。PRA の個別の資本ガイダンスによれば、ピラー2A アドオンは PRA の個別資本ガイダンス次第で時間の経過とともに変動が見込まれます。
- さらに、考え得る危機的状況から金融経済を守るため、イングランド銀行によりカウンター・シクリカル資本バッファ(CCCB、景気変動抑制的な資本バッファ)および、もしくはセクトラル資本要件(SCR)の設定を求められる可能性があります。CRD IV では、システミック・リスク・バッファ(SRB)が適用される可能性もあります。これらのバッファはグループ・レベル、事業体、子会社の連結会社、あるいはポートフォリオ・レベルでの適用が可能です。現在、CCCB、SCR および SRB のいずれもイングランド銀行により設定されてはいません。

<sup>1</sup> 少なくとも年に一度以上行われる PRA による一定時点での査定に基づく。PRA はピラー2 の枠組みの変更に関して提案を作成しており、PS7/13(資本基準の強化にかかる PRA 政策文書 PS7/13、2013 年 12 月策定)にあるように、2014 年中にこの提案について議論をするとされています。EBA もまたピラー2 についての監督調査および評価過程(SREP:Supervisory Review and Evaluation Process)を作成しており、PRA のピラー2 へのアプローチに影響を及ぼすと考えられています。

## 資金調達リスク－資本

---

### 資本の源泉

- PRA は CET1 控除およびフィルターに関連する移行ベースの規定の前倒しを発表しました。これを受け、売却可能債務および株式の未実現益を除き、完全施行ベースの要件が 2014 年 1 月 1 日から適用可能となりました。この結果、移行ベースの自己資本比率は完全施行ベースの比率に極めて近いものになりました。
- 自己資本にかかる技術基準についての EBA による最終草案の発表を受け、予見される配当にかかる控除を認識しました。2013 年 12 月 31 日現在、これは 1 株当たり 3.5 ペンスとして計算される 2013 年の最終配当およびその他持分法適用金融商品のクーポンの見越額に相当します。
- PRA の経過措置ルールでは、従来 Tier1 および Tier2 への算入を認められていた資本性商品に対する適用猶予の制限の変更はありません。
- CRD IV 導入時には、健全性評価調整(PVA)は CET1 から完全に控除されたうえで表示されます。PVA は EBA が策定中の実務上の基準に左右されます。現在は PRA と合意した方法により PVA の額を算出しています。2013 年 12 月 31 日現在の PVA 控除は 25 億ポンドでした。
- 当グループは規制上の要件を当グループ自身の資金に適用し、アフリカ事業における適格子会社の少数株主持分を (CRD IV で規定される規制上のヘアカットを適用したうえで) CET1 として引き続き認識しています。
- EBA の実務上の基準の最終案の適用、PRA のガイダンス、2013 年に実施した経営上の施策の結果、金融事業体の重要性の低い純買持高は 35 億ポンドとなります。これは資本控除が必要となる基準である CET1 の 10%を下回っています。

### リスク調整後資産

- PRA は関連するルールとガイダンスの変更を反映した特定の条件を設けたうえで、CRD IV の下でパークレイズのモデルを承認することを確認しました。これら条件の影響は当グループの CRD IV の開示に適宜反映されています。パークレイズのモデルは継続的な変更、改善、規制当局の承認の影響により変わる場合があり、将来、CRD IV 資本要件が変更される可能性があります。
- 適格条件を満たす社債、年金基金、ソブリン債は信用評価調整(CVA)変動資本賦課の適用の対象外であると想定されます。
- CRD IV ルールでは、全ての中央決済カウンターパーティー(CCP)は移行ベースでは「適格」と見なされます。適格性の最終的な判断は欧州証券市場監督機構(ESMA)によって下されます。
- リスク調整後資産には従来はコア Tier1 および Tier2 資本から控除されていた証券化ポジションが含まれており、1250%のリスク加重が適用されています。リスク調整後資産の増加は信用リスク、カウンターパーティー信用リスク、市場リスクに反映されています。
- 証券化リスク調整後資産には、参照資産の特性に応じて標準的手法あるいは先進的手法のいずれかを証券化エクスポージャーに適用する際の CRD IV の影響が含まれています。

## 資金調達リスク－流動性

### 資金調達と流動性

当グループは、流動性リスクを管理するための包括的な流動性リスク管理フレームワーク(流動性フレームワーク)を備えています。流動性フレームワークはブルーデンス規制機構(PRA)の基準を満たしており、当グループの資金調達特性のために適切な質を備えた十分な資金を維持することができるようにすることを目的とするものです。これは方針策定、見直し、ガバナンス、分析、ストレス・テスト、限度額設定およびモニタリングの組み合わせで実現されます。全体として、これらは内部および規制上の要件を満たしています。

パークレイズ・アフリカ・グループ・リミテッド(BAGL)の流動性リスクは、現地通貨および資金調達要件のために別個に管理されています。特段の記述がない限り、本セクションのすべての開示情報は BAGL を除外しており、BAGL については独立的に報告が成されます。現地での要件を満たすため、BAGL の流動性リスクはパークレイズ・グループと一貫したベースで管理されています。

### 流動性ストレス・テスト

流動性フレームワークに基づき、当グループは各種ストレス・シナリオの下で予想されるストレス時の契約上および条件付の資金流出純額と比較した余剰流動性を参照して測定される流動性リスク選好度(LRA)を設定しています。これらのシナリオは PRA が規定するストレスに合致しているもので、市場全体のストレス・イベント、パークレイズ固有のストレス・イベントおよび両者の組み合わせを対象としています。通常の市場環境の下では、余剰流動性は市場全体のストレス時の 90 日間の予想資金流出額、およびパークレイズ固有のストレス時、複合ストレス時それぞれの 30 日間の予想資金流出額の少なくとも 100%になるように管理されます。このうち、30 日間のパークレイズ固有のシナリオが最も制約が多いものになっています。

2010 年 6 月以来、当グループは PRA が提示した個別流動性ガイダンス(ILG)に対する流動性ポジションを報告しています。また、当グループは流動性カバレッジ比率(LCR)および安定調達比率(NSFR)を含む予想されるバーゼル 3 指標に対するポジションもモニターしています。バーゼル銀行監督委員会が公表した基準に基づいて、パークレイズは 2013 年 12 月 31 日現在の推定 LCR の見積りが 102%(2012 年:126%)、NSFR の見積りが 110%(2012 年:112%)となり、両比率とも 100%を超えていると発表しています<sup>1</sup>。

2013 年 12 月 31 日現在、当グループはパークレイズ固有の LRA シナリオおよびバーゼル 3 基準の LCR それぞれの 30 日間のストレス時資金流出純額の 100%を上回る適格流動資産を保有しています。

内部および規制に則ったストレス・テスト	パークレイズの流動性 選好度 LRA(30 日間の パークレイズの固有 シナリオの必要額) <sup>2</sup>	バーゼル 3 基準の 流動性カバレッジ 比率(LCR)見積り <sup>1</sup>
	(億ポンド)	(億ポンド)
適格流動性バッファー	1,270	1,300
ストレス時の資金流出純額	1,220	1,280
<b>余剰流動性</b>	<b>50</b>	<b>20</b>
2013 年 12 月 31 日時点での想定される資金流出純額に対する余剰流動性比率	104%	102%
2012 年 12 月 31 日時点での想定される資金流出純額に対する余剰流動性比率	129%	126%

2013 年、パークレイズ・グループは外部規制上の要件および社内の流動性リスク選好度を充足しつつ、レバレッジ計画を支援し余剰流動性コストを削減する目的の下、大きな流動性リスク選好度と流動性カバレッジ比率を低下させるため、余剰流動性のサイズの適正化を図りました。

パークレイズは内部および規制上の要件に対する余剰流動性を効率的水準で維持する予定です。パークレイズは引き続き金融市場、特に利用可能な資金調達の締め付けの初期兆候について、緊密にモニターしていく所存です。このような状況の中で、ストレス・シナリオの性質および深刻度は再評価され、余剰流動性に関して適切な措置が取られます。これにはストレス時の資金流出に対応するための余剰流動性の規模の一層の拡大ないし余剰流動性の貨幣化が含まれる可能性があります。

<sup>1</sup> LCR および NSFR の見積方法はそれぞれ 2013 年 1 月、2014 年 1 月に公表されたバーゼル基準の解釈指針に基づいており、CRD IV の導入に先立ち変更される可能性のある数多くの仮定を含むものです。

<sup>2</sup> LRA の一環としてモニターされている 3 つのストレス・シナリオのうち、30 日間のパークレイズ固有のシナリオは最低比率の 104%となります(2012 年:129%)。LRA は 90 日間の市場全体シナリオの下では 127%(2012 年:141%)、30 日間の複合シナリオの下では 112%(2012 年:145%)となります。

## 資金調達リスク－流動性

### 余剰流動性

当グループの2013年12月31日現在の余剰流動性は1,270億ポンドでした(2012年:1,500億ポンド)。2013年の各月末余剰流動性は1,270億ポンドから1,570億ポンドの間で推移し(2012年:1,500億ポンドから1,730億ポンド)、月末平均残高は1,440億ポンドとなりました(2012年:1,620億ポンド)。余剰流動性は担保に供されていない資産で構成され、支払いや清算の必要額に対する裏付けとして使用されるものではありません。そのような必要額は当グループの通常の事業向け資金調達の一環として取り扱われます。余剰流動性はストレス環境下で発生し得る現金流出との相殺を目的とし、以下の現金および担保に供されていない資産で構成されています。2013年の流動性プールの規模の縮小は、外部規制上の要件を充足しつつ、確立された流動性リスク選好度の範囲内で、余剰流動性の規模を適切化するというグループの方針に基づくものでした。現金および中央銀行預け金から国債への余剰流動性の構成変化は、余剰流動性の全体的なコストを削減するために実施されたものです。

### グループ余剰流動性の構成

	余剰流動性				余剰流動性
	2013年	余剰流動性	余剰流動性のうち		2012年
	12月31日	のうち	パーゼル3基準の		12月31日
	現在	PRA 適格分 <sup>1</sup>	LCR 適格分 <sup>2</sup>		現在
	(億ポンド)	(億ポンド)	レベル1	レベル2A	(億ポンド)
2013年12月31日現在					
現金および中央銀行預け金 <sup>3</sup>	430	420	410	-	850
<b>国債<sup>4</sup></b>					
AAA格	520	510	520	-	400
AA+格からAA-格	90	80	80	-	50
その他の国債	10	-	-	-	10
<b>国債合計</b>	<b>620</b>	<b>590</b>	<b>600</b>	<b>-</b>	<b>460</b>
<b>その他</b>					
国際機関債および国際開発銀行	30	30	30	-	40
政府機関および政府機関不動産担保証券	100	-	50	50	70
カバード債(AA-格以上)	60	-	-	60	50
その他	30	-	-	-	30
<b>その他合計</b>	<b>220</b>	<b>30</b>	<b>80</b>	<b>110</b>	<b>190</b>
<b>2013年12月31日現在合計</b>	<b>1,270</b>	<b>1,040</b>	<b>1,090</b>	<b>110</b>	
<b>2012年12月31日現在合計</b>	<b>1,500</b>	<b>1,290</b>	<b>1,360</b>	<b>80</b>	

パークレイズは余剰流動性を一元的に管理しています。2013年12月31日現在、余剰流動性の90%はパークレイズ・バンク・ピーエルシーに所在し(2012年:90%)、パークレイズ・グループ全体の流動性ニーズを満たすために利用可能となっています。残余余剰流動性の大半はパークレイズ・キャピタル・インク(BCI)内部で保有されています。余剰流動性のうち、パークレイズ・バンク・ピーエルシーの外部に所在する部分は各事業体固有のストレスによる資金流出および規制上の要件に対して保有されています。

1 余剰流動性1,040億ポンドは、BIPRU(銀行、ビルディング・ソサエティ、投資会社のためのプルデンシャル・ハンドブック)12.7項に規定されているPRA要件を満たすものです。更にPRAの2013年8月の発表によれば、PRAがレベル2資産として特定した一定の資産は、経過措置としてレベル2資産として利用することができます。このようなレベル2資産は90億ポンドあります。

2 本表に表示されている流動性カバレッジ比率(LCR)適格資産は当グループの余剰流動性に適格な資産のみを示しており、パーゼル銀行監督委員会によって定義されるレベル2B資産は含まれていません。

3 現金および中央銀行預け金の95%超(2012年:95%超)はイングランド銀行、米連邦準備制度理事会、欧州中央銀行、日本銀行、スイス国立銀行に預けられています。

4 国債の85%超(2012年:80%超)は英国、米国、日本、フランス、ドイツ、デンマーク、スイスおよびオランダの債券です。

## 信用リスク

### 信用リスク

#### 顧客および銀行に対する貸付金の分析

#### 産業セクターおよび地域別貸付金(償却原価ベース、減損引当金控除後)

2013年12月31日現在	英国 (百万ポンド)	欧州 (百万ポンド)	米州 (百万ポンド)	アフリカ および中東 (百万ポンド)	アジア (百万ポンド)	合計 (百万ポンド)
銀行	5,718	11,322	10,141	2,318	6,239	35,738
その他金融機関	21,142	18,359	45,963	6,117	7,774	99,355
製造	5,306	1,916	1,297	1,218	606	10,343
建設	3,133	417	19	347	27	3,943
不動産	15,022	1,985	937	1,941	123	20,008
政府	1,546	1,739	685	1,325	1,808	7,103
エネルギーおよび水資源	1,715	3,035	1,489	735	478	7,452
ホールセールおよびリテール物流並びにレジャー	9,609	1,296	464	1,320	175	12,864
企業向けおよびその他サービス	12,826	2,656	2,220	1,926	434	20,062
住宅ローン	129,591	34,752	782	14,051	351	179,527
カード、無担保ローンおよびその他の個人向け貸付	28,168	6,792	12,630	3,842	1,283	52,715
その他	8,373	1,871	1,295	6,996	619	19,154
<b>顧客および銀行に対する貸付金純額</b>	<b>242,149</b>	<b>86,140</b>	<b>77,922</b>	<b>42,136</b>	<b>19,917</b>	<b>468,264</b>
<b>減損引当金</b>	<b>(2,980)</b>	<b>(2,486)</b>	<b>(654)</b>	<b>(1,079)</b>	<b>(59)</b>	<b>(7,258)</b>

#### 2012年12月31日現在

銀行	7,134	14,447	12,050	1,806	3,405	38,842
その他金融機関	17,113	20,812	40,884	4,490	3,031	86,330
製造	6,041	2,533	1,225	1,232	487	11,518
建設	3,077	476	1	699	21	4,274
不動産	15,167	2,411	677	3,101	247	21,603
政府	558	2,985	1,012	1,600	253	6,408
エネルギーおよび水資源	2,286	2,365	1,757	821	393	7,622
ホールセールおよびリテール物流並びにレジャー	9,567	2,463	734	1,748	91	14,603
企業向けおよびその他サービス	15,754	2,754	2,360	2,654	630	24,152
住宅ローン	119,653	36,659	480	14,931	270	171,993
カード、無担保ローンおよびその他の個人向け貸付	29,716	5,887	11,725	7,170	1,147	55,645
その他	9,448	2,390	1,232	7,788	520	21,378
<b>顧客および銀行に対する貸付金純額</b>	<b>235,514</b>	<b>96,182</b>	<b>74,137</b>	<b>48,040</b>	<b>10,495</b>	<b>464,368</b>
<b>減損引当金</b>	<b>(3,270)</b>	<b>(2,606)</b>	<b>(472)</b>	<b>(1,381)</b>	<b>(70)</b>	<b>(7,799)</b>

#### 減損引当金

	2013年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2012年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)
期首残高	7,799	8,896
買収および売却	(5)	(80)
外国為替およびその他調整	(260)	(206)
ディスカウント解消	(179)	(211)
償却額	(3,343)	(4,119)
回収額	201	212
利益に対する引当額	3,045	3,307
<b>期末残高</b>	<b>7,258</b>	<b>7,799</b>

## 信用リスク

### 産業セクターおよび地域別貸付金(公正価値で保有)

2013年12月31日現在	アフリカ					合計 (百万ポンド)
	英国 (百万ポンド)	欧州 (百万ポンド)	米州 (百万ポンド)	および中東 (百万ポンド)	アジア (百万ポンド)	
銀行	-	150	72	273	1	496
その他金融機関 <sup>1</sup>	12	782	409	24	42	1,269
製造	21	41	98	-	6	166
建設	148	1	-	11	-	160
不動産	7,595	766	164	3	-	8,528
政府	5,288	8	-	98	1	5,395
エネルギーおよび水資源	12	65	465	48	-	590
ホールセールおよびリテール物流並びにレジャー	40	75	97	53	-	265
企業向けおよびその他サービス	2,865	59	261	127	1	3,313
その他	11	27	51	63	8	160
<b>顧客および銀行に対する貸付金純額</b>	<b>15,992</b>	<b>1,974</b>	<b>1,617</b>	<b>700</b>	<b>59</b>	<b>20,342</b>

2012年12月31日現在	アフリカ					合計 (百万ポンド)
	英国 (百万ポンド)	欧州 (百万ポンド)	米州 (百万ポンド)	および中東 (百万ポンド)	アジア (百万ポンド)	
銀行	-	493	120	422	-	1,035
その他金融機関 <sup>1</sup>	13	611	622	8	39	1,293
製造	6	38	601	16	15	676
建設	161	1	-	28	4	194
不動産	8,671	830	295	121	-	9,917
政府	5,762	6	314	17	5	6,104
エネルギーおよび水資源	10	73	41	46	3	173
ホールセールおよびリテール物流並びにレジャー	33	2	220	72	1	328
企業向けおよびその他サービス	3,404	20	685	14	-	4,123
その他	105	132	46	224	56	563
<b>顧客および銀行に対する貸付金純額</b>	<b>18,165</b>	<b>2,206</b>	<b>2,944</b>	<b>968</b>	<b>123</b>	<b>24,406</b>

### 事業別信用減損金額およびその他引当金

	2013年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)	2012年 12月31日に 終了した年度 (百万ポンド)
<b>貸付金減損額</b>		
英国リテール・アンド・ビジネス・バンキング(RBB)	347	269
欧州 RBB	287	257
アフリカ RBB	324	632
パークレイカード	1,264	1,049
インベストメント・バンク	209	192
コーポレート・バンキング	512	864
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	121	38
本社およびその他事業	(2)	2
<b>貸付金減損額合計<sup>2</sup></b>	<b>3,062</b>	<b>3,303</b>
売却可能投資商品にかかる減損金	1	40
リバース・レポ取引にかかる減損金	8	(3)
<b>信用減損金額およびその他引当金合計</b>	<b>3,071</b>	<b>3,340</b>

- 貸付金などに係る減損金は、グループの他の部門における減損金額の増加があったものの、コーポレート・バンキングおよびアフリカ RBB における減少によって、7%減少しました。

より詳細な情報は、英語原文 72 ページのリテールと 86 ページのホールセール信用リスクセクションをそれぞれご参照ください。

<sup>1</sup> その他金融機関(米州)にはリテール向けモーゲージを担保とした貸付金 2 億 5,000 万ポンド(2012 年:4 億 2,700 万ポンド)が含まれています。

<sup>2</sup> 利用されなかったファンシリティおよび保証にかかる 1,700 万ポンドの減損(2012 年:400 万ポンドの戻入)を含みます。

## 信用リスク

### ホールセール信用リスク

#### 顧客および銀行に対するホールセール貸付金(償却原価ベース)

2013年12月31日現在	貸付金総額 (百万ポンド)	減損引当金 (百万ポンド)	貸付金 (減損を除く) (百万ポンド)	クレジット・ リスク・ローン (CRL) (百万ポンド)	貸付金総額 に占める CRLの比率 %	貸付金に係る 減損費用 <sup>2</sup> (百万ポンド)	貸倒率 ベース・ ポイント
インベストメント・バンク <sup>1</sup>	144,312	468	143,844	753	0.5	209	14
コーポレート・バンキング	66,246	1,991	64,255	3,694	5.6	517	78
- 英国	51,805	369	51,436	1,175	2.3	173	33
- 欧州	6,327	1,494	4,833	2,343	37.0	321	507
- その他地域	8,114	128	7,986	176	2.2	23	28
ウェルス・アンド・ インベストメント・マネジメント	20,995	192	20,803	704	3.4	112	53
アフリカ RBB	5,875	235	5,640	580	9.9	65	111
本社およびその他事業	1,875	-	1,875	-	-	(2)	(11)
<b>合計</b>	<b>239,303</b>	<b>2,886</b>	<b>236,417</b>	<b>5,731</b>	<b>2.4</b>	<b>901</b>	<b>38</b>
<b>2012年12月31日現在</b>							
インベストメント・バンク <sup>1</sup>	144,143	586	143,557	768	0.5	192	13
コーポレート・バンキング	67,337	2,171	65,166	4,232	6.3	838	124
- 英国	52,667	428	52,239	1,381	2.6	279	53
- 欧州	8,122	1,536	6,586	2,607	32.1	527	649
- その他地域	6,548	207	6,341	244	3.7	32	49
ウェルス・アンド・ インベストメント・マネジメント	19,236	141	19,095	603	3.1	38	20
アフリカ RBB	7,313	250	7,063	681	9.3	160	219
本社およびその他事業	1,466	16	1,450	19	1.3	-	-
<b>合計</b>	<b>239,495</b>	<b>3,164</b>	<b>236,331</b>	<b>6,303</b>	<b>2.6</b>	<b>1,228</b>	<b>51</b>

- ホールセール顧客ポートフォリオにおける顧客および銀行に対する貸付金総額合計は 2,393 億ポンドと横ばいでした。これはアフリカ RBB 部門で外国為替の変動の影響があったものの、住宅ローン・ポートフォリオの伸びを主に反映したウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント部門での増加により相殺されたためです。
- 貸付金に係る減損費用は 27%減少し、9 億 100 万ポンドとなりました。スペインの不動産および建設業界に対するエクスポージャーの圧縮策を反映して欧州の減損費用が減少し、また、英国で大企業顧客に対する減損費用が減少したことを主に反映し、コーポレート・バンキング部門の減損費用が減少したことが主因です。インベストメント・バンク部門の減損費用は 2013 年度第 2 四半期に計上した単一銘柄エクスポージャーの減損費用を主因に 2012 年度と比べて 9%増加しました。
- 減損費用の減少に貸付金残高の減少が相まって、貸倒率は 38 ベース・ポイントとなりました(2012 年:51 ベース・ポイント)。

<sup>1</sup> インベストメント・バンク部門の貸付金総額には現金担保および決済残高が 2013 年 12 月 31 日現在で 913 億 500 万ポンド、2012 年 12 月 31 日現在で 851 億 1,600 万ポンド含まれています。この残高を除くと、貸付金総額に占める CRL の比率は 3.9%、貸倒率は 61 ベース・ポイントでした。

## 信用リスク

### 潜在的クレジット・リスク・ローン(CRL)およびカバレッジ比率

	CRLs		潜在的問題貸金		潜在的 CRLs	
	2013年 12月31日 現在 (百万ポンド)	2012年 12月31日 現在 (百万ポンド)	2013年 12月31日 現在 (百万ポンド)	2012年 12月31日 現在 (百万ポンド)	2013年 12月31日 現在 (百万ポンド)	2012年 12月31日 現在 (百万ポンド)
インベストメント・バンク	753	768	173	327	926	1,095
コーポレート・バンキング	3,694	4,232	718	624	4,412	4,856
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	704	603	159	74	863	677
アフリカ RBB	580	681	50	77	630	758
本社およびその他事業	-	19	-	-	-	19
<b>ホールセール合計</b>	<b>5,731</b>	<b>6,303</b>	<b>1,100</b>	<b>1,102</b>	<b>6,831</b>	<b>7,405</b>

  

	減損引当金		CRL カバレッジ比率		PCRL カバレッジ比率	
	2013年 12月31日 現在 (百万ポンド)	2012年 12月31日 現在 (百万ポンド)	2013年 12月31日 現在 %	2012年 12月31日 現在 %	2013年 12月31日 現在 %	2012年 12月31日 現在 %
インベストメント・バンク	468	586	62.2	76.3	50.5	53.5
コーポレート・バンキング	1,991	2,171	53.9	51.3	45.1	44.7
ウェルス・アンド・インベストメント・マネジメント	192	141	27.3	23.4	22.2	20.8
アフリカ RBB	235	250	40.5	36.7	37.3	33.0
本社およびその他事業	-	16	-	84.2	-	84.2
<b>ホールセール合計</b>	<b>2,886</b>	<b>3,164</b>	<b>50.4</b>	<b>50.2</b>	<b>42.2</b>	<b>42.7</b>

- CRL 残高は 9%減少して 57 億 3,100 万ポンドとなりました。償却および債務売却を受けて、スペインを中心に欧州における減少を反映してコーポレート・バンキングの残高が減少したことが主因です。
- この減少は、2 件の個別顧客を含めたことを主因としてウェルス・アンド・インベストメント・マネジメントの残高が増加したことで部分的に相殺されました。
- CRL カバレッジ比率は 50.4%(2012:50.2%)に増加しました。

## 信用リスク

### インベストメント・バンクのホールセール貸付金(償却原価ベース)の分析

	貸付金総額 (百万ポンド)	減損引当金 (百万ポンド)	貸付金 (減損を除く) (百万ポンド)	クレジット・ リスク・ ローン (CRL) (百万ポンド)	貸付金総額 に占める CRLの比率 %	貸付金に係る 減損費用 <sup>2</sup> (百万ポンド)	貸倒率 ベース・ ポイント
<b>2013年12月31日現在</b>							
<b>銀行に対する貸付金</b>							
銀行間貸付	11,975	10	11,965	18	0.2	-	-
現金担保および決済残高	19,892	-	19,892	-	-	-	-
<b>顧客に対する貸付金</b>							
法人に対する貸付	27,503	85	27,418	137	0.5	19	7
政府に対する貸付	1,149	-	1,149	-	-	-	-
その他ホールセール貸付	12,380	373	12,007	598	4.8	190	153
現金担保および決済残高	71,413	-	71,413	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>144,312</b>	<b>468</b>	<b>143,844</b>	<b>753</b>	<b>0.5</b>	<b>209</b>	<b>14</b>
<b>2012年12月31日現在</b>							
<b>銀行に対する貸付金</b>							
銀行間貸付	13,763	41	13,722	51	0.4	41	30
現金担保および決済残高	23,350	-	23,350	-	-	-	-
<b>顧客に対する貸付金</b>							
法人に対する貸付	29,546	205	29,341	349	1.2	160	54
政府に対する貸付	1,369	-	1,369	-	-	-	-
その他ホールセール貸付	14,349	340	14,009	368	2.6	(9)	(6)
現金担保および決済残高	61,766	-	61,766	-	-	-	-
<b>合計</b>	<b>144,143</b>	<b>586</b>	<b>143,557</b>	<b>768</b>	<b>0.5</b>	<b>192</b>	<b>13</b>

- インベストメント・バンク部門のホールセール貸付金は堅調に推移し、1,443億1,200万ポンドとなりました。現金担保および決済残高が増加しましたが、その他ホールセール貸付、法人に対する貸付および銀行間貸付の減少によって相殺されました。
- 貸付金総額から決済残高および現金担保残高を除外すると、インベストメント・バンク部門の貸倒率は、39ベース・ポイントになります。(2012年:33ベース・ポイント)。
- 法人に対する貸付およびその他ホールセール貸付のポートフォリオにはリテール・モーゲージ担保に裏付けられた貸付金10億100万ポンドが含まれています(2012年:13億3,600万ポンド)。

## 信用リスク

### ユーロ圏諸国に対する当グループのエクスポージャー

- 当グループは、ユーロ圏の継続的なボラティリティに起因する信用リスクおよび市場リスクを認識しており、厳しい経済情勢に伴うリスクを軽減するための組織的な措置を講じるとともに、引き続き注意深く状況をモニタリングしています。
- 2013 年度にスペイン、イタリア、ポルトガル、アイルランド、キプロスおよびギリシャに対する当グループの貸借対照表上の正味エクスポージャーは 11%減少して 530 億ポンドとなりました。これはスペインおよびイタリアの売却可能国債が減少したことにより、ソブリン・エクスポージャーが 60%減少して 22 億ポンドとなったことが主因です。
- 2013 年 12 月 31 日現在、イタリアにおける現地の資金調達純額ベースでの不足額は 116 億ユーロ(2012 年度:118 億ユーロ)、ポルトガルにおける同不足額は 30 億ユーロ(2012 年度:41 億ユーロ)でした。スペインにおける資金調達純額ベースの余剰額は 31 億ユーロ(2012 年度:23 億ユーロ)でした。パークレイズは引き続きユーロ圏のボラティリティが現地の貸借対照表上の資金調達に及ぼす潜在的な影響をモニターし、リスクを管理するための適切な措置を検討していきます。

### グループ・エクスポージャーの概要

- 下表は、リスクが高いために経営的視点から特に重点的に管理する対象として社内でモニターしているユーロ圏諸国に対するパークレイズのエクスポージャーを示しています。スペイン、イタリアおよびポルトガルにおけるエクスポージャーの詳細な分析は英語原文 93 ページから 96 ページをご参照ください。<sup>1</sup> 作成基準は 2012 年度の年次報告書で説明した基準に基づいています。
- 正味エクスポージャーは当グループがさらされている信用リスクの最も適切な測定基準です。総エクスポージャーもオフ・バランスシートの偶発債務および契約債務とともに下表に示しています。

2013 年 12 月 31 日現在	ソブリン (百万ポンド)	金融機関 (百万ポンド)	法人 (百万ポンド)	住宅		その他 リテール貸付 (百万ポンド)	貸借対照表上 の正味エク スポージャー (百万ポンド)	貸借対照表上 の総エク スポージャー (百万ポンド)	偶発債務 および 契約債務 (百万ポンド)
				モーゲージ (百万ポンド)					
スペイン	184	1,029	3,203	12,537		2,292	19,245	26,338	3,253
イタリア	1,556	417	1,479	15,295		1,881	20,628	27,455	3,124
ポルトガル	372	38	891	3,413		1,548	6,262	6,609	2,288
アイルランド	67	5,030	1,356	103		100	6,656	10,033	2,047
キプロス	-	7	106	19		43	175	256	66
ギリシャ	8	5	51	6		12	82	903	3
<b>2012 年</b>									
<b>12 月 31 日現在</b>									
スペイン	2,067	1,525	4,138	13,305		2,428	23,463	32,374	3,301
イタリア	2,669	567	1,962	15,591		1,936	22,725	33,029	3,082
ポルトガル	637	48	1,958	3,474		1,783	7,900	8,769	2,588
アイルランド	21	3,585	1,127	112		83	4,928	10,078	1,644
キプロス	8	-	106	44		26	184	300	131
ギリシャ	1	-	61	8		9	79	1,262	5

- 2013 年度のスペイン、イタリア、ポルトガル、アイルランド、キプロスおよびギリシャに対する当グループのソブリン・エクスポージャーは 60%減の 22 億ポンドでした。売却可能国債を処分したためです。
- 住宅モーゲージおよびその他リテール貸付はそれぞれ 4%減の 314 億ポンド、6%減の 59 億ポンドでした。スペイン、イタリアおよびポルトガルにおける新規オリジネーションの減少を反映したもののですが、外国為替の変動により一部相殺されました。
- 法人顧客に対するエクスポージャーは 24%減の 71 億ポンドとなりました。主にイタリアおよびポルトガルにおける貸付の減少を反映したもののですが、スペインにおけるトレーディング資産の増加により一部相殺されました。
- 金融機関に対するエクスポージャーは 14%増の 65 億ポンドでした。アイルランドにおける証券化貸付に係るエクスポージャーが増加したためですが、主としてスペインおよびイタリアにおけるエクスポージャー減少により相殺されました。

<sup>1</sup> アイルランドに対するエクスポージャーの詳細な分析は示されておりません。現地の資金調達およびまたは代替国に所在する原資産に係るリスクのためにデノミリスクが存在しないからです。キプロスおよびギリシャに対するエクスポージャーは当グループにとって重要ではないと見なされています。

## 信用リスク

### ユーロ圏のソブリン債を参照するクレジット・デリバティブ

- 当グループでは、国債が参照資産となっているクレジット緩和契約（主にクレジット・デフォルト・スワップおよびトータル・リターン・スワップ）を締結しています。これらはスペイン、イタリアおよびポルトガルについて、ソブリン債のデフォルトが発生した場合に当グループのエクスポージャーを純額ベースで減少させる効果があります。

2013年12月31日現在	スペイン (百万ポンド)	イタリア (百万ポンド)	ポルトガル (百万ポンド)	アイルランド (百万ポンド)	キプロス (百万ポンド)	ギリシャ (百万ポンド)
<b>公正価値</b>						
- 買建	31	88	72	(10)	1	-
- 売建	(23)	(66)	(69)	2	(1)	-
<b>デリバティブの公正価値(純額)</b>	<b>8</b>	<b>22</b>	<b>3</b>	<b>(8)</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>契約上の名目元本</b>						
- 買建	(2,468)	(4,273)	(1,068)	(800)	(4)	-
- 売建	2,442	3,718	1,042	870	4	-
<b>デリバティブの名目元本(純額)</b>	<b>(26)</b>	<b>(555)</b>	<b>(26)</b>	<b>70</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
<b>ソブリン債のデフォルトが発生した場合におけるクレジット・デリバティブによる(プロテクション)ノエクスポージャー(純額)(名目元本から公正価値を差し引いた金額)</b>	<b>(18)</b>	<b>(533)</b>	<b>(23)</b>	<b>62</b>	<b>-</b>	<b>-</b>
2012年12月31日現在						
<b>ソブリン債のデフォルトが発生した場合におけるクレジット・デリバティブによる(プロテクション)ノエクスポージャー(純額)(名目元本から公正価値を差し引いた金額)</b>	<b>(122)</b>	<b>(307)</b>	<b>(88)</b>	<b>44</b>	<b>-</b>	<b>-</b>

- クレジット・デリバティブは、資産(参照資産)のデフォルト・リスクがクレジット・デリバティブ契約の買い手から売り手に移転される契約です。
- ソブリン資産を参照するクレジット・デリバティブは、顧客取引をサポートし、リスクを管理する目的で売買されます。
- 契約上の名目元本は売買されたクレジット・デリバティブ契約の規模を示し、公正価値は参照資産の価値の変動を示します。
- ソブリン債のデフォルトが発生した場合におけるクレジット・デリバティブによるプロテクションあるいはエクスポージャーの純額は、当グループによる保険の純売買額を示しています。この保険は当グループの合計エクスポージャーを増減させるものであり、先行ページで開示されている直接的エクスポージャーと合わせて検討されるべきものです。

### ユーロ圏の貸借対照表上のデノミ・リスク

- デノミ・リスクとは、1カ国またはそれ以上の国がユーロ圏を離脱し、その結果として当該国の貸借対照表上の資産と負債の価値が引き下げられた場合、当グループに生じるであろう財務上の損失のリスクです。現地通貨建ての資産と負債の価値にミスマッチがある場合、当グループは直接的にデノミ・リスクにさらされることになります。
- パークレイズでは、ユーロ圏諸国におけるリテール・バンキング、コーポレート・バンキングおよびウェルス・マネジメント事業については、一般的に各国内で現地計上を行っております。現地計上されている顧客の資産および負債(主として顧客に対する貸付金と顧客預り金)は圧倒的にユーロ建てとなっています。残りの資金調達ニーズについては、顧客に対する貸付金を担保とする現地資金調達により対応し、更に資金調達が必要であればグループを通じて対応しています。
- 2013年度のイタリアにおける資金調達の純額ベースでのミスマッチ額は2億ユーロ減の116億ユーロ、ポルトガルにおける同ミスマッチ額は11億ユーロ減の30億ユーロでした。スペインにおける資金調達の純額ベースの余剰額は8億ユーロ増の31億ユーロとなりました。
- パークレイズは、ユーロ圏のボラティリティが現地貸借対照表上の資金調達に及ぼし得る影響のモニタリングを継続し、適切なリスク管理の措置を講じてまいります。
- ギリシャに対する直接的エクスポージャーは極めて少なく、当グループから求められる資金調達(純額)は無視できる水準にあります。アイルランドについては、同国における負債合計が資産合計を上回っているため、当グループによる現地貸借対照表上の資金調達の必要はありません。

## 市場リスク

### インベストメント・バンクの市場リスクに対するエクスポージャーの分析

- ホールセール金融市場における顧客取引促進の結果として、インベストメント・バンクは流通市場リスクにさらされています。これにはグローバル・ベースでのリスク管理ソリューションの提供、シンジケーションの実行およびマーケット・メイキング活動が伴います。
- 日次バリュー・アット・リスク(DVaR)は市場リスクに対するエクスポージャーを測定および管理するためにインベストメント・バンクで活用される主要なリスク指標の1つです。この指標は当社のトレーディング・エクスポージャーを管理する目的で活用される市場リスク・ストレス・テストなどの追加的指標によりさらに補完されます。
- インベストメント・バンクの管理 DVaR は、保有期間を1日と想定し、信頼水準を95%として算出しています。この計算は、直近2年間のデータによる実績シミュレーションに基づいています。リスクの適切な説明を確保するため、必要な場合には追加的データで補完されます。DVaR は当グループ内で設定されている上限に対して毎日計算および報告されます。
- DVaR モデルおよび手法は継続的にテスト、確認および改善されています。

管理 DVaR (95%)	2013 年 12 月 31 日に終了した年度			2012 年 12 月 31 日に終了した年度		
	日次平均 (百万ポンド)	最大 <sup>1</sup> (百万ポンド)	最小 <sup>1</sup> (百万ポンド)	日次平均 (百万ポンド)	最大 <sup>1</sup> (百万ポンド)	最小 <sup>1</sup> (百万ポンド)
クレジット・リスク	18	25	12	26	44	18
金利リスク	13	24	6	14	23	7
スプレッド・リスク	11	21	5	23	31	17
ベースス・リスク	11	17	7	11	21	5
株式リスク	11	21	5	9	19	4
コモディティ・リスク	5	8	2	6	9	4
為替リスク	4	7	2	6	10	2
インフレ・リスク	3	8	2	3	7	2
分散効果 <sup>1</sup>	(47)	na	na	(60)	na	na
<b>DVaR 合計</b>	<b>29</b>	<b>39</b>	<b>21</b>	<b>38</b>	<b>75</b>	<b>27</b>

- 2013 年度の平均管理 DVaR は、リスクの減少および市場環境の改善、特にクレジット・スプレッドの縮小が相まって減少しました。
- DVaR 合計に寄与した3大要因は、信用、金利およびスプレッドの各リスクでした。2012 年度の平均水準に比べて、平均 DVaR は信用リスクが800万ポンド(31%)、金利リスクが100万ポンド(7%)、スプレッド・リスクが1,200万ポンド(52%)、それぞれ減少しました。インベストメント・バンクの平均 DVaR は900万ポンド(24%)減少しました。
- 事業は2013年度を通じて、リスク別 VaR および DVaR 合計ともに、取締役会金融リスク委員会が承認した管理 DVaR の上限の範囲内に収まりました。
- パークレイズ・インベストメント・バンクの市場リスク・モデルは指定されたトレーディング勘定ポートフォリオについて規制資本を算出するために使用され、ブルーデンス(健全性)規制機構(PRA)により承認されているものです。指標は日次バリュー・アット・リスク(DVaR)、ストレス・バリュー・アット・リスク、増分リスク・チャージおよびオール・プライス・リスク測定です。
- 規制上の市場リスク資本算出のため、DVaR は99%水準で算出されます。モデルは日次のバック・テストの対象であり、年間の損益数値と比較されます。DVaR モデルはバック・テストにおいて良好なパフォーマンスを示しており、PRA の規定する「グリーン」分類を維持しています。

<sup>1</sup> 各カテゴリーで報告された最大 DVaR と最小 DVaR の数値は、必ずしも最大 DVaR 合計、最小 DVaR 合計と同一の日に生じたわけではありません。したがって、最大 DVaR と最小 DVaR に対する分散効果は重要でないと考えられます。

## 財務書類に関する注記(抜粋)

### 13. 引当金

	2013年 12月31日現在 (百万ポンド)	2012年 12月31日現在 (百万ポンド)
特定行為に係る救済		
- 支払保障保険(PPI)に係る補償	971	986
- 金利ヘッジ商品に係る補償	1,169	814
- その他の特定行為関連	388	213
訴訟	485	200
余剰人員削減および事業再編	388	71
未実行のコミテッド・ファンリティおよび提供された保証	165	159
負担付契約	100	104
その他引当金	220	219
<b>合計</b>	<b>3,886</b>	<b>2,766</b>

#### 特定行為に係る補償

特定行為に係る引当金は、当グループの事業活動遂行における不適切な判断に伴う損失あるいは損害について、顧客に対して行う補償金支払いの推定費用から成っています。特定行為に係る補償はおおむね支払保障保険(PPI)および金利ヘッジ商品に係るものですが、今後18カ月間に活用される可能性のあるリテールおよびコーポレート事業全体のその他の少額引当金も含まれています。

#### 支払保障保険(PPI)に係る補償

2011年の司法審査手続の結論を受けて、パークレイズはPPIに係る補償費用および請求取扱費用に対して総額39億5,000万ポンドの引当金を計上しました。2013年12月31日現在、29億8,000万ポンドの引当金が活用され、引当金残額は9億7,000万ポンドとなっています。

2013年12月31日までに、顧客が開始した100万件(2012年度:60万件)の請求<sup>1</sup>が受理され、処理されています。受理された月間請求件数は2012年5月のピーク時から59%減少していますが、減少率はこれまでの予想を下回っています。この結果、請求件数の増加予想、それに対応する金融オンブズマン・サービス(FOS)に付託される請求件数の増加およびそれに伴う運用費用を反映させ、2013年6月に13億5,000万ポンドの追加引当金を計上しました。

パークレイズは規制基準に従い2012年8月に、約75万件の保険の契約者に対する積極的な通知の郵送を開始しました。このうち、2013年12月31日現在、66万件(2012年度:10万件)について通知が郵送され、残りについては2014年3月31日までに郵送される見込みです。

これまでに、パークレイズは受理された請求の74%(2012年度:70%)を承認しています<sup>2</sup>。善意としての支払いおよびPPI保険証が存在しない請求への支払いは除外しています。これまでの有効請求1件当たり平均補償支払額<sup>3</sup>は1,763ポンド(2012年度:1,705ポンド)で、内訳はケースによって異なりますが、支払保険料の払戻、複利負担および8%の補償金利から成ります。

現在の引当金は、重大な経営者の判断が継続的に伴う、多くの重要な仮定に基づいて算出されています。

- 顧客請求件数 – 受理されたが2013年12月31日現在未処理の請求および今後顧客が開始する請求の見積もり。後者は時間の経過とともに請求件数が減少する見込み。
- 積極的の回答率 – 積極的な通知の郵送の結果発生した請求件数。
- 承認率 – 審査の結果、有効であるとして承認された請求の比率。
- 平均補償額 – 承認された請求に関して顧客に支払われる保険契約のタイプおよび年限に基づく予想平均支払額。

これらの仮定、特に将来の請求水準に係る不確実性は引き続き主観的です。その結果としての引当金はPPIに係る補償のあらゆる将来的な予想費用に関するパークレイズの最良の見積もりを表しています。しかしながら、最終的な結果が現在の見積もりと異なり、その相違が大幅かつマイナスの場合は追加引当金が計上されることとなりますが、そうでない場合は残余費用は通常業務の一部として取り扱われる見込みです。引当金には請求取扱費用およびFOSに付託される請求に伴う費用の見積もりも含まれています。

<sup>1</sup> これまでに受理した合計請求件数にはPPI保険証が存在していなかった請求および積極的な通知郵送に対する回答は含んでいません。2012年度の請求件数はPPI保険証が存在していなかった請求件数を除いて修正再表示されています(前年度:110万件)。

## 財務書類に関する注記(抜粋)

下記の表は、重要な仮定別に 2013 年 12 月 31 日までの実績データ、引当金算出に使用した予測の仮定および感度解析を詳述し、将来の予測が使用された仮定と異なった場合の引当金への影響を説明しています。

仮定	2013 年 12 月 31 日まで		感度解析 引当金の増加/減少	2012 年 12 月 31 日まで の累計実績
	の累計実績	将来予測		
受理、処理済の顧客が開始した請求 <sup>1</sup>	97 万件	19 万件	5 万件 = 9,000 万ポンド	57 万件
積極的な通知郵送	66 万件	9 万件		10 万件
積極的な通知郵送に対する回答率	26%	25%	1% = 100 万ポンド	27%
請求 1 件当たり平均承認率 <sup>2</sup>	74%	73%	1% = 400 万ポンド	70%
有効請求 1 件当たり平均補償額 <sup>3</sup>	1,763 ポンド	1,726 ポンド	100 ポンド = 2,300 万ポンド	1,705 ポンド

2013 年度において、受理された請求件数の月次平均の 45%(2012 年度:44%)には、PPI が付いていませんでした。また、2013 年度に受理された請求件数のうち、54%(2012 年度:43%)は請求管理会社(CMC)からの請求であり、この比率は 2013 年 12 月には 70%に上昇しました。

### 金利ヘッジ商品に係る補償

2012 年 12 月 31 日現在	8 億 1,400 万ポンド
期中の引当金の増加	6 億 5,000 万ポンド
期中の引当金の取り崩し	(2 億 9,500 万ポンド)
2013 年 12 月 31 日現在	11 億 6,900 万ポンド

2012 年 6 月 29 日、FSA は英国の複数の銀行(パークレイズを含む)が、合意文書の条件に従い「高度の金融知識を有しない(ノンソフィスティケイテッド)」に区分されるリテール顧客または民間顧客に対して、2001 年 12 月 1 日以降に販売した金利ヘッジ商品について調査および補償を行うと発表しました。パークレイズは当該期間に約 4,000 人のリテール顧客または民間顧客に金利ヘッジ商品を販売しており、うち約 2,900 人がノンソフィスティケイテッドに区分される顧客でした。

2012 年 12 月 31 日現在、8 億 5,000 万ポンドの引当金が認識されていました。これはノンソフィスティケイテッドに区分される顧客に対する将来の補償および関連費用に係る経営者の最良の見積もりを反映しています。この見積もりは当該母集団における当初の試験的な実施の結果の予想に基づいたものでした。2012 年 12 月 31 日現在、貸借対照表上で認識された引当金は、主として管理費用に関連して取り崩された 3,600 万ポンドを控除すると、8 億 1,400 万ポンドです。

2013 年度には追加的ケースが調査され、FCA がさらなるガイダンスを提示し、引当金の見積もりが基づくべき追加情報を示しました。その結果、2013 年 6 月に追加引当金 6 億 5,000 万ポンドが認識され、累計費用は 15 億ポンドに上りました。2013 年 12 月 31 日現在、認識された引当金は、主として管理費用に関連して取り崩された 3 億 3,100 万ポンドおよび負担した補償費用 8,700 万ポンドを控除すると、11 億 6,900 万ポンドです。当初の補償結果は調査対象であるノンソフィスティケイテッドに区分される顧客のほぼ 30%に通知されていました。

ノンソフィスティケイテッドに区分される各顧客に対する補償の形式は確定していません。当該商品が購入されなかったと同じように全額払い戻しとなる、あるいはキャップなどの代替商品となる可能性もあります。さらに、一部の販売は販売時の関連規制要件を遵守することになるため、すべての顧客が補償を受ける権利を有するわけではありません。

この最終的な補償費用は以下の要因の影響も受けます。

- 原商品の公正価値。これは金利が大幅に変動した場合に変化します。
- 調査および補償措置を完了する管理費用。
- 年利 8%の金利は商品払戻額に対して支払われるため、調査および補償措置完了に要する期間。

1 これまでに受理した合計請求件数には PPI 保険証が存在していなかった請求および積極的な通知郵送に対する回答は含んでいません。2012 年度の請求件数は PPI 保険証が存在していなかった請求件数を除いて修正再表示されています(前年度:110 万件)。

2 請求 1 件当たりの平均承認率は PPI 保険証が存在していなかった請求は除外して算出しています。2012 年度の平均承認率は PPI 保険証が存在していなかった請求の承認率を除外して修正再表示されています(前年度:39%)。

3 平均補償額は保険契約 1 件当たりベースで表示されています。2012 年度の平均補償額は保険契約 1 件当たりベースで修正再表示されています。前年度の有効請求 1 件当たりベースでは 2,750 ポンドでした。

## 財務書類に関する注記(抜粋)

---

補償措置の対象ではない「高度の金融知識を有する(ソフィスティケートド)」に区分される顧客からの請求あるいはノンソフィスティケートドに区分される顧客からの増分間接損失請求(年利 8%を上回る金利)に係る引当金は認識されていません。2013 年 12 月 31 日現在、ノンソフィスティケートドに区分される顧客からの多額の増分間接損失請求については合意されていません。これらの事項はモニターされ、資金流出につながる蓋然性のある支払義務が確認された場合、将来的に引当金が認識されます。

当グループは 2013 年 12 月 31 日現在の引当金が補償措置を完了するための費用全額を賄うのに十分であると予想しておりますが、適切な引当金の水準を継続的に調査し、実際の補償が現在の見積もりと合致しない場合は、最終的な費用が大幅に異なる可能性もあります。

### 訴訟

当グループは英国および米国を含む諸外国において様々な訴訟手続きに関与しております。訴訟手続きおよびこれに伴う不確定要因については、「法律、競争および規制関連事項」(原文注記 19)をご参照ください。

### 余剰人員および事業再編

この引当金は当グループが実施した余剰人員および組織上の事業再編措置の費用に係るものです。2013 年度に引当金は Transform プログラムを主因に 3 億 1,700 万ポンドから 3 億 8,800 万ポンドに増加しましたが、今後 12 カ月以内に取り崩される可能性が大きいものです。

### 19. 法律、競争および規制関連事項

パークレイズ・ピーエルシー(BPLC)、パークレイズ・バンク・ピーエルシー(BBPLC)およびパークレイズ・グループが直面している法律上、競争上および規制上の課題の多くは、パークレイズの統制が及ばないものです。これらの BPLC、BBPLC およびパークレイズ・グループが関与しているあるいは将来関与する可能性のある法律上、競争上および規制上の事項が BPLC、BBPLC およびパークレイズ・グループに与える影響の程度は必ずしも予測可能ではなく、当グループの事業、財務成績および財政状態ならびに財務予測に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(中略)

#### 外国為替取引に係る民事訴訟

2013 年 11 月以降、提案された複数のクラスの被告による民事訴訟が米国ニューヨーク州南部地区連邦地方裁判所(SDNY)に提起されました。米国シャーマン反トラスト法およびニューヨーク州法に違反して外国為替市場を操作したと訴えているもので、BBPLC を含む数社の国際銀行が被告とされています。

「LIBOR およびその他のベンチマークに係る民事訴訟」に関連する競争および規制関連事項の説明については、以下の「LIBOR、ISDAfix、その他ベンチマークおよび外国為替相場に関する調査」をご参照ください。

#### LIBOR、ISDAfix、その他ベンチマークおよび外国為替相場に関する調査

金融行為監督機構(FCA)、米国商品先物取引委員会(CFTC)、米国証券取引委員会(SEC)、米国司法省(DOJ)詐欺対策課(DOJ-FS)および反トラスト局(DOJ-AD)、欧州委員会(委員会)、英国重大不正捜査局(SFO)、シンガポール金融管理局(MAS)、日本金融庁、イタリア・トラニ検察庁および米国の様々な州検事局などの様々な当局がロンドン銀行間取引金利(LIBOR)、欧州銀行間取引金利(EURIBOR)などの各種銀行間取引金利を設定または編集している機関に対して、BBPLC や他の金融機関が行った申告に関する調査(本調査)を行っています。

2012 年 6 月 27 日、BBPLC は本調査に関して、金融サービス機構(FSA)(FCA の前身)、CFTC および DOJ-FS と和解に達し、合計 2 億 9,000 万ポンドの課徴金を支払うことに同意したと発表しました。この金額は 2012 年度の営業費用に反映されており、この和解にともない、FSA との和解協定、DOJ-FS との非訴追協定(NPA)、CFTC との和解命令協定(CFTC 命令書)が締結されました。また、EURIBOR を参照する金融商品について、米国反トラスト法違反の可能性に関連して DOJ-AD から条件付きで制裁措置の減免を認められています。

FSA との和解協定の内容は部外秘ですが、5,950 万ポンドの課徴金を課した FSA の最後通達は FCA のウェブサイト上で閲覧できます。この文書で FSA は課徴金を課す理由を述べ、和解原則について言及し、和解の条件の根拠となった事実と論拠を説明しています。NPA と CFTC 命令書の要旨は以下のとおりです。NPA および CFTC 命令書の全文は、それぞれ DOJ、CFTC のウェブサイト上で閲覧できます。

CFTC 命令書は 2 億ドルの民事制裁金の支払いに加え、米国商品取引法の特定の条項に対する違反の再発防止、LIBOR および EURIBOR を含めた基準金利の申告の一貫性と信頼性を確保するための具体的な措置の実施および関連する内部統制の改善を BBPLC に求めています。CFTC 命令書が BBPLC に求めている主な項目は以下の通りです。

- BBPLC の取引に最大の比重を置き、特定の調整および考慮に従った上で、特定の要因を基に申告を行うこと。
- トレーダーと申告者の間を含む不適切なやり取りを防ぐためのファイア・ウォールを導入すること。
- 申告に関する特定の文書を作成および保管し、関連するやり取りを保管すること。
- 申告および関連プロセスに関する監査、監視、研修のための措置を実施すること。
- CFTC 命令書の条件の遵守について CFTC に定期的に報告すること。
- 基準金利に関する基準の厳格化を促すために最大限の努力を行うこと。
- CFTC が継続中の基準金利に関する調査に協力し続けること。

NPA の一環として、BBPLC は 1 億 6,000 万ドルの課徴金を支払うことに同意しました。さらに、DOJ は(DOJ)に合意を交わす権限がなく、DOJ が合意を交わすことのない税犯罪を除き)BBPLC が NPA に明記された義務を履行することを条件に、LIBOR および EURIBOR を含めた基準金利の申告に関連する犯罪に関して BBPLC を訴追しないことに合意しました。特に NPA に基づき、BBPLC が 2012 年 6 月 26 日からの 2 年間で対象に合意した主な項目は以下の通りです。

- 米国でいかなる犯罪行為も行わないこと。

## 財務書類に関する注記(抜粋)

- DOJ が BBPLC に照会する全ての事項に関わる BBPLC の活動、その役員および従業員、その他に関連する免責特権のない情報を誠実かつ全面的に開示すること。なお、かかる情報は NPA で制限されているもの以外の全ての目的に使用できるとする。
- BBPLC またはその従業員による詐欺あるいは証券および商品市場を規制する法律の違反に関わる全ての潜在的な犯罪行為を DOJ に報告すること。
- 米国行政当局が BBPLC またはその従業員に対して詐欺または証券および商品市場を規制する法律に違反する行為を理由に行う全ての犯罪または規制に関する調査、行政手続または民事訴訟を DOJ に全て報告すること。

また、BBPLC は NPA に記されている行為により発生する調査または訴追に関連し、DOJ およびその他の米国行政当局に協力することに合意しました。この協力は、係る調査および訴追が全て終了するまで続けられます。また、BBPLC は進行中の他の調査にも引き続き協力します。

2012 年 6 月に発表された和解合意を受け、米国の 31 の州検事局が LIBOR、EURIBOR および東京銀行間取引金利(TIBOR)に関する独自調査を開始しました。ニューヨーク州検事局は、各州検事局を代表して、2012 年 7 月に BBPLC に対して広範な情報の提出命令(他の多くの銀行にも同様の提出命令)を発し、それ以降、BBPLC に対して文書および取引データの追加情報要請を行いました。BBPLC は係る要請に対して逐次対応しております。また、和解合意を受けて、SFO は 2012 年 7 月に LIBOR について調査することを決定した旨発表しました。これに関して、BBPLC は情報要請を受け、引き続き対応しています。

欧州委員会も特に EURIBOR の操作に関する調査を行っています。欧州委員会は 2013 年 12 月 4 日、EURIBOR に関する反競争的行為に関してに当グループおよび他の多くの銀行と和解に達したと発表しました。当グループは EURIBOR に係る行為について自発的に欧州委員会に報告し、欧州委員会の調査に全面的に協力しました。この協力が認められ、当グループは協力がなければ対象となっていた可能性のある課徴金の支払いを免除されました。

CFTC および FCA も他のベンチマークの中で ISDAfix に関する過去の行為を別途調査しています。BBPLC は情報提出命令および情報要請を受け、引き続き対応しています。

英国の FCA、米国の CFTC および DOJ、香港金融管理局を含む様々な規制・施行当局は、特定のベンチマーク通貨の為替相場を操作する、あるいはトレーディング・ポジションに利益をもたらす他の活動に従事する可能性のある行為を含む外国為替取引について調査していることを明らかにしました。係る調査の一部は各国の複数の市場参加者に関わるものです。BBPLC はこれらの当局の一部からその特定の調査に関連して、また、外国為替問題に関心を有する他の規制当局から照会を受けています。当グループは 2013 年 10 月までの数年間にわたる外国為替取引の調査を行っており、関連当局の調査に協力しています。

これらの調査に関連して発生する訴訟の説明については、「LIBOR およびその他のベンチマークに関する民事訴訟」および「外国為替取引に関する民事訴訟」(英語原文)をご参照ください。

### FERC

#### 背景情報

米国連邦エネルギー規制委員会(FERC)施行局は、2006 年後半から 2008 年にかけての期間に当グループが行った米国西部における電力取引について調査しました。2012 年 10 月、FERC は本件に関して BBPLC およびその元トレーダーのうちの 4 人に対して理由開示命令書および罰金案通知書(命令書および通知書)を発行しました。FERC はこの命令書および通知書において、BBPLC およびその元トレーダーは 2006 年 11 月から 2008 年 12 月までカリフォルニア州周辺の電力市場を操作し、FERC の反不正操作規制に違反したとして、BBPLC による民事制裁金および不正利益返還を提案しました。2013 年 7 月、FERC は BBPLC に対して 4 億 3,500 万ドルの民事制裁金の支払いに加え、利益に金利を加算した合計 3,490 万ドルの返還を求める民事制裁金命令を発しました(ともに命令書および通知書で提案されていた金額と同一です)。

#### 現状

2013 年 10 月、FERC は BBPLC およびその元トレーダーを相手取り、民事制裁金および不正利益返還額の回収を求める民事訴訟をカリフォルニア州連邦地方裁判所に提訴しました。この民事訴訟における FERC の主張は、2012 年 10 月の命令書および通知書ならびに 2013 年 7 月の民事制裁金命令で行われたものと同一です。BBPLC は本件に関して徹底的に抗弁しています。BBPLC およびその元トレーダーは裁判管轄が不適切だとして訴訟却下あるいは当該訴訟を SDNY に移管することを求める申し立てを行うとともに、請求権を明らかにしていない訴訟の棄却を求める申し立てを行いました。2013 年 9 月、BBPLC はニューヨーク南部地区連邦検事局から、同検事局が FERC と係争中のものと同じの行為について調査しているとの通知を受けました。